

官報 號外

大正十一年三月十九日 日曜日

印刷局

第四十五回衆議院議事速記録第三十二號

大正十一年三月十八日(土曜日)午後一時二十九分開議

議事日程 第三十一號 大正十一年三月十八日

午後一時開議

- 第一 明治三十三年法律第七十五號及明治三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉案(政府提出)
- 第三 土地收用法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉案(政府提出)
- 第五 取引所稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉案(政府提出)
- 第七 內地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 破產法案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會
- 第九 和議法案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會
- 第十 裁判所構成法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十一 司法事務共助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會
- 第十二 明治三十五年法律第四十九號中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十三 統計資料實地調査ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十四 社寺現境内地無償下付ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

- 第十五 國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案(阿部武智雄君外三十三名提出) 第一讀會
- 第十六 治安警察法中改正法律案(一宮房治郎君外一名提出) 第一讀會
- 第十七 治安警察法中改正法律案(清瀨一郎君外一名提出) 第一讀會
- 第十八 治安警察法中改正法律案(横山金太郎君外三名提出) 第一讀會
- 第十九 治安警察法中改正法律案(松本君平君外一名提出) 第一讀會
- 第二十 「ロー」字普及ニ關スル建議案(松本君平君外七名提出) 第一讀會
- 第二十一 下級軍人ノ待遇改善ニ關スル建議案(仙波太郎君外二名提出) 第一讀會
- 第二十二 別宮狹野神社昇格ニ關スル建議案(陣軍吉君外三名提出) 第一讀會
- 第二十三 東京帝國大學農學部實科ニ關スル建議案(有馬秀雄君外四名提出) 第一讀會
- 第二十四 群山港修築國營ニ關スル建議案(牧山耕藏君外四名提出) 第一讀會
- 第二十五 神社調查會設置ニ關スル建議案(岩崎勳君外十二名提出) 第一讀會
- 第二十六 官國幣社國庫供進金増額ニ關スル建議案(岩崎勳君外十二名提出) 第一讀會
- 第二十七 府縣社以下神社經費國庫補助ニ關スル建議案(岩崎勳君外十二名提出) 第一讀會
- 第二十八 牧野法制定ニ關スル建議案(吉良元夫君提出) 第一讀會
- 第二十九 三國港築港ニ關スル建議案(野村勘左衛門君外四名提出) 第一讀會
- 第三十 速記者ノ養成及優遇ニ關スル建議案(木下成太郎君外一名提出) 第一讀會

- 第三十一 國籍法中改正ニ關スル建議案(植原悅二郎君提出) 第一讀會
- 第三十二 松江隱岐間海底電信電話増設速成ニ關スル建議案(若林德懋君外四名提出) 第一讀會
- 第三十三 信樂(貴生川加茂間)鐵道速成ニ關スル建議案(安原仁兵衛君外一名提出) 第一讀會
- 第三十四 淀川改修増補工事速成ニ關スル建議案(吉川吉郎兵衛君提出) 第一讀會
- 第三十五 鹿兒島加世田間鐵道速成ニ關スル建議案(樋渡次右衛門君外三名提出) 第一讀會
- 第三十六 寺泊築港ニ關スル建議案(高橋金治郎君外三名提出) 第一讀會
- 第三十七 乃木神社昇格ニ關スル建議案(植竹龍三郎君外三名提出) 第一讀會
- 第三十八 御殿場大宮間及吉田大月間鐵道速成ニ關スル建議案(岩崎勳君外一名提出) 第一讀會
- 第三十九 熱海下田松崎大仁間鐵道速成ニ關スル建議案(小泉策太郎君外一名提出) 第一讀會
- 第四十 狩野川改修ニ關スル建議案(岩崎勳君外一名提出) 第一讀會
- 第四十一 日本銀行及特殊銀行條例中改正ニ關スル建議案(星島二郎君提出) 第一讀會
- 第四十二 朝鮮ニ於ケル參政權ニ關スル建議案(多木久米次郎君外四名提出) 第一讀會
- 第四十三 都市計畫促進ニ關スル建議案(河上哲太郎君外二名提出) 第一讀會
- 第四十四 第六回內閣博覽會開催ニ關スル建議案(加藤重三郎君外八名提出) 第一讀會
- 第四十五 工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料稅法改正ニ關スル建議案(植場平君外七名提出) 第一讀會
- 第四十六 農業用機械發明獎勵ニ關スル建議案(成田榮信君外二名提出) 第一讀會

- 第四十七 農業用機械輸入税免除ニ關スル建議案(成田榮信君外二名提出)
- 第四十八 農業者公課負擔輕減ニ關スル建議案(成田榮信君外二名提出)
- 第四十九 大直鐵道建設速成ニ關スル建議案(吉良元夫君外二名提出)
- 第五十 竹田三田井間鐵道速成ニ關スル建議案(吉良元夫君外三名提出)
- 第五十一 軍人恩給法中改正ニ關スル建議案(松實喜代太君外四名提出)
- 第五十二 京都市内鐵道線路改築ニ關スル建議案(渡邊昭君外二名提出)
- 第五十三 第二期治水計畫確立ニ關スル建議案(川原茂輔君外三名提出)
- 第五十四 農務省新設ニ關スル建議案(中倉万次郎君外八名提出)
- 第五十五 (特別報告第二百六十一號)賀名生ノ宮創建ノ請願 (委員長報告)
- 第五十六 (特別報告第二百六十四號)癘兵及戰死者遺族ニ對スル生活保全ノ請願外二件 (委員長報告)
- 第五十七 (特別報告第二百六十五號)漢方醫藥研究保存ノ請願 (委員長報告)
- 第五十八 (特別報告第二百六十六號)日光山ヲ國立大公園ト爲ス請願 (委員長報告)
- 第五十九 (特別報告第二百六十七號)上高地國立公園設置ノ請願 (委員長報告)
- 第六十 (特別報告第二百六十八號)漁港修築費國庫補助法制定ノ請願 (委員長報告)
- 第六十一 (特別報告第二百六十九號)聲問川河口修築ノ請願 (委員長報告)
- 第六十二 (特別報告第二百七十號)苫前漁港並避難港修築ノ請願 (委員長報告)
- 第六十三 (特別報告第二百七十一號)濱田港修築ノ請願 (委員長報告)
- 第六十四 (特別報告第二百七十二號)諸寄港漁港修築ノ請願 (委員長報告)
- 第六十五 (特別報告第二百七十三號)羽幌漁港修築ノ請願 (委員長報告)
- 第六十六 (特別報告第二百七十四號)湧別川治水ノ請願 (委員長報告)
- 第六十七 (特別報告第二百七十五號)根室、斜里間拓殖鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)
- 第六十八 (特別報告第二百七十六號)國有林野ニ關スル請願外四十三件 (委員長報告)
- 第六十九 (特別報告第二百七十七號)遠洋漁業獎勵法及附屬命令中改正ノ請願 (委員長報告)
- 第七十 (特別報告第二百七十八號)魚市場法制定ニ關スル請願 (委員長報告)
- 第七十一 (特別報告第二百七十九號)福岡市ニ國立工業試驗場増設ノ請願 (委員長報告)
- 第七十二 (特別報告第二百八十三號)口總郵便局ニ集配事務開始ノ請願 (委員長報告)
- 第七十三 (特別報告第二百八十四號)王子郵便局管轄區内ニ無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十四 (特別報告第二百八十五號)三山木村三山木無集配郵便局ニ電信、電話架設ノ請願 (委員長報告)
- 第七十五 (特別報告第二百八十六號)溫泉村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十六 (特別報告第二百八十八號)八代郵便局ニ集配事務開始ノ請願 (委員長報告)
- 第七十七 (特別報告第二百八十九號)六合村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十八 (特別報告第二百九十號)湯口郵便局ニ集配事務開始並志戸平ニ無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第七十九 (特別報告第二百九十一號)大原村大字市場ニ無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第八十 (特別報告第二百九十二號)戸ヶ崎郵便局ニ電信、電話事務開始ノ請願 (委員長報告)
- 第八十一 (特別報告第二百九十三號)明治村ニ集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)
- 第八十二 (特別報告第二百九十四號)網干驛前郵便局ニ特設電話架設ノ請願 (委員長報告)
- 第八十三 (特別報告第二百九十五號)田澤村ニ郵便局ヲ設置シ電信事務開始ノ請願 (委員長報告)
- 第八十四 (特別報告第二百九十六號)津輕海峽ニ自働航送船増加ノ請願 (委員長報告)
- 議長(奧繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス
〔原田書記官朗讀〕
一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
土地收用法中改正法律案
取引所稅法中改正法律案
(第一號)大正十一年度歲入歳出總豫算追加案
(特第二號)大正十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
(第三號)大正十一年度歲入歳出總豫算追加案
(第四號)大正十一年度歲入歳出總豫算追加案
(特第二號)大正十一年度特別會計歳入歳出豫算追加案
(以上三月十七日提出)
一去十六日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ
明治三十三年法律第七十五號及明治三十五法律第二十九號準用ニ關スル法律案
又今十八日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ
取引所法中改正法律案
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
古社寺保存法改正ニ關スル建議案
提出者 木下謙次郎君 大口 喜六君
樋口 秀雄君 若尾 璋八君
八木 逸郎君 木下成太郎君
櫻井松坂間鐵道速成ニ關スル建議案
提出者 大迫寺慶男君 津野田是重君

天春 文衛君 加藤久米四郎君
伊坂秀五郎君 宮田 光雄君
扶田 悅造君

四日市開々原木ノ本間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 天春 文衛君 加藤久米四郎君

伊坂秀五郎君 大道寺慶男君

東京神戸間高速度交通機關設備ニ關スル建議案

提出者 櫻内 幸雄君 坪田 十郎君

下出 民義君 川村 數郎君

(以上三月十六日提出)

生絲検査所擴張ニ關スル建議案

提出者 武藤 金吉君 竹上藤次郎君

(以上三月十七日提出)

一 去十六日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案

ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

(第三號)大正十年度歳入歳出總豫算追加案

和賀輕便軌道株式會社所屬軌道經營廢止ニ對スル

補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

明治四十四年法律第六十一號中改正法律案(政府

提出)

明治四十年法律第四十九號中改正法律案(政府提

出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載

ス)

一 去十六日辯護士法改正法律案委員匹田銳吉君、佐

野正雄君、清瀬一郎君辭任ニ付其ノ補關トシテ黒住

成章君、志賀和多利君、鮎川盛貞君、電信電話線

建設條例第六條ニ依ル手當金増額ニ關スル建議案

委員野呂丈太郎君辭任ニ付其ノ補關トシテ藤井啓

一君、大湯鐵道及魚沼鐵道買收ノ爲公債發行ニ

關スル法律案委員有森新吉君辭任ニ付其ノ補關ト

シテ山邑太三郎君、奈良ニ美術學校建設ニ關スル

建議案外二件委員磯田余三郎君辭任ニ付其ノ補

關トシテ吉良元夫君、露國政變及西比利亞事變ノ

爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案委員山道

襄一君辭任ニ付其ノ補關トシテ荒川五郎君、農業

組合法律案外一件委員多木久米次郎君辭任

ニ付其ノ補關トシテ阿部武智雄君、貨幣

法中改正法律案委員今井今助君辭任ニ付其ノ補

關トシテ八田宗吉君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

一 去十六日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案外一

件委員

春日 俊文君 根本 正君 萩 亮君

八木 逸郎君 高橋長七郎君 中馬 興九君

小野 重行君 神谷 彌平君 倉石 知藏君

一 昨十七日食料品配給設備ニ關スル建議案委員松本

孫右衛門君辭任ニ付其ノ補關トシテ岡田伊太郎君

ヲ、明治三十五年法律第四十九號中改正法律案外

一件委員高橋長七郎君辭任ニ付其ノ補關トシテ志

賀和多利君、破産法案外一件委員高田良平君、

久木田叶君、木村作次郎君辭任ニ付其ノ補關トシテ

清瀬規矩雄君、毛里保太郎君、安原仁兵衛君、辯

護士法改正法律案委員淺石惠八君辭任ニ付其ノ補

關トシテ井坂豐光君、電信線電話線建設條例第

六條ニ依ル手當金増額ニ關スル建議案委員木下甚

三郎君、松山常次郎君辭任ニ付其ノ補關トシテ志賀

和多利君、山口熊野君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

一 昨十七日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案外一

件委員

委員長 春日 俊文君 理事 倉石 知藏君

一 昨十七日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ

第三部選出請願委員 富永孝太郎君(村田虎之助

君補關)

第四部選出豫算委員 望月小太郎君(大津淳一郎

君補關)

第五部選出請願委員 本多貞次郎君(竹澤太一君

補關)

第八部選出請願委員 山口 熊野君(高野毅君補

關)

一 昨十七日理事補關選舉ノ結果左ノ如シ

貨幣法中改正法律案委員

理事 八田 宗吉君(理事今井今助君補關)

一 今十八日工場法中改正法律案委員樋渡次右衛門

君、佐野正雄君、土屋與君、武田德三郎君辭任ニ付

其ノ補關トシテ玉置良直君、安原仁兵衛君、高見之

通君、山口義一君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

○議長(奥繁三郎君) 會議ヲ開キマス

○山邊常重君 議事ノ進行ニ付テ、簡單デスカラ自席カ

ラ御許ヲ願ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 許シマスガ、アナタヨリ先キニ通告

ガアリマス—矢張議事ノ進行ニ付テ、發言ヲ板野友造君

ヨリ求メラレテ居リマスカラ、其後デ—板野君

○板野友造君 簡單デアリマスカラ此席ヨリ發言ヲ御許

ヲ願ヒマス、私ハ都市計畫ニ關シテ、政府ニ對シマシテ質問

書ヲ提出致シテ之ニ付テ、一月三十一日ニ質問ノ趣旨ノ

辨明ヲ致シテ置キマス、其際小橋内務次官カラ、之ニ對

シテハ大藏省トノ關係ガアルカラ、何レ書面ヲ以テ答辯ヲス

ルト云フ意味ノ御答辯ヲ、其際得テ居ルデアリマスガ、未

ダ此御答辯ニ接シマセヌ、會期モ將ニ盡キントスル際デア

リマスガ、私ハ茲ニ發言ノ御許可ヲ得マシタノハ、政府ニ向

テ日ヲ限リテ御催促ヲ申上ゲタイト思ヒマス、從來此質問ニ

對スル政府ノ答辯ナルモノヲ見ルト、謂ハバ通り一遍デア

テ洵ニ形式ニ流レル、尤モ一面カラ申上ゲマスレバ、質問ニ

名ヲ藉テ隨分質問ノ趣旨ノ辨明以上ノ御演說ヲ爲サル

傾ナキニ非ズデアリマス、政府ノ答辯ナルモノハ、要領ヲ盡

サナイノガ例デアリマス、ソレデアリマスカラ此儘ニシテ會期

ノ盡キルトキニ、例ノ不得要領ノ答辯ヲ得ルノハ遺憾ニ堪

ヘナイ、私ガ此質問ヲ致シマシタノハ演說ヲスル爲メノ質問

デアリマセヌ、其際ニ申シテ置キマシタガ、都市計畫ノ事業

ト云フモノハ極テ大事業デアッテ、各都市ノ財政ヲ壓迫スル

コト極テ大ナルモノデアアル、之ニ對シテ政府ハ補助スルカ否

ヤト云フヤウナ點、ソレニ付テ、其財源ニ付テ簡條ヲ舉ゲテ

御尋ヲシテ居ル譯デアリマスガ、是ハ御承知ノ事ト思ヒマス、

各都市トモ此事業ニ付テハ隨分事業ヲ進メテ居ル、事業ヲ

進メテ居リマスカラ、政府トシテハ此財源ニ付テ、一例ヲ舉

ゲマスレバ特別稅ニ付テ勅令ヲ以テ定メルト云フコトヲ言

テ居ルノデアリマスカラ、運クモ本法ガ適用サレル時—實

施サレル時、即チ大正九年一月ニ於テ之ガ財源ニ關シ、財

源ニ關スル法律ヲ拵ヘナケレバナラスモノガ、今日迄二年有

餘ノ間運レテ居ルト云フ有様デアアル、其他政府ノ公約ニ付

テ—財源ニ付テ都市計畫ヲ實行セル都市ニ對シテ、公約

ヲセルモノ未ダ會テ之ヲ履踐シタルモノアラズ、斯ウ云フ

有様デアアル、ソレデアリスカラ都市計畫法ガ實施ヲサレ、中

央ニ及地方ニ委員ガ出來テ、ドシ—仕事ヲヤテ居ルガ政

府ノ方デハ之ガ財源ニ付テ規定セラルベキ、例ヘバ勅令ナド

ヲ發布シナイ、之ガ爲ニ事業ヲ實行セル都市ノ困難一方ナ

ラズ、斯ウ云フコトニナッテ居ル、殊ニ私ハ此事ニ付テ二月二

十八日ニモ御催促致シマシタクレドモ、各都市トモ此事業

ニ付テ、丁度今日大正十一年度ノ豫算ニ付テ—事業遂

行ノ豫算ニ付テハ今審議中デアアルノデアラカラ旁、今明決

ナル御答辯ヲ得ル必要ガアル、斯ウ云フ事ニ相成ッテ居リマ

スルカラシテ、會期愈、盡キントスル時デモ、満足ノ御答辯ガ

得ラレルナラバソレ宜シガ、從來ノ例ニ依ルト十分ナル御答辯ヲ得ルヤ否ヤハ甚ダ疑ハシイ點モナキアラズ、斯様ニ考ヘマス、仍テ私ハ此一月三十一日ニ私ガ質問ノ趣旨ノ辨明ヲ致シテ置キマシタ此速記ニ付テ、其際ニ舉ゲマシタ七八箇條ニ付テ、本日此席ニ於テ御答辯ヲ得ラレマスレバ洵ニ結構デアリマスガ、當時内務次官ノ仰セニナクヤウニ書面デ御答辯下サルト云フデアリマスルナラバ、次ノ本會議迄ニ書面ヲ以テ答辯ヲ煩シタイト思ヒマス、勿論此席ニ於テ口頭ヲ以テ御答辯ヲ得ラレマスレバ、是レ以上ノ幸ハアリマセヌ、是ダケデアリマス

〔政府委員小橋一太君登壇〕

○政府委員(小橋一太君) 答辯ガ遅レテ居ルカラシテ、早ク答辯ヲセヨト云フコトデアリマシタガ、是ハ質問主意書ノ御説明ノ際ニ申シテ置キマシタヤウニ、都市計畫ノ實行上ニハ重大ナル關係ヲ有シマスルノデ、之ニ對スル御答ハ都市計畫實行上ニ成ベク副フヤウニ、必要ナル事項デアルガ故ニ今稅務當局等トモ交渉中デアリマスカラ、不日成ベク早ク書面ヲ以テ十分ニ御答スル積リデアリマス

○議長(奥繁三郎君) 山邊常重君

○山邊常重君 簡單デアリマスカラ此席カラ——本員ノ提出ニ係ル印紙稅法中改正法律案ハ、本月四日ノ本會議ニ於テ委員付託ニナリマシタケレドモ、今日マデ未ダ一回モ委員會ヲ開會サレマセヌ、甚ダ會期切迫ノ今日杞憂ニ堪ヘマセヌ、一日モ早ク開會ヲ希望致シマス

○議長(奥繁三郎君) 議長ヨリ通達スルコトニ致シマス、日程第一、明治三十三年法律第七十五號及明治三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、川村拓殖局長官

第一 明治三十三年法律第七十五號及明治三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

明治三十三年法律第七十五號及明治三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案

明治三十三年法律第七十五號ハ南洋群島ニ在勤スル内地人タル文官判任以上ノ官吏ニ、明治三十五年法律第二十九號ハ南洋群島ニ在勤スル内地人タル警部補及巡查ニ之ヲ準用ス

附則
本法ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ本法施行ノ際現ニ南洋群島ニ在勤スル者ニ關シテハ本法施行前ヨリノ在職年月數ニ付亦之ヲ適用ス

〔政府委員川村竹治君登壇〕

○政府委員(川村竹治君) 本案ハ極テ簡單ナルモノデアリマス、即チ明治三十三年法律第七十五號、及明治三十五年法律第二十九號ハ、臺灣、樺太ニ在勤スル官吏及巡查ノ勤続年數加算ノ法律デアリマス、而シテ今回南洋廳ノ設置ニ伴ヒ、南洋群島ニ在勤スル所ノ官吏、及巡查ニ對シテ同様ノ加算ヲ與フル爲ニ、是等法律ヲ準用スルト云フ案デアリマス、何卒協賛アラント希望致シマス

○議長(奥繁三郎君) 日程第一、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 本案ハ永屋茂君外二名提出、巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案外九件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成(贊成ト呼フ者アリ)〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第三、土地收用法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、小橋内務次官

第三 土地收用法中改正法律案(政府提出)

土地收用法中改正法律案

土地收用法中左ノ通改正ス

第二條第五號ヲ左ノ如ク改ム

五 前各號ニ掲ケタルモノヲ除クノ外國府縣市町村其ノ他公共團體ニ於テ施設スル事業

第二條ノ二 現ニ公共ノ利益ト爲ルヘキ事業ノ用ニ供スル土地ハ特別ノ事由アル場合ニ非サレハ之ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ス

第五條中「權利ヲ有スル者」ノ下ニ「及其ノ土地ニ存スル建物ニ付賃借權又ハ擔保權ヲ有スル者」ヲ、土地ニ關シテ權利ヲ取得シタル者」ノ下ニ「又ハ其ノ土地ニ存スル建物ニ付賃借權又ハ擔保權ヲ取得シタル者」ヲ、同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

起業者ニ於テ第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ時ヨリ六月以上ノ期間ヲ定メ建物ノ移轉ヲ要求スル場合ニ於テ其ノ建物ニ付期間ノ定ナキ賃借權又ハ

移轉スヘキ期間内ニ終了スル期間ノ定アル賃借權ヲ有スル者ハ關係人ト看做サス

第八條ノ二 本法ノ規定ハ土地ニ定著スル物件ニシテ之ヲ收用又ハ使用スルニ非サレハ事業ノ目的ヲ達スルコト能ハサルモノヲ其ノ土地ト共ニ收用又ハ使用スル場合ニ之ヲ準用ス

第十條第三項ヲ左ノ如ク改ム

日出前日没後ハ占有者ノ承諾アルニ非サレハ邸内ニ立入ルコトヲ得ス

第十五條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ同條中「前項」ヲ「前二項」ニ改ム

宮内大臣、主務大臣又ハ地方長官前項ニ規定スル事業ノ爲メ土地ヲ使用スルキハ事業ノ種類、使用スヘキ土地ノ區域及利用ノ期間ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第十七條中「爲シタルキ」ノ下ニ「又ハ第十五條第二項ノ通知ヲ受ケタルキ」ヲ加ヘ「第三項」ヲ「第四項」ニ改ム

第十九條ノ二 前條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後土地所有者及關係人ハ行政廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ形質ヲ變更シ又ハ

第八條ノ二ノ物件ヲ損壞若ハ收去スルコトヲ得ス

第二十條中「前條」ヲ「第十九條」ニ改ム

第二十一條 第十九條ノ地方長官ノ公告又ハ通知ノ後起業者ハ土地所有者又ハ關係人ト共ニ土地物件ニ關スル調書ヲ作製スヘシ

前項ノ場合ニ於テ土地所有者又ハ關係人カ調書ヲ作製スルコトヲ拒ミタルキ又ハ之ヲ作製スルコト能ハサルキハ起業者ハ市町村長ノ立會ヲ以テ之ヲ作製スヘシ市町村長カ起業者ナルキ又ハ起業者ニ對シ第四十條第二項ニ掲ケタル關係ヲ有スルキハ起業者ノ申請ニ依リ地方長官立會人ヲ指定スヘシ

起業者、土地所有者及關係人ハ本條ノ規定ニ依リ作製シタル調書ノ記載事項ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第二十三條中「左ニ掲ケタル書類」ノ下ニ「及第二十一條ノ規定ニ依ル土地物件ニ關スル調書」ヲ加フ

第二十四條 地方長官前條ノ書類ヲ受ケタルキハ二週間内ニ之ヲ市町村長ニ送付スヘシ

市町村長前項ノ書類ヲ受ケタルキハ五日內ニ公告ヲ爲シ公告ノ日ヨリ一週間之ヲ公衆ノ縦覽ニ供スヘシ

第二十六條 地方長官ハ前條ノ期間終了シタル日ヨ

リ一月内ニ收用審査會ヲ開クヘシ但シ特別ノ事由アル場合ニ限り二週間内ノ延期ヲ爲スコトヲ得
第三十三條中「第三項」ヲ「第二項若ハ第四項」ニ改ム
第四十條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ同條中「市參事會員、町村長」ヲ「市町村長」ニ「委員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキ」ヲ「府縣名譽職參事會員タル委員ノ數減少シタルトキ」ニ改ム

本條ノ規定ニ依リ高等文官タル委員ノ數減少シタルトキハ地方長官ハ高等文官ニシテ其ノ本條ノ規定ニ抵觸セサル者ノ内ヨリ臨時ニ指名シテ之ヲ補充スヘシ
第四十三條中「收用又ハ使用スヘキ土地以外ノ土地所有者」ヲ「前項ニ掲クル者以外ノ者」ニ改ム
第六十六條ニ左ノ一項ヲ加フ
第二十二條ノ協議ニ因リ取得シタル土地ハ本條ノ適用ニ付テハ之ヲ收用シタル土地トス

第七十五條 第十九條ノ二ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
第七十六條 第九條又ハ第十一條ノ規定ニ違反シ行政廳ノ許可ヲ得シテ土地ニ立入又ハ障害物ヲ除却シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第七十七條 鑑定人トシテ收用審査會ニ呼出サレタル者詐偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス
第七十八條中「四十圓以下ノ罰金」ヲ「百圓以下ノ過料」ニ改ム

第七十九條ヲ削ル
第八十條中「二十圓以下ノ罰金」ヲ「五十圓以下ノ過料」ニ改メ同條ヲ第七十九條トス
第八十條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ付テハ準用ス

第八十六條第一項及同條中「及沖繩縣」ヲ削ル
附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法中期間ノ定アル場合ニ於テ本法施行前其ノ起算期日ノ經過シタルモノニ付テハ本法施行ノ日ヲ以テ其ノ起算期日トス
本法施行前土地收用法第七十八條又ハ第八十條ノ規定ニ該當スル行爲ヲ爲シタル者ノ處罰ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

【政府委員小橋一太君登壇】
○政府委員(小橋一太君) 本改正案ハ至テ簡單ナル改正アリマス、簡單ニ其理由ヲ申上ゲマス、近時世運ノ進歩

ニ伴ヒマシテ、公共團體ニ於テ施設經營セザルベカラザル各種ノ公共の事業ガ、段々大増加致シマス結果トシテ、是等ノ事業ニ要スル土地モ、其事業ノ遂行上之ガ收用又ハ使用スルノ途ヲ開キマシテ、事業ノ進捗ヲ圖リ、且ツ關係人又ハ從來ノ買戻權者ノ範圍ヲ擴張シ、其他手續上ニ於ケル不便ノ點ヲ除キマシテ、起業者ノ利便ヲ圖リマスト共ニ、一方ハ被收用者ノ權利ヲ保護スルノ必要ガアリマスノデ、現行土地收用法ニ是等ノ諸點ノ改正ヲ加ヘタノデアリマス、大體ニ於テ極ク簡單ニ申上ゲマス、何卒御審議ノ上御協賛アラシコトヲ望ミマス

○議長(奥繁三郎君) 日程第四、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス
第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○岩崎勳君 委員ノ數ハ特ニ十八名トシ、議長ニ於テ指名アラシコトヲ望ミマス
○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ
○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ政府提出貴族院送付ノ取引所法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キ、政府ノ説明ヲ求メ之ヲ審議シ、引續キ之ガ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ行ハシコトヲ望ミマス

【贊成】(贊成ト呼フ者アリ)
○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ日程變更ノ緊急動議ハ御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ、取引所法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、山本農商務大臣

取引所法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會
(小字ハ貴族院修正)

取引所法中改正法律案
取引所法中左ノ通改正ス
第四條 株式會社組織ノ取引所ハ他ノ株式會社組織ノ取引所ヲ合併スル場合ニ限り政府ノ認可ヲ受ケ其ノ存在シタル地區内ニ支所ヲ設クルコトヲ得支所ノ數ハ其ノ合併ニ依リ消滅スル取引所及支所ノ數ヲ超ユルコトヲ得ス

○取引所ト看做シ依ルニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス
第四條ノ二 有價證券ヲ賣買取引スル市場ハ。本法ニ

第六條中「仲買人及」ヲ削リ「仲買人」ニ「取引員」ニニ改ム
第八條 取引所ハ政府ノ認可ヲ受ケ取引所ノ賣買取引ニ附帶スル業務ヲ營ムコトヲ得
第二十二條ノ規定ニ依リ賠償ノ責任ニ任スル株式會社組織ノ取引所ハ倉庫業ヲ除クノ外前項ノ業務ヲ營ムコトヲ得ス但シ物件又ハ銘柄ノ一部ニ付賠償ノ責任ニ任セサル場合ニ於テ其ノ一部ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三章 取引所ノ會員及取引員
第十條第一項ヲ削リ同條中「仲買人」ヲ「取引員」ニ改ム
第十一條中「帝國臣民」ノ下ニ「又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル會社」ヲ加ヘ「仲買人」ヲ「取引員」ニ「婦女、未成年者」ヲ「無能力者」ニ「其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リ」ヲ「刑ノ執行ノ免除ヲ得」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

合名會社、合資會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ其ノ無限責任社員ノ全員カ帝國臣民タルモノ、株式會社ニ在リテハ其ノ資本ノ半額以上及議決權ノ過半數カ帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル法人ニ屬シ其ノ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員ノ全員カ帝國臣民タルモノニ非サレハ會員又ハ取引員トナルコトヲ得ス無限責任社員又ハ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員中前二項ニ該當スル者アル場合亦同シ

第十一條ノ二中「第十條第一項ノ要件ヲ缺キ又ハ」及「第十條第一項ノ要件ヲ缺キ若ハ」ヲ削リ「第一項若ハ第二項」ヲ「第一項、第二項又ハ第四項」ニ「第一項第二項」ヲ「第一項、第二項若ハ第四項」ニ「仲買人」ヲ「取引員」ニ「第一項又ハ第三項」ヲ「第一項、第三項又ハ第四項」ニ「第一項若ハ第三項」ヲ「第一項、第三項若ハ第四項」ニ改ム
第十一條ノ三 取引員取引所ノ役員タル認可ヲ受ケタルトキハ其ノ免許ハ效力ヲ失フ
第十一條ノ四 會員又ハ取引員ハ第二項但書ノ場合ヲ除クノ外支店、出張所其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ二以上ノ場所ヲ以テ同一取引所ノ賣買取引ノ取扱ヲ爲ス場所ト爲スコトヲ得ス
何人ト雖取引所ノ賣買取引ノ委託ノ代理、媒介又ハ取次ヲ營業ト爲スコトヲ得ス但シ會員又ハ取引員ニシテ農商務大臣ノ認可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス
第十二條第一項ヲ削リ同條中「仲買人」ヲ「會員又ハ取

引員三改ム

第十三條中「取引所ノ仲買人ヲ」取引員ニ改ム

第十四條中「取引所ノ會員及仲買人ヲ」會員又ハ取引員ニ改ム

第十五條中「仲買人ヲ」取引員ニ改ム

第十五條中「若ハ仲買人ヲ」若ハ取引員ニ改ム

第十五條ノ三中「仲買人ヲ」取引員ニ改ム

第十五條ノ三中「死亡」ノ下ニ解散ヲ加フ

第十六條中「取引所ノ仲買人」及「仲買人ヲ」取引員ニ改ム

第十六條ノ二、第二十七條及第二十八條中「仲買人」ヲ取引員ニ改ム

第十七條中「役員又ハ取引所ノ」株式會社組織ノ取引所ノ役員又ハ「仲買人ヲ」取引員ニ改ム

第十七條ノ二 取引所ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ商議員會ヲ置キ取引所ニ關スル重要ナル事項ヲ付議スヘシ

第十八條 取引所ノ賣買取引ノ期限ハ有價證券ニ在リテハ二箇月、米ニ在リテハ三箇月、蠶絲ニ在リテハ六箇月其ノ他ノ商品ニ在リテハ勅令ノ定ムル期間ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十二條第一項ヲ左ノ如ク改ム

取引所ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ賣買取引ノ違約ヨリ生スル損害ニ付賠償ノ責任スルコトヲ得

第二十二條ノ二 株式會社組織ノ取引所ハ前條ノ規定ニ依リ賠償ノ責任スルトキハ營業保證金ヲ政府ニ納ムヘシ

第二十四條ノ二 取引所ノ賣買取引ノ委託者ハ會員又ハ取引員カ委託契約ニ違ヒタル場合ニ於テ其ノ違約ニ因リ債權ニ關シ違約シタル會員又ハ取引員ノ身元保證金ニ付他ノ債主ニ對シ優先權ヲ有ス

前條ノ優先權ハ前項ノ優先權ニ對シ優先ノ效力ヲ有ス

第二十五條中「仲買人ヲ」會員又ハ取引員ニ改ム

第二十六條中「各仲買人ヲ」各會員又ハ各取引員ニ改ム

第二十六條ノ二 差金取引ヲ爲ス取引所類似施設ヲ爲シ又ハ其ノ施設ニ依リテ取引ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條 第十七條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ同條第二項ノ特別ノ利害關係ヲ生スルコトヲ目的トスル行爲ヲ爲シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條ノ三第一項ニ左ノ一號ヲ加フ

四 第二十六條ノ二ノ規定ニ違反シタル者

第三十二條ノ六中「仲買人ヲ」取引員ニ改ム

第三十二條ノ七 本法ノ罰則ハ法人ニ在リテハ其ノ行爲ヲ爲シタル理事、取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員ニ之ヲ適用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條ノ改正規定中有價證券ノ賣買取引ノ期限ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ他ノ規定ヨリ後ニ之ヲ施行スルコトヲ得但シ其ノ施行ノ期日ヲ大正十三年四月一日ヨリ後ト爲スコトヲ得ス

本法施行ノ際現ニ營業スル仲買人ハ其ノ營業部類ニ付本法ニ依リ其ノ取引所ノ取引員タル免許ヲ受ケタルモノト見做ス

本法施行前ニ爲シタル取引所ノ賣買取引ニ付テハ其ノ取引ノ結了ニ至ル迄仍舊前ノ例ニ依ル

〔國務大臣男爵山本達雄君登壇〕

○國務大臣(男爵山本達雄君) 現行取引所法ハ明治二十六年ノ制定ニ係リ居ルノデアリマスガ、爾來必要ニ應ジマシテ、同法及關係法令ノ改正ヲ爲シマシテ、時勢ノ進運ニ伴ハシメル處置ヲ今日マデ執リツ、アルノデアリマスガ、我が經濟界ハ最近非常ナル發達ヲ遂ゲマシテ、現行取引所制度ヲ以テシテハ、到底社會ノ需要ニ應ジマシテ、其本來ノ職責ヲ全ウセシムル上ニ於テ遺憾ノ點ガ少クナイノデアリマス、是ニ於キマシテ政府ハ速ニ適當ナル改善策ヲ講ズルノ必要ヲ認メマシテ、一昨年ノ特別議會ニ於テ調査費ノ協賛ヲ得、爾來取引所法改正調査委員會ヲ設ケマシテ、改善ニ關スル調査研究ヲ爲シ、其調査ニ基キマシテ、此度此法案ヲ提出致シマシタル次第デゴザイマス、本改正案ノ根本義ハ、直物取引ヲ助成シ、無謀ナル投機取引ヲ戒ムベク抑壓シテ、取引所常務理事ノ團體トシテ物資ノ需給ヲ調節シ、公正ナリ相場ヲ公定スル機關タル機能ヲ十分ニ發揮シタイト云フ精神デアリマス、ソレニ付キマシテ第一此取引所ノ組織ニ關シマシテハ、株式會社組織、會員組織ノ孰レヲ以テ可トスベキヤノコトニ付キマシテモ、論議ハ色々アリマスガ、歐米ノ實例ニ徴シテ見マシテモ、又取引所ノ本質ヨリ論ジテ見マシテモ、共ニ當事者團體ヲ其本體ト爲シマス

ル會員組織ヲ以テ理想トスルコトガ適當ト考ヘルノデアリマス、併ナガラ我國ノ株式會社組織ノ取引所ハ、既ニ四十有餘年ノ歴史ヲ持ッテ居リマシテ、我が國情ニ應ジテ今日ノ發達ヲ爲シタルモノデアリマシテ、此方ニ於テモ採ルベキ點モ亦少クナイノデアリマス、仍テ今俄ニ此制度ヲ改メマシテ、全國各取引所ヲ劃一的ニ會員組織ニ變更セシメルガ如キハ、大ニ我が國情ノ爲メ考ヘナケレバナラス必要ガアルノデアリマス、故ニ斯ノ如キ急激ナル改革ハ之ヲ避ケマシテ、徐々ニ時勢ノ要求ニ適合スル組織ノ現出ヲ期スルヲ以テ適當ト認メタノデアリマス、株式會社組織ノ此取引所ニ對シマシテハ、會員組織ノ長所ヲ大ニ加味スルニ努メ、又是マデ會社組織取引ニ關シマシテハ從來ノ法規ハ餘リ嚴シ過ギマシテ實情ニ遠ザカッテ居ル事情ガアルノデアリマス、今回ハ之ヲ整理致シマシテ實情ニ適セシメ、以テ其實況ヲ促進セシメントスル精神デアリマス、第二從來ノ規定ニ於キマシテハ、株式會社組織ノ取引所ハ「取引所」ニ於テ賣買取引ニ付テ其確實安固ヲ期スル爲ニ、擔保ノ責任スベキモノト致シテ居リマス、併ナガラ賣買取引ノ當事者自ラ負擔スルヲ以テ本旨トスル擔保責任ヲ、第三者タル取引所ヲシテ負ハルモノガ如キ制度ハ、我が國情上之ヲ必要トスル事情ガアルモノデアリマス、其長所モ之ヲ認メザルヲ得ヌノデアリマス、又一面ニ於キマシテハ諸種ノ弊害ノ根源ヲナセルコトモ、何人モ之ヲ看過スル事ガ出來ナイノデアリマス、仍テ本案ニ於キマシテハ、取引所ノ擔保ハ當事者ガ相互的ニ之ニ任スベキコトヲ原則ト致シマシテ、取引所ノ強制擔保制度ヲ廢シタル譯デアリマス、而モ經濟界ノ實情ニ徴シ、取引所ニ擔保責任ヲ負ハシムルヲ以テ必要ト爲ス場合モアルノデアリマス、此邊ヲ考慮致シマシテ、農商務大臣ノ認可ヲ受ケマシタル場合ニハ、取引所ハ擔保責任ヲ負擔シ得ル制度ヲ設ケテ、サウシテ實際ノ必要ニ應ジセントシテ居リマス、次第デアリマス、第三ニ賣買取引ノ方法ニ關スル規定如何ハ、取引所ノ利弊ノ岐レル根源デアリマシテ、極メテ重要ナル事項デアリマスガ、就中最も重要ナル取引ノ最長期ニ付キマシテハ、法律ニ明文ヲ設ケテ之ヲ限定シテ居リマス、蓋シ取引ノ期限ヲ徒ニ長クセシムルトキハ、不健全ナル取引ヲ多カラシムルノ慮リガアリマスガ、又不當ニ之ヲ短縮スレバ、實取引ノ事情ニ適セズ、却テ物資ノ供給關係ヲ紊スニ至ルベキ虞ガアリマス、仍テ有價證券ニ付キマシテハ、其本質ヨリ之ヲ二箇月ニ短縮スルヲ適當ト認メ、其他ノ商品ニ付キマシテモ、ソレト適當ト認ムル範圍ニ於テ之ヲ定メタノデアリマス、尚ホ取引所ノ賣買方法ニ付キマシテハ、從來ノ如ク其種類ヲ法制ニ依リテ限定スルコトヲ廢メマシテ、直ニ社會ノ需要ニ應ジシメントスル次第デアリマス、併シ不健全ナル投

機取引ヲ抑制シ、取引ノ直物化ヲ期シ、取引所ヲシテ堅實
眞摯ノ取引機關ヲラシムルノ方法ヲ執リ、長期取引ニ付キ
マシテハ、證據金ヲ懸合セシメ、更ニ取引所ヲシテ倉庫業、
立替業ヲ經營セシメル等、賣買取引所ノ資力信用ノ保護
ト相俟テ、此目的ノ達成上必要ナル改正ヲ加ヘタ次第デ
アリマス、第四、一地區一箇所制ハ、現行法ノ根本原則デ
アリマス、然ルニ近時經濟界ノ發達ニ伴ヒマシテ、有價證券
ノ數ガ著シク増加致シマシテ、其取引繁盛トナリ、取引所
外ニ有價證券現物市場ノ設置ヲ出願スル者モ少クナイノデ
アリマス、併シ斯ル取引ハ之ヲ悉ク取引所ニ包含スルヲ以テ、
眞正ノ公正相場ヲ決定スル上ニ必要ト考ヘ、加ルニ有價
證券ノ完全ナル投機物件タル性質上、之ヲ取引所ノ市場
ガ必然ノ二差金決済ヲ伴フベキコトハ、古今東西ノ實例ニ
徴スルモ明ナル事實デアリマス、仍テ本案ニ於キマシテハ、有
價證券ノ賣買取引ヲ爲ス市場ハ、總テ取引所法ニ依リ之
ヲ律スルコト、致シタノデアリマス、其他ノ商品ニ付キマシテ
モ、取引所外ニ於テ差金取引ヲ爲ス取引所類似ノ施設ヲ
爲シ、又ハ斯ル施設ニ依リテ取引ヲ爲スコトヲ嚴禁致スコト
ハ勿論デアリマス、改正案中ノ他ノ條項ト相俟テ、徒ニ投
機心ヲ誘發シ不健全ナル投機取引ヲ爲シテ社會ニ害毒ヲ
流スガ如キコトヲ防遏シタリト思フノデゴザイマス、以上ノ
趣旨ニ依リマシテ取引所法改正案ヲ提呈シタル次第
デアリマス、何卒御協賛アラント希望致シマス(拍手)
○議長(與繁三郎君) 質疑ノ通告ガアリマス、與村千太
郎君

〔與村千太郎君登壇〕

○與村千太郎君 昨ハ只今上程サレマシタ取引所法中
改正案ニ付テ質疑ヲ致サウト存ジマス、取引所ニ於ケル賣
買取引、並ニ之ニ關聯致シマス所謂場外取引ニ絶エズ
注意ヲ拂テ居リマス者ヨリ見マスレバ、近年程此賣買取
引ノ亂雜ニ流レ、秩序ノ紊レタコトハ既往ニ於テモ其例ガ
ナイノデアリマス(ヒヤ)ト呼フ者アリ、隨テ斯様ナル無
秩序、無節制ニ陷テ居リマス所ノ幾多ノ取引ヲ矯正シ
ヤウト思ヒマスナラバ、時代ノ要求ニ適應シマス所ノ法
規ヲ制定シ、若クハ法ノ威力ニ依リテ之ヲ取締ラナレバナ
ラヌノデアリマス、吾々ハ此點ヨリ致シマシテ取引所法改正
ノ急務ヲ認メ、同時ニ本改正案ガ現行法ニ比較致シマシテ、
確ニ一進歩ヲ爲シタモノト云フコトヲ認メテ居ル者デアリマ
ス、併ナガラ改正ノ箇條ハ表面極テ一小部分デゴザイマシ
テ、此取引所法ヲ活カシテ使ハレルカ、或ハ殺シテ使ハレ
ルカ、主トシテ取引所令ノ改正、並ニ此取引所ノ運用如何
ニ在リノデアリマス、然ル只今政府當局ヨリ承リマシタル

所ノ説明、並ニ先般來貴族院ニ於キマスル本案審査ニ對
スル所ノ質問應答ヲ速記録ニ依リテ拜見致シマス、政
所當局ガ果シテ取引所ノ改善ニ關シマシテ徹底的ノ御意
見ト確信ヲ持テ此案ヲ提出サレタモノデアルカ否カラ疑ハ
ザルヲ得ナイノデアリマス、何故ナレバ貴族院ニ於キマス
所ノ質問ト應答ニハ、幾多ノ矛盾ガアリマス、擲著ガアリマ
ス、曖昧不明瞭ナル點ガアリマス、ソレデ私ハ極テ肝要ナル二
三ノ點ニミ對シテ、極テ簡單ナル質疑ヲ致シ明確ナル御
答辯ヲ得タイト存ジマス、第一ハ、本案ノ第八條ノ附帶事
業ノ點ト、此附帶事業ヲ營ム事ニ依リテ起ル所ノ取引所ノ
資本金トノ關係デアリマス、本改正案ニ於キマシテハ、現在
株式組織ノ取引所ニ會員組織ノ精神ヲ加味シタコト、
新ニ短期ノ定期取引ヲ認ムル事トノ二ツガ改正ノ主眼ト
ナリ居リマス、サウシテ現在株式組織ノ取引所ハ何ヲ生命
ト致シテ存立シテ居ルカト申シマス、是ハ御承知ノ如ク強
制擔保ノ制デアリマス、此制度アルガ爲ニ取引所ハ恰モ保險
料ニ等シイ所ノ賣買手續料ヲ取り、之ニ依リテ株主配當
ヲ爲シ、取引所ノ經費ヲ支拂テ居ルノデアリマス、即チ現
行取引所法ノ第二十二條ニ於キマシテハ、株式會社ノ取
引所ハ賣買取引ノ違約ヨリ生ズル損害賠償ノ責ニ任ズ
バナラヌ制度ニナリテ居ルノデアリマス、然ルニ今回ハ之ヲ改
正サレマシテ、取引所ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ賣買取引
ノ違約ヨリ生ズル損害ニ付キ、賠償ノ責ニ任ズルコトヲ得
ト、斯ウ各取引所ノ心任セ、即チ任意擔保ト變テ、現在ノ
積極主義カラ消極主義ニ變ルノデアリマス、取引所ハ
其市場ニ於キマスル所ノ賣買取引ニ對シテ、擔保ヲシナイ
コトガ原則ノヤウニナリマシテ、擔保ヲスルコトガ寧ろ例外
ト看做サル、ヤウニナリマシテ、隨テ若モ此制度下方
法ガ今直ニ實行サレルモノデアラナラバ、各取引所ハ今日ト
違テ所ノ別個ノ生命ヲ見付ケ出サナレバ其存立ハ出來
ナイノデアリマス、然ラバ此場合ニ於テ取引所ハドウシテ存
立シテ行カ、斯様ニ申シマス、取引所ハ仲買人ニ現在ノ
市場ヲ貸シマシテ、其貸賃ヲ取ルコト、同様ノ意味ト、賣買
取引ニ關シマスル清算ヲ行フ爲ニ要スル費用ヲ取ルニ過ギ
ナイト云フコトニナルノデアリマス、勿論私ハ任意擔保制ニ
ナリテ所デ、現在ノ仲買ノ資産ノ信用程度ニ於キマシテハ、
總テノ賣買取引ヲ取引所ガ擔保セズシテ、何等ノ蹉跌ナク
行キ得ルモノトハ考ヘマセヌ、併ナガラ理論トシテハ右ノ様
ナ結果ニナルノデアリマス、隨テ斯様ニナリマスル曉ニ於テ、
現在ノ取引所ハ何ニ依リテ立行クコトガ出來ルカト申シマ
ス、ソレハ本案八條ニ依リマスル所ノ附帶事業ニ依リテ、主

トシテ收入ヲ舉ゲルコトニスルノ外ハナイノデアリマス、故ニ
擔保制度ガ事實上全廢セラレナイ今日、若クハ近キ將來ニ
於キマシテハ、之ヲ附帶事業ト稱セラレマス、改正
案ノ本旨カラ申シマスレバ、此附帶事業ハ實ハ取引所ノ事
業トナルノデアリマス、同時ニ現在ノ株式取引所ニ於ケル株
主等ニ大ナル打撃ヲ與ヘズシテ、又財政ノ波瀾ヲ惹起サシ
メズシテ、株式組織ノ取引所ノ會員組織ノモノニ移リ變ラシ
ムルコトノ希望ヲ達セントスル程ノ所謂附帶事業ヲ盛
大ナラシメテ、取引所ガ賣買手續料ノ收入ヨリモ他ノ事業
ノ收益ニ重キヲ置クコトニ、其營業振ヲ變ヘナレバ其目
的ヲ達スルコトガ出來ナイノデアリマス、茲ニ於テ私ハ之ニ
對スル政府當局ノ見解、又ハ今後ノ對取引所方針ナルモ
ノニ多大ノ疑問ヲ懷ク者デアリマス、其次第八條是等ノ事情
十二條ニ修正ヲ加ヘラレ、附帶事業ヲ許サレル範圍ハ稍明
瞭ニナリタヤウデアリマス、然レモ尙且ツ判斷致サヌ點ガ
多イ、解釋次第ニ依リテ如何様ニモ見ラレルノデアリマス、私
ノ考ヘマス所ニ依リマス、比較的長期ノ取引ハ今後モ依
然トシテ擔保制ヲ採用サレ、短期ノ定期取引ハ無擔保ト
ナルコトガ殆ド原則トナリハ致サヌカ、勿論理窟ハ長期取
引ニ於テモ、平均シテ價格ノ變動ノ少イ取引物品ハ擔保
制ヲ採用シナイデモ安心シテ取引ガ行ハレルコト存ジマ
ス、又假令短期取引デモ取引物品ノ種類ニ依リマシテ、
高下ノ荒イ其變動ノ多イモノハドウシテ申セバ、取引所ガ
擔保ヲシナイデハ、安心シテ取引ノ行ハレナイヤウナ場合ガ
生ズルデアラウト考ヘマス、此場合ニ於テ政府ハアノ株ノ場
合ニハ擔保ヲナス、此株ハ擔保ヲシナイデモ宜シイト云フガ
如ク、取引物品ノ種類ヤ銘柄ト、時ト場合ニ依リテ賠償責
任ノ有無ヲ生ズルヤウナ仕組ヲ御許ニナルカドウカ、又同ジ
株式ガ長期ノ定期取引デモ賣買サレ、短期取引デモ賣買
サレマス場合一方ハ有擔保デ一方ハ無擔保ト致シマスレ
バ、全部ガ無擔保トナラザル限り、附帶事業ヲ御許シナラ
ヌ御積リデアルカドウカ、若モ萬一ニモ左様ナ事ダト致シマ
スルト、長短相俟テ取引ノ行ハレベキモノヲ人爲ヲ以テ取
引ヲ阻碍シ若クハ急激ニ制度ヲ改正スルト同様ノ結果ニ
陥リハ致サナイノデアリマセウカ、右ノ理窟ヲ擴充致シマス
ト、種類ノ多イ所ノ株式ナラバ擔保ノ有無ハ銘柄次第デ如
何様トモ出來ルカモ分リマセヌガ、一品取引即チ格付賣買
ノ綿絲等ハ、定期カ現物カ孰レカ一方ノ取引ヲ行フコトニ
シナイ限り、附帶事業ヲ營ムコトガ出來ナイヤウナコトニナ
リハ致サヌカト考ヘルノデアリマス、又「物件ハ銘柄」一部ニ

付云々下アリマスガ、取引所ノ資本ハ一ツデアアルモノヲ、此
内何百何十萬圓迄ハ何モ株式賣買者ノ責任ニ任ゼラレル
カラソレダケノ分ヲ附帶事業ノ資金トシテ運用ヲ許スト云
フガ如キ方法ハ、實際ト理論ト兩ツナガラサレ得ベキモノデ
ハナカラウト存ジマスガ、之ニ對スル政府當局ノ御所見ヲ承
リタイノデアリマス、次ニハ取引所ト資本ノ關係デゴザイマ
スガ、從來政府ハ此取引所ノ増資ナルモノニ付テハ、常ニ非
常ナ干渉主義ヲ執ラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ私共考
ヘマスノニ、從來トシテハ、成程如何ニモサマルベキ事デ、
強制擔保ニ對スル取引所ノ責任トシテハ、濫ニ危險ナル方
面ニ資本ヲ使フトカ、何トカト云フコトハ出來ナイノデアリマ
スカラ、如何ニモ左様ナ方針ヲ執ラレトガハ、道理デアル
ト考ヘマス、又増資ハ動モスレバ手數料率引上デノ前提ト
ナリマスカラ、之ニ對シテモ、斯ウ云フヤウナ方針ヲ執ラレ來
タコトハ尤ダト考ヘマス、私共此點ニハ同感デアリマスガ、併
ナガラ法ガ一旦改正サレマシテ、取引所ノ性質ソレ自體ガ、
從來ノ強制擔保ヲ撤廢シテ、一種ノ事業會社トナルト云フ
コトソレ自身ガ、益、會員組織ニ近ヅク道行ト致シマスレ
バ、寧ロ今後ハ從來ト反對ニ、政府トシテハ手數料引上ニ
對スル所ノ認可權ヲ御持ニナル、之ヲ許否スル權能ヲ御持
ニナルノデアアルカラ、此手數料率ノ引上ニ對スル認可權サヘ
固ク御持ニナテ居レバ、一方ニ於テ如何程増資ヲ御許ニ
ナリマシテモ、一般資本家ニ對シテモ何等ノ苦痛ヲ與ヘナイ
モノデアラウト思ヒマス、寧ロ取引所ガサウ云フ自由ナ立場
デ營業スルト云フコトガ、一方ニ於テ會員組織ヲ助長スル
道程デハナカラウト斯ウ考ヘル者デアリマス、然ルニ現在
ニ於テ政府當局トシテ此法ノ改正ハナサツタニ拘ラズ、依然
トシテ此増資ト云フコトヲ大變御嫌ヒニナルヤウナ御意見
ヲ間接ナガラ承テ居リマス、今後モ矢張同様ノ御方針ヲ以
テ御進ニニナル積リデアアルカ、是ハ取引所ノ増資ヨリモ、會
員組織ノ取引所ニ移リ變リ行クコトガ出來ルカ出來ナイカ
ト云フ、單純ナル問題ヲ解決スル所ノ前提ダト思ヒマスルカ
ラ、此際承テ置キタイト思ヒマス、第二ノ質疑ハ此近年全
國到處ニ非常ニ小現物屋ナル者ガ發生致シマシテ、種々
ノ害毒ヲ流シテ居ルノデアリマス、一方ニ於ケル定期其他ノ
仲買人ハ、政府當局ヨリ非常ナル此監督ヲ受ケマスルガ、一
方ニ於ケル市中現物屋ナルモノハ非常ニ自由ノ立場デアリ
マシテ、假令如何ナル薄資ノ者デモ、一夜ニシテ現物仲買ノ
看板ヲ掲ゲテ、サウシテ營業ヲシテ居ルノデアリマス、ソレガ
爲ニ此客筋ニ種々ノ迷惑ヲ及ボスコトガ少クナイノデアリマ
スカラ、是ハ矢張丁度現在ノ質屋營業ト同様ニ、一種ノ免
許營業トサレタナラバ、斯様ナル害毒ヲ流サナイデ宜クハナ

イカト斯ウ考ヘマスルガ、政府ニ於テハ左様ナ御考ハ少シモ
御持ニナテ居ラナイカドウカ、此點ヲ伺ヒタイノデアリマス、
第三ハ綿絲ノ現物取引デゴザイマスルガ、本改正案ニハ有
價證券並ニ米或ハ蠶絲トカ云フモノハ、孰レモ改正案第十
八條ニ於テ、其限月デ規定サレマシタニ拘ラズ、獨リ綿絲ニ
付テノミハ何等ノ御規定ガナク、他ノ商品ト共ニ勅令ノ定
ムル所ニ依ルト云フ風ノ御方針ヲ御執リニナツタデアリマ
ス、是ハドウ云フ譯デ此獨リ綿絲ノミヲ左様ニ御取扱ニナ
タノデアアルカ、之ガ私共ニ頗ル其意ガ解セヌノデアリマス、ソ
レト同時ニ株式等ノ現物ニ致シマスルト、定期トハ劃然タ
ル區別ガ出來得マスレドモ、綿絲ハ御承知ノ如ク名ハ現
物デゴザイマスガ、或ハ六箇月或ハ一年ト云フ、此長期ナル
先約ヲ行フコトガ現物ノ特色トナテ居リマス、此場合ニ於
テ主務省ガ從來申サレテ居ルガ如ク、此綿絲ノ現物取引ヲ
斯ウ云フ御計畫ガ假令出來マシタ曉ニ於キマシテモ、果シテ
此定期ト現物ト云フモノトノ區別ガドウシテ出來得ルカ、株
式ナラバ或ハ七日間、或ハ十日間ト云フ短カイ短期取引ガ
行ハレマセウガ、綿絲ニ於テハ之ガ行ハレ得ナイノデアリマ
ス、然ラバドウシテ現物ト定期ト云フモノトノ、其間ニ於ケル
期間ニ付テ區別ガ付キ得ルカ、此點ヲ御伺致シタイノデアリ
マス、ソレカラ第四ハ此改正案ヲ運用スルノハ、政府當局ノ
手心ニモ依リマスルガ、主トシテ此取引所ノ結果ヲ見ナケ
レバ、此案ガドウ云フ效果ヲ奏スルト云フコトガ確カト分ラ
ヌノデアリマスガ、之ニ對シテ取引所令ノ大綱ト云フモノハ、
既ニ御腹案ガアルノデアアルカドウカ、若シ御腹案ガアリマシ
テ、此改正法案ト密接ナル關係ガアリマスル點ガゴザイマス
レバ、其點ニ付テ何レノ日ニ於テカ此大體ノ大綱ト云フモ
ノヲ、御示シ下サランコトヲ望ンデ置ク次第デアリマス、私ノ
質問ハ大體右様ナ質問デ、尙ホ質疑ノ細目ハ澤山アリマス
レドモ、本會議デハ申上ゲナイコトニ致シマス（拍手）

○議長（奥繁三郎君） 山本農商務大臣

○國務大臣（男爵山本達雄君） 御答致シマスガ、是マデ

ハ株式組織ニ付キマシテハ、強制擔保ヲ主トシテ、サウシテ強
制擔保ヲ會社ニ爲サシメタ、此度ノ改正ニ於キマシテハ相
互的ノ擔保ヲ主ト致シマシテ、サウシテ強制擔保ト反對ナ
ル取扱ヲ致シタノデアリマスルガ、之ニ付テドウ云フ區別カ
ト云フコトデアリマス、此改正ノ趣旨ヲ述ベマスル際ニ申述
ベマシタ如ク、此度ノ改正ハ矢張歐羅巴ナドニ行ハレテ居
リマスル會員組織ト云フモノヲ主トシテ、追々ニ其方ニ向ケ
タイト云フ考デアリマス、斯ウ致シマスルト云フト、是マデノ如

ク、會社ニ於テ強制擔保ヲ政シマスルコトニ非ズシテ、會員
相互ニ付テ擔保ヲ置クヤウニナル方ニ變ズルノデアリマス、ソ
レデ斯ク致シタウゴザイマスガ、何シロ四十有餘年ノ歴史
ヲ持テ居リマスル此株式會社ニ於キマシテ從來ノ強制擔
保ヲ免ルヤウナコトニ法ヲ用キテ行キマスルト云フト、多大
ノ變化ガ起テ參リマシテ、ソレト同時ニ經濟社會ニ又少カ
ラズ變動ヲ起ス處ガアルノデゴザイマスカラシテ、ソレデ此改
正ノ趣旨ト致シマシテハ、假令改正ヲ致シマシテモ、急激ナ
ル變化ヲ經濟社會ニ及ボサナイト云フコトヲ、最も考慮ノ中
ニ加ヘマシテ改正シタコトデアリマス、ソレデアリマスカラシ
テ、此會員組織ヲ主トシテ多ク改正ヲ致シマシタガ、從來取
引所ニ於テ、株式組織デ成立テ居ル會社ハ、矢張此意味ニ
於テ限月ヨリ定期デアリマス、限月ヲ主トシテ爲ス者ナラバ
矢張自由ニソレヲシテ宜シイ、政府ニ於テハ此間ニ付テ強
要シテ、サウシテ行クヤウナコトハ成ダケ避ケタイ、ソコデ此
案ニ於キマシテハ、從來今日行ハレテ居リマスル株式組織
ノ限月ニ於テ、即チ定期——定期ニ於テ爲サント欲スレバ、
矢張是迄ノ通り自由ニサシメテ、少シモ變ルコトハナイノ
デアリマス、併シ世ノ中ノ進歩ト共ニ追々仲買ノ地位ガ向
上致シマシテ、サウシテ時勢ニ伴ウテ段々參リマスル、ドウモ
會員組織ガ却テ適切ナリト云フ如キ時期ガ來リ、又サウ云
フヤウナル空氣モ起ルノデアラウ、其時ニ於テ徐ニ會員組織
ノ方ニ漸次ニ移レバ宜シイ、是ハ唯法ニ於テ何方デモ御採
リナサイ、會員組織ヲ欲スルナラバ、會員組織ニ編入ヲナサイ、
現行ノ儘デソレヲ欲スルナラバ其儘デオヤリナサイ、二ツノモ
ノヲ此處ニ置イテ置キマスルカラシテ、ソレデ從來ノモノハ何
方デモ宜シイヤウニシマセウ、併シ今後將來ニ於テ起ルモノ
ハ總會員組織、是カラ起ラントスルモノハ株式組織ハ法ノ
上デ許サナイ、唯從來ノモノハ從來ノ儘トシテ、サウシテ變
化ヲ待ツト云フ意味ニ於テ、此組織ヲ致シマシタノデアリマ
ス、ソレハ今御質問ノ點ノ強制擔保——強テ擔保ヲ要シタモ
ノヲ、今度ハ擔保シナクテ宜イト云フ如キ反對ノ結果ガ起
ルノデアリマスガ、唯ソレハ今申シタ通りニ、會員組織ノ方デ
行キタイモノハ行キ、從來ノ慣例ニ依テ爲サントスルモノハ
其儘ニ爲シテ宜シイ、斯ウ云フコトニナツテ參リマシタカラシ
テ、此反對ノ結果ガ起ダ所以デアリマス、併シ現ニ此三箇
月ノ取引デ爲シテ居リマスル現行ノ株式ナラ株式ト云フモ
ノハ、此節ノ法ニ依リマスルト云フト、此三箇月ヲ二箇月ニ
縮メマスガ、二箇月ノ定期、サウシテ又短期ノ取引或ハ一
週間トカ、十日間トカ云フ如キ短期ノ取引、第三ハ現物
ノ取引、是ハ實際品物ト現金トヲ交換致シマスルモノト、此
三ツノモノガ自由ニ一ツノ取引デナルノデアリマス、ソコデ其

定期ノ取引ニ依リマス、從前ノ強制擔保ニナルノデアリマス、今度ハ短期ノ取引ニ依リマス、ソレハ相互ノ擔保ニシテ、サウシテ強制擔保ヲ抜クト云フコトニ相成テ居リマス。カラシテ、此商買人ハ當リ前ノ三箇月トカ、四箇月トカト云フヤウナコトデハ到底完全ナル取引ヲ爲シ得ナイノデアリマス、御承知ノ通りニ綿絲、棉花ノ取引ハ大概世界的ニ於テ一箇年ノ期限ニナッテ居ルノデアリマス、英吉利ニ於キマシテモ、亞米利加ニ於キマシテモ、綿絲、棉花ノ取引ハ一箇年ト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス。カラシテ、之ヲ他ノ商品ノ如ク三箇月ヤ四箇月ニ致シマス、實際ニ付テ餘程困難ヲ生ズルノデアリマス。カラシテ、是ハ六箇月ニ致シマス、八箇月ニ致シマス、但シハ一年ト云フコトニ矢張世界的ノモノニ致シマス。カラシテ、大ニ事實ニ依リマシテ、サウシテ考慮スル必要ガアルノデゴザイマス。カラシテ、其意味ニ於テ此法律ニハ期限ヲ定メナイ譯デアリマス、ソレカラ限月ト現物ノ取引ト云フモノハ何處ニ區別スルカト云フコトデアリマシテ、成程今日此取引ニ於キマシテハ、延取引ト稱ヘテ、サウシテソレノ數箇月後ノ約束ヲシテ居リマス、サウシテ其間ニ矢張延トシテ是マデ禁ジテアリマス。斯ウ差金賣買ノ如キモノハ實際行ハレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナル事ハ今申ス如キ法律ノ下ニ、期限ヲソレヲ或點マデ長ク致シテ居ッナラバ、其方ニハ一向差支ナイト思ヒマス、其他現物ノ取引トシテハ爲シマスルコトハ、丁度御話ニアリマシテ、其外ニ於テ爲スモノハ、苟モ此取引所類似ノ如キモノガアルナラバ、ソレハ成ダケ政府ハ出來得ルダケ監督ヲ致シマシテ、サウ云フコトノ無イヤウニシタイト思ヒマス、併シ唯本當ニ物ノ注文ニ應ジテ幾ラ買フ賣ルト云フコトニ付テ、其間ニ相場類似ノモノデナクシテ、當リ前ノ商賣ニ於テ爲ス如キ取引デアリマシタナラバ、是ハ無論自然ニ起ルコトデアリマス。カラシテ、之ヲ如何ニスル途ハナイノデゴザイマス、大阪ノ綿布ノ三品取引所外ニ於テ取引ヲスル如キモノハ、是ハ今度ノ改正ニ依ッテ考ヘテ見マス。ト云フト、是ハ從前ノ如キ自由ナル取引ハ出來ナイコトニスル積リデアリマス、大體……(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 山邊常重君

(山邊常重君登壇)

○山邊常重君 諸君本員ハ只今上程ニナリマシタ取引所改正法案ニ付キマシテ、聊カ政府當局ニ質疑ヲ致シタイノデアリマス、此改正法規ヲ全部通覽致シマス。ト云フト第一ニ限月短縮ノ問題デアリマス、現在ニ於テハ當、中、先、ト三箇月ニナッテ居リマス。クレドモ、之ヲ改正法規ニ依リマスト二箇月ニ短縮サレタアリマス、要スルニ此二箇月ニ短縮サレタ政府ノ御趣意ハ、投機ノ期間ガ長ケレバ長イダケ、投機思想ノ心ヲ助長スル、之ヲ短縮シテ成ヘク投機的思想、

及ビ惡感的思想ヲ抑壓シタイト云フノガ政府ノ御趣意デアリヤウニ思ハレマス。クレドモ、是ハ大ナル間違デアリマシテ、縱令限月ガ二箇月ニ短縮サレマシテモ、決シテ此投機取引ト云フモノハ、ソレニ依ッテ其數ガ減ルト云フコトハ申サレマセズ、ソレハ明治四十一年ノ頃、東京株式取引所ニ於テ新東株ノ直賣買ト云フモノガ盛ニ行ハレテ、日ニ六七万株、乃至多イキニハ十五六万株ノ賣買ガアッタト云フコトヲ聞イテ居リマス、直取引ハ毎日決濟ヲスル取引デアリマス、ソレデス。ス。如キ莫大ナル取引ガ行ハレルノデアリマス。カラシテ、況ヤ限月ヲ一箇月位短縮致シマシタ所デ、決シテ投機心ヲ抑制シ惡感心ヲ之ニ依ッテ抑ヘルト云フコトハ、私ハ蓋シ不可能ダラウト思ヒマス、却テ之ガ爲ニ現在ニ於テハ當、中、先、三箇月ノ食合デアリマス。クレドモ、之ヲ二箇月ニシマス、食合ノ數ガ多クナリマシテ、隨テ相場ノ波瀾ハ現在ヨリ以上ニ大クナルト私ハ信ジテ疑ハナイノデアリマス。デアリマス。カラシテ、折角限月ヲ短縮サレテ、投機思想ノ抑壓シタイト云フ御企ハ、却テ投機思想ヲ助長スル私ハ原因デアルト云フコトヲ斷言致シタイノデアリマス、之ガ第一點デアリマス、第二點ハ附帶事業ノ兼營デアリマス。ガ、附帶事業ト申シマス。ス。要スルニ取引所ガ立替假拂ヲスルト云フコトニ止マルダラウト思ヒマス、是ハマダ受渡ノ期日ガ來ナイ前ニ、代金ヲ立替ヘテ取引所ガ之ヲ拂ッテヤル、ソレニ對シテ相當ノ利息ヲ取ルト云フコトニナリマス。ス。銀行業ノ兼營トナルヤウナ嫌ガアルノデアリマス、法文ノ上デ認メルト云フコトニ致シマス。レバ、取引所ノ理事者ガ買方ナリ、賣方ナリ、孰レカニ間接直接ニ味方ヲスルト云フコトガ極ク容易イコトニナルノデアリマス、矢張ヤリ易イヤウニナルノデアリマス、此點ニ付キマシテ、政府ハ如何ナル御考デ此附帶事業ノ兼營ヲ許サレマシタカ、明確ナル御答ヲ承リタイノデアリマス、其次ハ會員組織ノ取引所ニ爲サル點デアリマス、成程時代ノ進歩ト共ニ取引所ヲ改革スル點ハ多クアリマス。クレドモ、現在ノ株式組織ノ取引所ヲ會員組織ニスルトハ、甚ダ適法ノヤウデアリマス。クレドモ、私ハ今日日本ノ現狀、即チ經濟界ノ狀態及有價證券ノ數、其他銀行等ノ關係ヨリ考ヘマス。ト、現在ノ取引所ヲ會員組織ニ導クコトハ出來ルカモ知レナイケレドモ、會員組織ニ之ヲ改メルト云フコトハ殆ド百年河清ヲ待ッ嫌ガアルダラウト私ハ信ズルノデアリマス、殊ニ現在ノ東京ノ株式取引所ノ仲買人ノ身元保證金ハ十五万圓、今納メテ居ルノガ十萬圓、殘リノ五萬圓ハ本年七月マデニ納メレバ宜イト云フコトヲ聞イテ居リマス、斯ノ如ク信用取引ヲ基礎トスル仲買人ガ十五萬圓ノ身元保證金ヲ満足ニ豫納スルコトガ出來ナイコトハ、此點カラ考ヘマシテモ我ガ日本ノ經濟界ガマダ如何ニ

幼稚アルカト云フコトハ、大凡推定ガ出来ルグラウト思ヒマス、之ヲ會員組織ニ致シマスル、現在ノ株式取引所ト云フモノハ無クナルコトナリマス、サウシマスル現ニ四千五百萬圓ノ資本ヲ有シテ居ル東京株式取引所ガドウ云フ形ニ依テドウ處分サレカ、私ハ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、若シ之ヲ政府ガ買上デナサルト云フナラバ、ソレハ別ニ問題ハアリマセケレドモ、現在ノ東京株式取引所ヲ會員組織ニ致シマシテ、仲買人全體ニ於テ之ヲ引受ケルト云フコトニスルト、今ノ時價ニ積テ約一億圓、東京株式取引所仲買人ノ數ハ八十人ト限ラレテ居リマス、サウシマスル殆ド一人頭約百二十萬圓カラノ金ヲ固定サセナカッタラバ、此現在アル所ノ株式組織ノ取引所ハドウスルコトモ出来ナイコトニナルノデアリマス、此點カラ考ヘマシテモ、我が日本ノ國デ會員組織ノ取引所ノ方面ニ進メタイト云フコトハ、是亦現在ニ於テ不可能ナル事ト思フノデアリマス、殊ニ會員組織ニ致シマス、資力ノアル仲買及信用アル仲買ハ宜クアリマセケレドモ、若シ會員中ニ信用モナク、或ハ資産モナイ人ガ仲買ヲシテ居ルト、詰リ組合ノ會員デ仲買事業ヲシテ居ルト致シマスル、其人ノ不法行為ニ依テ生ジタル所ノ總テノ損害ハ、會員全體ガ連帶シテ責任ヲ負フコト云フコトニナルガ故ニ、若シ現在ニ於テ會員組織ヲ實行ナサレマシタナラバ、性質ノ惡イ、信用ノ無イ、資産ノ無イ仲買ハ相當繁昌スルカモ知レマセケレドモ、信用アリ資産アル仲買ハ之ニ依テ却テ驅除サレハシナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、之ガ第三ノ質問デアリマス、殊ニ現在ニ於テハ強制擔保ノ下ニ取引ノ賣買ヲ致シテ居リマセケレドモ、ソレデスラ尙且ツ色々ノ問題ガ起リテ、昨年ノ如キハ東京株式取引所ニ於キマシテモ、而モ二人ノ違約處分ヲ出シテ居ルノデアリマス、之ニ依テ生ジタル損害ハ、私共ハ知りマセケレドモ、サウ云フ問題ガ起ル度ニ、取引所ハ多少ナリトモ損害ヲ被ムルト云フコトハ蓋シ明ナル事實デアリマス、之ヲ任意擔保制ニ改メ、即チ會員組織ニスルト云フコトハ、果シテ現在ノ我が國情及經濟上ニ適合シテ居ルヤ否ヤト云フコトニ付テ、政府當局ノ説明ヲ承リタイ、之ガ第一段デアリマス、ソレカラ序デアリマスガ第二段——所管ガ違ヒマシテ大藏省ノ——マダ上程ニナリマセケレドモ、序ニ質問致シタイノデス、ソレハ取引所税法ノ改正デアリマス、現在ノ取引所税法ハ大正三年三月三十日法律第二十三號ヲ以テ發布セラレタノデアリマス、之ニ依リマスルコト云フコト第五條ノ第一種ハ即チ地方債證券及社債券ノ税金ハ百分ノ二ニナシテ居リマス、御提出ニナリマシタ取引所税法ヲ見マスルト云フト是ガ百分ノ零六ニ引下ゲラレテ居リマス、ソレカラ第二

種ノ有價證券、是ハ現在ノ法律ハ百分ノ五デアリマセケレドモ、改正ノ税法ヲ見マスルト云フト、百分ノ二半ニ引下ゲラレタアリマス、第三モ同クサウサテ居リマス、是ハ成程有價證券ノ賣買及其他ノ商品ノ賣買移轉ヲ圓滿ナラシムル上ニ於キマシテ税金ヲ引下ゲラレタコト云フコトハ、私ハ謹デ賛意ヲ表シマスルケレドモ、第六條ノ規定ヲ全ク削除セラレタコト云フコトハ、私ハ甚ダ遺憾ニ堪ヘナイ、其理由ハ現在ノ税法ニ依リマスルコト云フコト、定期取引ニ於ケル所ノ轉賣買戻ニ付キマシテハ税金ヲ課セナイ、詰リ税金ヲ取ラナイ事ニナッテ居リマス、所ガ此規定ヲ削除サレマスルト云フコト、此期間ニ於ケル轉賣買戻ニ付キマシテモ、今回ハ百分ノ二、五ノ税金ヲ課スルト云フ事ニナリマス、今日ノ取引所ノ實狀カラ致シマスル、多イ日ニハ五十五萬株、少イ時デモ六七萬株ノ取引賣買ガアルサウデアリマス、之ニ對シテドウ云フ風ニ決濟サレカト云フコト、現在ニ於テハ取引所高ノ約八割ハ、轉賣買戻ノ形式ニ依テ決濟サレルノデアリマス、残りノ二割ガ實際ノ株券取引、即チ受渡ニ依テ其決濟ヲ了スルノデアリマス、サウシマスルコト此轉賣買戻ヲスルト云フヤウナ人ハ、多クハ小資本家若クハ小株主デアル、現在ニ於テハ此小資本家小株主ニ對シテハ取引所ノ税金ヲ課セナイケレドモ、改正法ニ依ルト之ニ税金ヲ課スル、殊ニ大株主若クハ大資本家ハ期月ニ至リマシテ其株券ヲ引取テ之ヲ所有シテ居ルコトハ出来マセケレドモ、小資本家ハサウ云フコトハ出来ナイノデ、已ムヲ得ナイカラ轉賣買戻ノ形式ニ依テ此取引ヲ決濟スル、サウ云フ狀態デアリマセケレドモ、此改正法ニ依リマスル、所謂小株主及小資本家ヲ壓迫シマシテサウシマシテ大資本家ヲ援護スルニ餘リ厚クハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、サウシマスルコト云フコト、成程政府ノ考デハ、一面カラ此轉賣買戻ノ取引ニ對シテ税金ヲ課スルト云フコトハ、實際ノ取引ダケ行ハセテ、投機的、思惑的ノ取引ハ行ハレナイヤウニナルコト云フ御考デアリカモ知レマセケレドモ、是ハ前段取引所改正法ニ於テ述ベマシタ通り、決シテ之ヲ國民ノ投機心及思惑心ヲ抑壓スルコトハ蓋シ不可能デアラウト思ヒマス、此點ニ付キマシテ政府ハ何故ニ第六條ヲ削除ナサレマシタカ其理由モ併セテ、所管ハ違ヒマセケレドモ政府當局ニ承リタイ、是デ私ノ質問ハ終リマス(拍手)

○國務大臣(男爵山本達雄君) 御質問ノ三箇月ヲ二箇月ニ致スコトニ相成リマシテ——斯ク致シテモ投機ノ抑制ニハナラヌト云フコトデアリマスガ、之ハ見ル所ニ於テ或ハサウ云フ御考モ出ルカモ知レマセヌガ、元來米トカ、絲トカ、或ハ綿絲トカ云フ如キ商品ト違ヒマシテ、證券ナルモノハ餘程趣ガ遠デ居ルノデアリマス、米ノ如キ、絲ノ如キモノハ、例ヘバ養蠶ナラ養蠶ニ於テ春蠶ヲ拵ヘマシテ、ソレヲ絲ニ紡イデ今度外國ニ賣出シマスルト云フモノハ、此春ノ養蠶ガ途ニ翌年ノ又養蠶ノ時期マデモ關係ヲスルモノニ相成ッテ居ルノデアリマス、又綿絲ノ如キモノニ於キマシテモ棉ノ豐凶ニ依ッテ綿絲ノ値ガ定マル、隨テ其生産ニ付テ幾ラニ賣ラタラ宣シカト云フコトノ勘定モソレカラ起リテ參ルノデアリマス、ソレ故ニ綿ヲ買付ケ、又繭ヲ買付ケタト云フ人ハ、其繭ヲ土臺ノ原價トシテ、サウシテ製絲ヲ幾ラシテ之ヲ幾ラニ賣ルト云フコトノ勘定ヲ立テル次第デアリマス、併シ有價證券ニナリマシテハ、何モソレカラ造ルノデアリマセズ、今日現存シテ居リマスル其會社ノ株ヲ賣買致スノデアリマス、ソレ故ニ唯徒ニ此期間ヲ長クシテ居ルト云フコトハ、謂ハ、寔ニ意味ノ無イコトニナルノデアリマス、一會社ノ株ヲ賣リマスと言ヒマシタ所ガ、此モノガ九州ノ端ヨリ東京ニ送リ、北海道ノ端ヨリ東京ニ持テ來テ賣ルト見マシタ所ガ、サウ非常ナル時ハ要シナイノデアリマス、又其間ニ於テ非常ナル變化モ大體ノ經濟上ヨリ外ニ其品物ハ自身ニ於テハドウシテモ長イ間デ賣買ヲシナケレバナラヌト云フ必要モ他ノ物ヨリモ少イノデアリマス、ソコデアリマスル故ニ、政府ニ於キマシテハ三箇月ノ如キ長イモノハ昔鐵道或ハ電信、電話ト云フ如キモノ、無イ時ノ物ナラバ中一時ニ品物ヲ運搬シマス上ニ付テモ、餘程時ヲ費シマスケレドモ、今日ニ於テハ電信一本デ賣買モ出来、又ソレニ付テ其品物ヲ送ルコトモ出来ルノデアリマス、カラシテ、マダ縮メテモ宜シイ位ニ考ヘルノデアリマス、併ナガラ三箇月ノモノヲ二箇月ニスルト云フコト、ソレヲ尙ホヨリ短クスルト云フコトハ餘リ經濟上習慣ヲ破ルコトナリマシテ宜シクナイト思ヒマス、ソコデ先ヅ是カラ三箇年ノ格トリヲ與ヘマシテ、大正十五年ニ於テ初テ二箇月ニスルト云フ如キ、洵ニ緩慢ナル改正デゴザイマスカラシテ、之ニ付テハ政府ニ於テハ適當ナル短縮ノ仕方ト心得ル次第デアリマス、ソレカラ第二ニ附帶事業ヲ爲サシメレバ、今日ノ株式組織ノ會社ニ付テ賣買執レカニ付テ遠ニコチヲノ最廣ヲスルトカ、ドウトカ云フ強弱ノ關係ヲ來シテ、ソレガ爲ニ弊ガ起ルト思フガ、ドウトカ云フ事デアリマスガ、之ニ付キマシテモ、マア附帶事業ナルモノハ會員組織ニ於テドウシテモ無ケレバ缺損或ハ立替ト云フ如キモノガドウシテモ生レテ來ルモノデアリマス、強制擔保ヲ要スベキ會社ニ、其株式會社ニ直ニ強制附帶事業ヲ爲サシメルト云フコト、遠ニ御疑問ノ如キ事ノ生ズル憂ガアルノデアリマスカラシテ、此會社ノ其株式組織ヲ離

レテ強制擔保ニ變ズル、例ヘバ十ノ有價證券ニ付テ、其間
ニ二ツトカ三ツトカ云フコトニシテ、サウシテ會員ノ
相互ノ責任ト云フコトニシテ行クナラバ、ソレダケハ強弱ノ
關係ニナラス、即チ會員組織ノ方ノ取引トナルノデアリマス
カラシテ、是ハ強弱ノ關係ヲ賣買執レカニ偏スルト云フコト
ハナイダラウ、丁度今御話中ニアリマシタ如ク、取引所ノ其
賣買取引人ニ一ノ銀行ガ金ヲ貸シ株ヲ貸スト云フコト殆
ト同ジ關係ニナルノデアリマスカラシテ、ソレニ付テハ別段弊
ハ起キナイト云フ考デアリマス、ソレカラ第三ニ取引所ノ會
員組織ノ變更ハ、是ハ或ハ何時マデ經テモ行ハトス、百年
河清ヲ待ツ如キモノデアルト云フ事デアリマスガ、或ハ御疑
問ノ如キ事ニナルカモ知レマセヌ、ソコハ政府ニ於キマシテ
ハ、立テ前ヲ會員組織ニ致シマスガ、會員組織タルガ故ニ、
是迄ノ株式會社ヲ是非會員組織ニ改メロ、早クシロト云フ
如キ強要ハ決シテ致サナイ、唯株主、仲買人、其關係ノ人ガ
會員組織ニシタイト云フ如キ空氣ガ、世ノ進運ト共ニ自然
ニ起テ來タナラバ、其時ニ爲シ得ル事ノ法ヲ今日ヨリ設ケテ
置ク、將來ノモノハ會員組織デアラウ、從來ノモノハ今言フ如
キ自然ノ成行ニ任セテ行クト云フコト、成タケ變化ノナイ
モノニ致シテ居ル次第デアリマス、ソコニ至リマシテ株式會
社ニ於キ、又ソレニ關係ノ利害ヲ持テ居ル取引人ニ於テ、
矢張從前ノガ宜シイ、從前ノ通りニヤリタイ言フナラバ、
少シモ是マデヨリ違タコトハナイ、從前ノ通りニ何時マデモ
爲シ得ルノデス、サウ云フ自由ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、而
シ會員組織ニスルト云フコトハ、今ノ御質問ノ時ニアリマシ
タ仲買人ニ於テ或ハ會員組織ニナルト、仲買人ガ甚ダ資本
ノ微弱ニシテ、又信用ノ薄弱ナル者ガアリ、ソレガ仲間ニ這
入テ居ルト、互ノ連帶ノ責任デアル故ニ、外ノ善イ者ガ段
段去テシマフデヤナイカト云フ御話デアル、是モ成程資本
ノ微弱ニシテ信用ノ薄弱イ者ガ澤山アレバ、善イ人ハソレト仲
間入スルコトハ好ミマセヌ故ニ去ル譯デアリマス、併シソレト
同時ニ善イ仲買人ガアルナラバ、惡イ仲買人ハ成タケ仲間
ニ這入ラナイヤウニシテ行クヨリ外ニ仕方ガナイノデアル、ソ
コデ今ハ假令仲買人ニ信用ノ薄イ者ガアラウガアルマイガ、
會社ニ於テ強制擔保シテ居ルノデアリマスカラシテ、如何ナ
ル者ガ仲買人ノ中ニアデモ、客ハ殆ト仲買人ヲ選バズシテ
何處ヘデモ注文シテ居ル、而シテ會社ガ責任ヲ負フト云フ
ノデアリマスカラシテ、仲買人ノ善惡ヲ餘リ選バズシテ行キ、
又仲買人ハ客ノ身代如何モ餘リ考ヘズシテ、サウシテ爲シ
得ルト云フ如キ、洵ニ責任ノ薄イモノデ取引シテ居ルノデア
リマス、其間ニ色々ナ害ガ起ルノデアリマス、若シ連帶ニシマ
スト云フト、惡イ者ヲ仲間ニハ入レナイ、又皆ガ資本ノ少イ
者デアラナラバ、成タケ資本ヲ殖ヤサウ、又信用ヲ増サウ、自

身ノ地位ノ向上ヲ御互ニシヤウト思ウテ、互ニ戒メ合ヒ、互
ニ責メ合ヒ、サウシテ立派ナモノニシテ、客ノ成タケ來ルヤウ
ニ、顧客ノ爲ニ自身ノ信用ヲ増スト云フ事ガ起ルノデアル、
又客ニ於テモサウ云フモノデアリマスカラシテ、餘程仲買人
ノ身代信用ヲ眺メテ、サウシテ注文シナイト云フト、是ハ色
色ナル引掛リガ起リ、サウシテ困難ガ生ズルノデアリマス、斯
ウ云フヤウナコトハ會員組織ニシマス、會員自ラ相戒メ、
又仲間ヲ選ブト云フヤウナコトニナツテ、顧客モ亦斯ノ如ク
シテ相倚リ相扶ケテ、サウシテ地位ノ向上ヲ圖リ、責任ヲ成
タケ持タシテ行ク、何デモ會社ガ強制擔保デアラカラ宜イト
云フガ如キコトハ色々弊ガ起ル、故ニ丁度御議論ノ反對ノ
結果ヲ生ジタイト云フ積リデ、茲ニ變更致シタル次第デアリ
マス、此段御答致シマス（拍手）

○議長（與繁三郎君） 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員
ノ選舉ヲ議題ニ供シマス

右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 委員ノ數ハ特ニ二十八名トシ、議長ニ於テ指
名アラントコトヲ望ミマス

「贊成」ト呼フ者アリ

○議長（與繁三郎君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、取引所稅法中改正法律
案ノ第一讀會ヲ開キマス、大藏大臣

第五 取引所稅法中改正法律案（政府提
出） 第一讀會

- 取引所稅法中改正法律案
- 第五條 取引所ニ於ケル賣買取引ニシテ差金ノ授受ニ
依リテ決濟ヲ爲シ得ルモノニハ其ノ賣買各約定金高
ニ對シ左ノ稅率ニ依リ取引稅ヲ課ス
- 第一種 地方債證券又ハ社債證券ノ賣買取引
甲 七日以内ノ期限ヲ以テ履行期ト爲スヘキ取
引ニ屬スルモノ 萬分ノ〇・六
乙 其ノ他ノモノ 萬分ノ一
- 第二種 有價證券ノ賣買取引
甲 七日以内ノ期限ヲ以テ履行期ト爲スヘキ取
引ニ屬スルモノ 萬分ノ一・五
乙 其ノ他ノモノ 萬分ノ二・五
- 第三種 商品ノ賣買取引
賣買取引約スルモノ其ノ稅金ハ之ヲ免除セス 萬分ノ二・五
- 第六條 削除
- 第七條中「定期取引」ヲ「賣買取引」ニ改ム

第八條中「仲買人」ヲ「取引員」ニ、「毎月分ノ定期取引
」ヲ「取引稅」課セラルヘキ毎月分ノ賣買取引」ニ、「種別」
ヲ「種別及其ノ區分」ニ改ム

第九條乃至第十四條、第十六條、第十八條、第十九條
及第二十一條中「仲買人」ヲ「取引員」ニ改ム

第十七條中「定期取引」ヲ「賣買取引」ニ改メ第三項ヲ
削除

第十七條ノ二 取引所ニ於ケル賣買取引ニシテ第五
條ニ規定スル賣買取引ニ該當セザルモノニ付差金ノ
授受ニ依リテ決濟ヲ爲シタルトキハ取引物件ノ種別
ニ從ヒ其ノ最高稅率ノ取引稅ヲ課セラルヘキ賣買取
引ヲ爲シテ脫稅シタルモノト看做シ其ノ稅金五倍ニ
相當スル罰金ニ處ス直ニ其ノ稅金ヲ徵收ス但シ稅金
二十圓未満ナルトキハ罰金額ヲ百圓トス

前項ノ場合ニ於ケル稅額ハ賣買各約定金高ニ依リ
計算ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前ニ爲シタル取引所ノ賣買取引ニ付テハ其ノ
取引ノ結了ニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ル

（政府委員神野勝之助君登壇）

○政府委員（神野勝之助君） 此度取引所法案ガ提出セ
ラレマシタルノ件ヒマシテ、取引所稅ノ賦課方法並ニ稅率ニ
關シタル規定ヲ修正致ス必要ガアリマシテ、本案ヲ提出
致シタル次第デアリマス、其要點ヲ申上ゲマス、第一ニ
ハ現行取引所稅法ニ依リマシタル、定期取引ニ對シテ取引
所稅ヲ賦課スルコトニナツテ居リマスガ、今回ノ取引所稅改
正案ニ於キマシテハ、定期取引ト云フ用語ヲ削リ、取引所稅
マシ、ソレデアリマスガ取引所稅法ニ於キマシテ、取引所稅
ヲ課稅スベキ取引ハドンナモノデアラカト云フコトヲ明ニ致
シテ置ク必要ガアルノデアリマス、仍テ取引所ニ於キマスル
取引中、差金ノ授受ニ依リテ決濟シ得ル取引ニ對シテ課稅
スルト云フコトニ定メマシタ、第二ニハ現行稅法ニ依リマス
ルト新規賣買ニ對シテ萬分ノ五ノ稅率ヲ以テ課稅致シマ
シテ轉賣買戻ニハ課稅致サナイコトニナツテ居ルノデアリマ
ス、併ナガラ本案ニ於キマシテハ、轉賣買戻ヲ以テ一ツノ新
規ノ取引ト看做シマシテ、是ニモ課稅ヲ致ス事ニ致シマシテ
稅率ニ付キマシテハ從來ノ萬分ノ五ノ稅率ヲ折半シテ、新
規賣買デアルト、又轉賣買戻デアルトヲ問ハズ、總テ賣買取
引ニ付テ萬分ノ二・五ノ稅率ヲ以テ課稅スル事ト致シマシタ
第二ニハ取引所改正案ニ依リマスレバ、有價證券取引ニ付
テハ其最長期ヲ二箇月トスルコトニナツテ居リマスガ、向未取
引ノ外ニ命令ヲ以テ短期ノ差金取引ヲ認ムルコトニ致シテ

ゴザイマス、此短期ノ取引ハ有價證券ノ堅實ナル取引ヲ助長スル趣旨ニ出デタルモノデアリマス、其税率モ長期ノ取引ニ比シテ輕減スルコト云フコトが適當ト認メマシテ、其税率ヲ萬分ノ一ニ半ト致シタ次第デアリマス、右ハ取引所税法改正ノ大體ノ要點デアリマス、御審議ノ上御協賛アラントテ希望致シマス、尙ホ此場合ニ於キマシテ、先刻山邊君ノ御質問ニ御答ヘ致シテ置キマス、第六條ヲ削除致シマシタル理由ハ御質問ノ如ク必シモ大資本家ニ利益シテ、小資本家ニ不利シキ來ストハ考ヘマセヌ、轉賣買戻ヲ致ス場合ニハ、從來ハ初ノ賣買取引ニ對シマシテ萬分ノ五ヲ徵シタノデアリマス、然ルニ今回ハ之ヲ折半シテ當初ノ取引ニハ其半分ヲ課シ、轉賣買戻ヲ致シタル時ニハ其半分ヲ課スルノデアリマス、轉賣買戻ヲ致シタルモノハ從來ト同ジ負擔ニナルノデアリマス、而シテ轉賣買戻ヲ致スト云フコトハ、其ノ市場ノ狀況ニ依テ、思惑ニ依テ轉賣買戻ヲ爲ス、小資本ノ人ハ轉賣買戻ヲ爲ストハ言ヘナイト思フノデアリマス、ソレ故ニ六條削除ノ結果大資本家ノ利益シテ、小資本家却テ負擔ガ重クナルトハ考ヘマセヌ、ノミナラズ從來ノ如ク轉賣買戻ヲ爲ス者ニモ、又決済期ニ至テ受渡ヲ致ス者ニモ、同一ノ稅ヲ課シ居リマス、受渡ヲ爲ス者ハ却テ負擔ガ重クナルコトニナテ、投機取引ヲ助長スル結果ニナルト云フコトが出來ルノデアリマス、然ルニ改正法案ニ依リマスレバ、期ニ至テ受渡ヲ致ス者ハ、從來ノ稅ノ半額ヲ以テ済ムト云フコトニナリマス、堅實ナル取引ヲ助長スル影響ヲ來スモノト信ジテ居リマス

○議長(與繁三郎君) 與村千太郎君

(與村千太郎君登壇)

○與村千太郎君 只今上程ニナリマシタ取引所税法改正法案ニ付キマシテ、大藏並ニ農商務、兩當局ニ質疑ヲ致シタイト存ジマス、本改正案ハ、疑ニ上程サレマシタ取引所税法ト關聯致シマシテ、新ニ短期取引ニ對スル稅目ヲ設ケラレタコト、並ニ從來定期取引ノ轉賣買戻ニハ取引稅ヲ課セラレナカッタモノヲ、今回課稅セラレ、コトニ改メラレタ、此二ツノ眼目トナテ居リマス、而シテ新規賣買ト同様ニ轉賣買戻ニ課稅ヲ行フコトニ改メラレタノハ、隨分古ク學者ガ實際家ノ唱ヘ來タ説ヲ採用セラル、ニ至ッタノデアリマス、確ニ稅法上ノ一新歩ト申シテ差支ナイト存ジマス、併ナガラ理論ハ免モ角ト致シマシテ、實際上ニ於ケル此課稅率ハ從來萬分ノ五デアタ取引稅ヲ、新規賣買ト轉賣買戻、即チ手詰商ヒトノ二ツニ區別シタマデ、アリマシテ、課稅ノ形式コト違フテ居リマス、其實質上ニ於テハ從來ト何等ノ相違ガナイノデアリマス、否、僅ニ相違ガアリト致シマスレバ

レハ單ニ實際受渡ノ行ハレマスル株式ハ、轉賣買戻ヲ必要トシナイ結果、從來ノ萬分ノ五ヲ萬分ノ二ニ減セラレルト同様ノ結果ニナルニ止マルノデアリマス、現物受渡ノ取引ヲ獎勵スル意味ニ於テ、斯様ナ稅率輕減ノ行ハル、其精神ニ對シテハ、吾々モ無論賛成デゴザイマス、而モ既往ノ統計ニ依リマスル、各定期市場ニ於ケル受渡ナルモノハ、大略平均有價證券ニ於テ實際賣買高ノ約一割、商品ニ於テ五分ノ受渡ガ行ハル、ニ過ギナイノデアリマス、而シテ斯様ナ程度ノ減稅ニ依テ、特ニ現物受渡ノ受渡ガ今後増加スル見込ガアルカドウカト申シマスレバ、其望ハ殆ド皆無デアリマス、取引物品ノ價格百圓ニ付テ僅ニ二錢五厘ノ減稅ニ依テ受渡ガ増加スルモノトハ、如何ニシテモ豫想スルコトが出來ナイノデアリマス、然ルニ斯様ナ極テ一部分ノ改正案ヲ案出サレマシタト云フコトハ、政府當局ガ短期取引ニ對スル課稅ノ鈞合カラ強テ斯様ナ案ヲ出サレタモノデハナイカト思ヒマス、私ノ見ル所デハ現物ノ受渡ヲ獎勵スル爲ニハ右ノ如キ方法モ勿論必要デアリマス、ソレ以上ニ更ニ必要ナ事ハ、取引所ノ賣買手數料ヲ引下グルコト、何ヨリモ眞面目ナル放資家ニ利便ヲ與ヘ、且ツ現物ノ受渡ヲ助長スル所以カト考ヘマス、之ニ對スル政府當局ノ御所見ハ如何デアルカ、實ハ斯様ナ質問ヲ致シマスルハ、從來取引所稅ノ輕減セラレタ割合ニ、取引所ノ手數料率ハ總ジテ左程ノ引下ガ行ハレタ居ナイカラ、之ヲ第一ニ御尋スル次第デアリマス、第二ニ伺ヒタイノハ、由來取引所稅ハ投機抑壓ノ意味カラ重稅ヲ課セラルル傾向ガアルノデアリマス、然ルニ今回ノ改正案ニ依リマスル、有價證券ノ取引ハ現在三箇月ノ限月ヲ、二箇月ニ短縮セラレ、ノデアリマス、若シ長期ノ取引程投機取引ニ流レト云フコトが正當ナ解釋ヲ致シマスレバ、此改正ハ一箇月タテ投機ヲ抑壓スラル、結果トナルノデアリマス、果シテ然ラバ限月ヲ短縮セラル、有價證券ノ取引ニ對シマス、當ニ受渡ノ行ハル、分ニ對シテノミ取引稅ノ負擔ヲ輕クスルニ止ラズ、一律ニ減稅ヲ行ハル、ノガ當然デハナカラウカ、而シテ取引物品ノ種類ニ依テ限月ノ長短ヲ行フコトカ至當ト致シマスレバ、其取引ニ課セル、稅率モ亦取引物品ノ種類ニ依テ差異ヲ生ズルノガ合理的デアルト考ヘラマス、又從來學者乃至實際家ノ唱ヘマス如ク、投機抑壓ノ意味カラ申シマスレバ、當限ノ中限、先限ノ三限月ニ對シ、各限月ノ賣買ニ依テ稅率ヲ異ニシ、先物ニ對シテ稅率ヲ重クスルノガ當然デアリマセウ、然ルニ從來ハ手數ノ煩雜デアルト云フ點カラ、此三ツノ限月ニ向テ同率ノ稅ヲ課セラレ來タ次第デゴザイマス、既ニ今回ノ改正ニ依テ受渡ノ行ハル、分ニ對シ、減稅同様ノ方法ガ行ハル、ナラバ、更ニ一歩ヲ進メマシテ何故ニ限月ニ

依テ稅率ヲ異ニセラレナカッタノデアルカ、乃至限月短縮ヲ行ウタモ、ニ對シテ減稅ヲ行フノ方針ヲ採用サレナカッタノデアルカ、又取引物品ノ種類ニ依リマシテ稅率ヲ異ニシタ實例ハ、當テ米商會所並ニ株式取引所仲買人納稅規則ヲ制定セラレタ頃ニハ、米商會仲買人ノ定期賣買ニ付テハ、賣買雙方ヨリ各約定代金ノ千分ノ五、株式取引所仲買人ノ定期賣買ニ付テハ各約定代金ノ千分ノ一ヲ納稅セシメタ歴史モアリマス、今回ノ稅法改正ニ付テ、政府當局ハ取引物品ノ種類ノ限月ノ相違ニ依テ稅率ヲ異ニスルト云フ此種ノ調査又ハ內議ヲ全然行ハレナカッタカドウカ、此點ヲ承リタイノデアリマス、第三ニ伺ヒタイノハ、今回新ニ設ケラレマシタ短期取引ニ對スル課稅ノ點デアリマス、現在ノ直取引及延取引ハ孰レモ無稅デアリマス、今回取引所税法ノ改正ニ依テ、此直及延取引ニ代ルベキ短期取引ニハ課稅ヲセラル、コトニナリマシタ、本案ヲ見マスル、長期ノ定期ト同様ニ從價稅ヲ課セラレ、七日以内ノ期間ヲ以テ履行スヘキ取引ニ屬スルニ云々トアリマシテ、地方債證券又ハ社債ノ賣買取引ハ萬分ノ零・六、株式ハ萬分ノ一・五ト定メラレタデアリマス、此萬分ノ一ハ如何ナル點カラ割出サレタモノカハ存ジマセウ、短期ノ定期ハ長期ノ定期ト同様ニ、差金取引ヲ認メラレタトハ申セ、僅ニ七日以内ヲ以テ受渡履行期限トセラレタ居ルハ、取引所ニハ如何ニモ稅率ガ高キニ過ギハセヌカト思、レノデアリマス、一口ニ申シマスル、萬分ノ一ハ半デアリマス、轉賣買戻ヲ行ハバ實ハ萬分ノ三デアテ、現在三箇月限月ノ定期ガ萬分ノ五デアリニ對照致シマスル、如何ニモ高率デアリマス、元來此短期取引ハ現物取引ヲ助長スル趣旨カラ、時代ノ要求ニ應ズベク與論ニ動かサレテ成立タモノデアリマス、然ルニ斯ル重稅ヲ課セラレコトハ、現物取引獎勵ノ精神ト甚ダ矛盾ヲ致シハセヌデアリマセウカ、私ノ信ズル所ニ依リマスレバ、若シモ斯ル高率ナル短期取引ニ關シテ、脫稅ガ行ハレナイモノトスルナラバ、政府ノ收入ハ非常ニ多額ニ上ルコトヲ斷定致シマス、私ノ斯様ニ斷言致シマスル根據ハ、現ニ大阪ノ北濱市場ニ於ケル延取引ハ、斷ニ定期取引ヲ凌グ賣買高ヲ示シテ居ルノデアリマス、而シテ現在ノ延取引ハ無稅デアリマス、假令脫稅ヲ致シテ稅法上ノ取締ヲ受ケナイ、故ニ定期ト違ヒマシテ、所謂附合セヤ否行爲ガ非常ニ行ハレタ居リマス、隨テ今後短期取引ガ有稅トナテ、稅法上ノ取締ガ行ハレコトニナリ、且ツ短期取引專屬仲買人公認サレ、將又從來延取引ニ對シ一種ノ毛嫌ヲナシテ、成ベク其取引ニ携ハルコトヲ避ケテ居リマス、有力仲買人ガ、現在ノ定期同様ニ安心シテ、一般客筋ノ注文ヲ受ケルコトニナリマスレバ、現在ノ直及延取引ヲ總括シタ賣買出來高ヨリモ、恐ラク二倍以上ノ賣買高ニ上リハセヌカト

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也
大正十一年三月十六日
内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群
島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出
入ニ關スル法律案委員長
今泉嘉一郎

衆議院議長奥繁三郎殿
今泉嘉一郎君登壇

○今泉嘉一郎君 委員會ノ經過ヲ報告致シマス、本案ハ
頗ル簡單デアリマシテ、南洋群島ト、一方ニ内地、朝
鮮臺灣及樺太、此兩者ノ間ノ貨物船舶ノ出入ヲ自由ニシ
互ニ輸出入税ノ關係、或ハ船舶ノ噸税ノ關係ヲ撤廢スル
コトニナルデアリマス、是ハ委任統治ノ確定致シマシタル
今日ニ於テ當然ノ處置デゴザイマシテ、法文ガ極テ簡單ナ
ルト同時ニ提出ノ理由ガ明瞭デアリマスカラ、全會一致之
ヲ可決致シマシタ、此段御報告致シマス(拍手)
○議長(奥繁三郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ
御諮リ致シマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(奥繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ナシト認
メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマス
○岩崎勳君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省
略シ、委員長報告ノ通り可決確定アラシコトヲ望ミマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ
本案ノ第二讀會ヲ開キマス

内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ
間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入ニ關スル法
律案
第二讀會(確定議)
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ委員
長報告ノ通り可決確定サレマシタ、日程第八、乃至第十一
ハ、同一委員ニ付託ニナリタル議案ナルニ依リ一括シテ議
題ト爲スニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ一括
議題ニ供シマス、此四案ノ第一讀會ノ續キヲ開キマス、委
員長前田米藏

第七 内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群
島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出
入ニ關スル法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書
一内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケル
船舶及貨物ノ出入ニ關スル法律案(政府提出)

シタ方ガ至當デハナイカ、誠ニソレハ道理ト致シマシテハ區
別シ得ルナラバ區別致シテ、税率ヲ異ニ致シタ方ガヨリ宜イ
ト考マスガ、併シソレハ數多ノ物品デアリマシテ、一々之ニ適
當ナル税率ヲ盛ルト云フコトハ事實困難デアリマス、又既ニ
長期ト短期トヲ區別シタ以上ハ、限月ニ依テ税率ヲ細カニ
分ケル方ガ宜イデハナイカト、是モ理屈ト致シマシテハ其方
ガ宜イカモ知レマセヌ、併ナガラ斯様ニ致シマスルト非常ニ
複雑ヲ來シマシテ、是非實行上到底出來ナイコト、考ヘル
デアリマス、第三ハ短期取引ニ對スル税率ガ餘リ重過
ギルカラ、却テ否行爲ヲ獎勵スル結果ヲ來シハナイカト云
フ御質問ノヤウデアリマス、萬分ノ一ニ半ト致シマシタノハ、大
體此長期ガ二箇月ナラバ短期ハ七日以内ト致シマス、其
期限ノ割合ニ致シマス、二箇月ノ三分ノ一デアリマスカラ、
税率モ亦萬分ノ二半ノ三分ノ一デ宜イト云フヤウナ勘定ニ
ナリマスガ、併ナガラソレハ期限ノ長短ニ依テ、直ニ其税率
ヲ定メルト云フ譯ニハ參リ兼ネルト思フデアリマス、ソレ故
ニ萬分ノ一ニ半ト云フ程度ガ適當ト認メマシタ次第デ、強テ
是ハ重過ギルトハ考ヘマセヌ次第デアリマス、次ニハ又取引所
層殖エルトハ考ヘマセヌ次第デアリマス、次ニハ又取引所
法ト、取引所稅法トガ相伴ウテ成立致サナイヤウナ時ニハ
ドウスルカト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ兩院ニ於テ
二ツノ稅法トモ御協賛ニ相成ルコトガ出來ルモノト信
ジテ居リマスカラ、サウ云フ考ハ今日ニ於テハ持テ居リマ
セヌ
○議長(奥繁三郎君) 日程第六、右議案ノ審查ヲ付託ス
ベキ委員ノ選舉ヲ議題ニ供シマス
第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ
選舉
○岩崎勳君 本案ハ政府提出貴族院送付、取引所法中
改正法律案ノ委員ニ併セテ付託セラシコトヲ望ミマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニハ御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第七、内地、朝鮮、
臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出
入ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ
選舉
○岩崎勳君 本案ハ政府提出貴族院送付、取引所法中
改正法律案ノ委員ニ併セテ付託セラシコトヲ望ミマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニハ御異議ナシト認
メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第七、内地、朝鮮、
臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出
入ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、

第七 内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群
島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出
入ニ關スル法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書
一内地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケル
船舶及貨物ノ出入ニ關スル法律案(政府提出)

推想サレルデアリマス、想フニ政府當局ハ取引所法、並ニ取
引所稅法ノ改正ヲ企テラレナガラモ、現在ノ定期取引ガ次
第二短期取引ニ移リ變リ行ク時代ノ風潮ト、並ニ此風潮ニ乘
ジテ現物取引ヲ助長スル方法ヲ理解セラレテ居ラヌ結果トシ
テ、短期取引ニ對シテモ、尙且ツ斯ル重稅ヲ課シテ怪マレナ
イノデハナイカト考ヘラレマス、仍テ私ハ此點ニ對シ政府當
局ニ斯ウ御尋致シタイ、大正三年ニ取引所稅ガ輕減サレマ
シテ以來、仲買人ノ否行爲ガ殆ド根絶サレタノハ爭フベカ
ラザル事實デアリ、政府當局ハ此事實ヲ承認サレルカドウ
カ、若シ税率高クシテ脱稅、即チ否行爲ガ行ハル、ナラバ、
長期取引ニ比シ短期取引ハ一層否行爲ノ行ハレ易イコト
ハ明白ノ理デアリマス、政府當局ハ此點ヨリシテ、今回新設
サレマス短期取引ニ、斯ル傾向ト懸念ナシト思惟セラレルカ
ドウカ、私ハ取引所稅ナルモノハ餘リ高キニ過ギルト否行爲
ガ行ハレテ、健全ナル取引ノ發達ヲ阻碍シ、之ニ反シ餘リ稅
率ガ低クテハ、政府ノ收入ガ少クナル、稅率ノ高低低イガ兩
極端ニ馳セテハ、共ニ政府當局ハ勿論、吾々ノ取引所ノ改善
ヲ希望スル者ノ期待ニ反スル結果ニ陷ラシコトヲ慮リ、茲ニ
以上ノ質疑ヲ致シタ所以デアリマス、最後ニ稅法上ノ質疑
デハアリマセヌガ、今回取引所法ノ改正ニ依テ、新ニ設ケラ
レマシタ短期取引ノ期間ハ、勅令ヲ以テ定メラレルコトニナ
テ居リマスガ、此稅法中改正案ニ現ハレタ所ニ依ルト、其期
間ヲ七日以内ニ限ラレテ居リマス、此短期取引ハ、殆ド現
物取引ノ代名詞トモ稱スベキ性質カラ言ヘバ、其取引ノ履
行期間ヲ成ベク短クスルト云フコトハ勿論必要デアリマス
ガ、而モ實際今日ノ取引狀態ニ於テハ、有價證券ノ現物取
引ハ内地ハ勿論、朝鮮、滿洲、臺灣、上海方面ニモ及ビマシ
テ、其範圍ガ極テ廣イデアリマス、斯ク遠隔ノ地方カラ賣
買注文セラレルモノヲ、七日ノ履行期間ニ限リマス、實際受
渡ニ支障ヲ來シハセヌカ、此邊ノ事情ニ對シテ當局ハ十分
之ヲ考慮ノ中ニ加ヘラレタカドウカ、尙ホ万々一ニモ取引所法
中改正案ノミガ兩院ヲ通過シテ、取引所法中改正案ガ會
期切迫ノ爲メ、兩院ヲ通過シナイ結果ヲ見マシタ場合、政
府當局ハ短期ノ定期取引ヲ稅法ナシノ儘許可セラル、カ、
其取扱方ニ對スル御意見ヲ併セテ承リタイト存ジマス
○議長(奥繁三郎君) 神野大藏次官
〔政府委員神野勝之助登壇〕
○政府委員(神野勝之助君) 第一ノ御質問、今回ノ改
正案ハ租稅ノミナラズ取引所手續料ニ於テ考慮ヲ施シタ
ラドウカト云フヤウナ御質問ニ伺ヒマシタガ、取引所ニ於テ
取リマス手續料ニ付テハ、是ハ取引所當局者ノ考ヘル所
デアリマシテ、稅法ノ問題トハ別ニ考ヘバナラヌコト、考ヘ
マス、第二ノ御質問ハ、取引物品ノ種類ニ依テ税率ヲ異ニ

第八 破產法案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一破產法案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月十七日

破產法案委員長

前田 米藏

衆議院議長奥繁三郎殿

第九 和議法案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一和議法案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月十七日

和議法案委員長

前田 米藏

衆議院議長奥繁三郎殿

第十 裁判所構成法中改正法律案(政府提出)

提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一裁判所構成法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月十七日

裁判所構成法中改正法律案委員長

前田 米藏

衆議院議長奥繁三郎殿

第十一 司法事務共助法中改正法律案

(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一司法事務共助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月十七日

司法事務共助法中改正法律案委員長

前田 米藏

衆議院議長奥繁三郎殿

(前田米藏君登壇)

○前田米藏君 只今日程ニ上リマシタル破產法、和議法、裁判所構成法、及司法事務共助法、此四法案ノ委員會ノ經過、並ニ結果ニ付キマシテ御報告致シマス、先ヅ順序ト致シマシテ破產法ノ報告ヨリ始メマス、破產法ハ御承知ノ如クニ三百九十一條ヨリ成リマス、殆ド四百條ニ垂テトスル大法案デアリマシテ、現行破產ノ規定ト比較對照ヲ致シマスレバ、改正セラレマシタル點ハ非常ニ澤山アルノデアリマス、或ハ實體法規ニ於テ、或ハ手續法規ニ於テ、詳細ヲ極メテ、寧ロ新ナル立法ト申シテ然ルベキカト思ハレル程ノ體裁ヲ爲ス法案デアリマス、併ナガラ此大修正案ヲ今此處デ一詳細ニ御報告ヲ申上ケルト云フコトハ、時間ニ於キマシテモ聊カ皆無ク御速成カト考ヘマスガ故ニ、詳細ナル點ハ速記録並ニ法案自體ニ於テ御覽ヲ願フコトニ致シマシテ、重要ナル二三點ノミニ付テ改正ノ要點ヲ此處申上ゲヤウト思ヒマス、御承知ノ如クニ現行法ハ商法ト舊商法ノ一部トシテ編纂セラレタモノデアリマシテ、商人破產主義ヲ採用致シテ居ルノデゴザイマス、商人ガ支拂不能ノ狀態ノ場合ニ破產法ノ適用ガアルノデアリマシテ、商人ニアラザル者ガ支拂不能ノ場合ニ於キマシテハ、家資分散法、身代限ト云フコトニ相成ルノデアリマス、然ルニ今回ノ改正案ハ一般破產主義ヲ採用致シマシテ、商人タルト非商人タルトニ拘ラズ、又債務ノ原因ガ商事タルト非商事タルトニ區別ナク、孰レモ此改正案ノ所謂破產法ノ適用ヲ受ケルコトニ至タノデアリマス、主義トシテハ非常ナル改正ニ相成テ居ルノデアリマス、ソレカラ現行法ハ地方裁判所ノ破產事件ハ專屬管轄ニ相成テ居ルノデアリマス、改正案ハ此區裁判所ノ專屬管轄ニ之ヲ致シマシタルデアリマス、區裁判所ハ合議裁判所ト異リマシテ、單獨判事ガ之ヲ爲スノデアリマスガ故ニ、事務ノ進捗ヲ圖リ、關係人ノ利益ヲ保護スル意味ニ於キマシテ、寧ロ合議制ヨリ單獨判事ガ宜イト云フ意味カラ今回區裁判所ノ專屬管轄ニ移シタルモ重要ナル改正ノ要點デアリマス、又現行法ハ金額數百萬圓數千萬圓ノ多額ナルモノ、數千萬圓數百萬圓ノ小ナルモノ、孰レモ同一ノ破產規定ノ適用ヲ受ケテ居ルノデゴザイマス、今回ノ改正案ハ小破產主義ヲ設ケマシテ、小破產ナルモノヲ設ケマシテ、破產財團一萬圓以下ノモノハ之ヲ小破產ト稱シマシテ、其手續ヲ簡易ニ致シタルデアリマス、又現在ノ破產法ニ依リマスレバ、破產宣告當時ノ財產ノミナラズ、破產宣

告後ニ於テ取得シマシタル所ノ財產モ破產財團ニ加ヘルモノデアリマシテ、學者ノ所謂膨脹主義ヲ執テ居ルノデゴザイマス、今回ノ改正案ハ破產宣告前ノ財產ノミヲ以テ破產財團ガ造ラレタルデアリマシテ、破產宣告後ニ於テ得ラレタル破產者ガ相續スル、其相續ニ依テ得タル所ノ財產ハ別ニ破產財團ニハ加入シナイデアリマス、故ニ此破產宣告後ニ於ケル所ノ債權者ハ破產宣告後ノ財產ニ對シマシテハ、別ニ破產ノ申請ヲ爲シ得ルコトガ出來ルコトニ相成リマシテ、同一破產者ニ於テ破產ガ二個モ三個モ出來得ルコトガ豫想シ得ルヤウニ相成テ居ルノデアリマス、是レ即チ破產宣告前後ノ債權者ヲ保護セシムル爲ニ、其利益ノ恐慌ナカラシメンガ爲ニ、斯様ノ規定ニナツテ居ルノデアリマス、其他或ハ相續財產ニ關スル點、若クハ否認權、別除權ト云フヤウナル權利確定ノ方法等ニ付キマシテモ、色々ナル改正ヲセラルテ居ル要點モアルノデゴザイマス、先程申上ゲマスガ如ク、餘リニ細カク申上ゲテモ如何カト思ヒマス、重要ナル改正ノ要點ダケ以上申述ベタ次第デアリマス(拍手)以上ノ點ニ付キマシテ、又全體ニ付テ慎重ニ政府委員トノ間ニ於テ、委員ノ諸君ヨリ應答質問ガアリマシタ、其應答質問ヲ一々御紹介スルコトモ又之ヲ避ケマス、唯、一ツ政府ノ言明セラレタル點ニ付テ御報告ヲ申上ゲテ置キマス、ソレハ區裁判所ノ專屬管轄ニ移シマス結果ハ、多額ナル破產事件、煩瑣ナル裁判所破產事件モ、或ハ單獨判事ノ處理スル所ト相成ルノデゴザイマスガ故ニ、破產事件ノ集中スルヤウナ主ナル區裁判所ノ所在地ノ裁判所ニ對シマシテハ、練達セル判事、熟練ナル判事、有爲ナル人ヲ配置致シマシテ利害關係人ノ權利ノ擁護ニ盡力スル積リデアルト云フコトヲ、司法當局ハ特ニ言明セラレタルデアリマス、右ノ結果討論ト相成リマシテ、政友會ノ岩崎幸治郎君ヨリ、貴族院修正案ニ文字ノ一二箇所ノ修正ノミナルガ故ニ、其儘貴族院ノ修正ノ通り原案ニ賛成スルト云フ意味ノ御發言ガアリマシタ、之ニ對シマシテ憲政會ノ作間君、國民黨ノ渡邊君ヨリモ御同様に矢張賛成ノ御意見ガアリマシテ、全會一致可決致シタ次第デアリマス、其際作間君ハ賛成ノ理由ト致シマシテ述ベラレタル外ニ、希望條件ヲ付ケラレタルデアリマス、作間君ハ御自身ニ於テ本案賛成演説ヲ爲サルト云フコトデゴザイマスガ故ニ、私ハ其報告ヲ省略致シマス、國民黨ノ渡邊君ガ希望セラレマシタル點ニ付キマシテ、特ニ本議會ニ於テ委員長ヨリノ報告スベシト云フ渡邊君ノ申出ニ依リマシテ、簡單ニ同君ノ希望ヲ此席ニ御報告申上ゲテ置キマス、渡邊君ノ希望ノ第一ハ管轄ニ付テデゴザイマシテ、即チ地方裁判所ニ付キマシテハ合議制デアレドモ、區裁判所ハ單獨デアルガ故ニ、ドウモ其點ニ付テ不安ノ感

ナキ能ハズアル、併ナガラ事件ノ進捗ヲ圖ルガ爲ニモ、又司法當局ノ言明ニ依リテモ、有ナル人物ヲ區裁判所ニ配置スルコト云フコトデアルガ故ニ、其言ニ信賴シテ此案ニ賛成スルノデアリムカ、區裁判所ノ判事ノ人選ニ付テハ、十分ナル注意ヲ望ムコト云フ御希望デアリマス、ソレカラ罰則ノ點ニ付テ詐欺破産若クハ詐欺破産ニアラザル處ノ過急破産トモ申スベキ破産ニ付テ、嚴重ナル處罰ノ規定ガアルノデアリマス、其嚴重ナル處罰ノ規定ガ法律ノ正面ノ解釋ト致シマシテハ疑義ノ點ガ幾多見出スコトガ出來ル、此點ハ宜シク裁判所ニ於テ統一セル解釋ヲ下サレテ、國民一般ヲシテ、此法律ノ統一セル解釋ニ信賴セシメタリト云フ御希望ガアルノデアリマス、ソレカラ最後ニ本案ノ實施期ヲ少クトモ一年以上延期セラレタリト云フコトデアリマス、此法案ハ改正案トハ申シナガラ私ガ覺頭ニ申シタル如ク、新ナル立法ト申シテモ宜イ程改正ノ點ガ多イノデアリマシテ、國民ノ利害關係頗ル深イ法律案デアリマスガ故ニ、國民一般ニ此法律ヲ知ラシムル爲ニ、又裁判官ヲシテ此法律ヲ研究セシムル爲ニ、少クトモ一年以上實施期ヲ延シテ、サウシテ國民及裁判官ニ研究ノ餘地ヲ與ヘラレタリト云フ希望デゴザイマシテ、此三點ガ同君ノ希望デアリマシテ、先程申上ゲマシタ如ク委員會ハ全會一致可決シテ次第デアリマス、次デ和議法案ノ御報告ヲ致シマス、和議法案ハ我國ニ於テ新ニ出來マシタ法案デアリマス、全ク新シキ試ミニ屬スルノデアリマス、成程破産法ニ於テハ強制和議ナル規定ハ從前ヨリ存スルノデアリマスアレドモ、破産宣告後ニ於テ和議ニナリマスヨリハ、破産ノ狀態ニ瀕シタル所ノ人ガ、破産ノ宣告ヲ受ケズシテ自分ノ財産ヲ整理スルコト云フコトハ、其債務者ノ爲ニ誠ニ幸福ナ事デモアリ、又債權者ノ爲ニモ頗ル有益ナルノデゴザイマスガ故ニ、破産ヲ宣告致シ、破産ノ適用ヲ致シマセヌデ和議ヲ致シテ、而シテ債權、債務者ニ満足ヲ得セシメタリト云フコトガ本案ノ主タル趣旨デアリマス、所謂社會政策ノ一端ヲモ之ニ依リテ解決セントスル御趣意デアルト云フコトヲ政府委員ハ申サレテ居ルノデアリマス、此案ハ又頗ル新シキ試ミデハアリマスアレドモ、一般ノ委員諸君ハ此點ニ付テハ非常ナル賛成ヲセラレマシテ、全會一致殆ド何等ノ討論ナクシテ可決致シマシタコトヲ茲ニ御報告申上ゲマス、次デ裁判所構成法改正ノ結果、地方裁判所ノ專屬管轄ヲ區裁判所ニ之ヲ移スト云フ點及刑事訴訟法改正ノ結果過日當院ヲ通過致シマシテ、只今貴族院デ審議中ノ刑訴ノ改正ノ結果、第一審裁判所ノ判決ニ對シテ直ニ上告ヲ許スト云フヤウナ爲ニ、必然的ニ生ズル改正ノ點及破産法及刑事訴訟法改正ニ伴フ必然的改正ノ點、司法

官ノ資格ニ關シマシテ朝鮮、關東州、臺灣等ノ點ニ關スル僅ナル修正、此點ガ此裁判所構成法ノ改正ノ點デアリマシテ、是亦全會一致ヲ以テ可決致シタ次第デアリマス、最後ニ司法事務共助法ニ付テ御報告致シマス、此法案ハ司法官廳内地務部臺灣、關東州、朝鮮トノ間ニ於テ事務ヲ共助スルコト云フコトノ規則ニナテ居リマスガ、今回歸諸君モ御承知ノ如クニ、南洋羣島ガ我國ノ統治ノ下ニ歸スルコトニ相成リマシタニ付キ、此南洋羣島ニ對シマシテ南洋廳ヲ設クルコトニ相成リマシタ、故ニ此南洋廳ヲ臺灣、朝鮮、關東州ノ中ニ之ヲ加ヘマシテ、而シテ此共助法ヲ完成セントスル案デアリマス、是亦全會一致ヲ以テ可決シタノデアリマス、以上御報告ノ如クニ、此本委員會ニ付託セラレマシタ所ノ政府案四案共、全會一致可決致シタ次第デアリマス、諸君ニ於テモ宜シク御賛成アラント望ミマス(拍手)

○議長(奧繁三郎君) 日程第八、破産法案ニ付テ賛成ノ討論通告ガアリマス、作問排逸君

(作問排逸君登壇)

○作問排逸君 只今上程致サレマシタ四個ノ法案ノ中デ、破産法案ハ彼ノ刑事訴訟法案並ニ陪審法案等ト共ニ政府ガ今期議會ニ提出ヲ致シマシタ所謂司法改革案ノ中ノ一ノ重大ナル法案デアリマス、茲ニ愈々最後ノ審議ヲ終ルニ臨ミマシテ、特ニ私共ノ持テ居リマス意見ヲ明ニ致シテ賛成ノ意ヲ表示シテ置ク次第デアリマス、成程本案ハ近來ニ於キマス司法當局ノ努力ノ結果程アリマシテ、現行法タル舊商法破産編ニ較ベテ見マセバ、確ニ一段ノ進歩ト一拘ノ新味ヲ持テ居ルコトダケハ之ヲ認メマスアレドモ、具サニ其内容ヲ點檢致シテ參リマセバ、未ダ本員等ノ俄ニ満足ヲ表シ難イ點ガ少カラズ存スルノデアリマス、併ナガラ之ニ本員等ノ思フ様ナル修正ヲ加ヘマスレバ、殆ド案ノ生命ヲモ損アルニ至ルノ虞モゴザイマス、暫ク司法當局ノ努力ニ免ジマシテ、此際一切斧鉞ヲ加ヘズニ唯運用上最モ重大ナリト認メマシタ數點ニ付キマシテ、茲ニ司法當局ノ注意ヲ促シテ置キタイノデアリマス、其第一點ハ、破産事件ハ今日ニ於キマシテモ隨分輻輳シ、停滯ヲ致シテ居ルノデアリマス、破産宣告以後短キモ數箇月、長キハ數箇年ニ及ンデ、尙ホ其結末ノ若カザルモノモ多クアルノデアリマス、此現在ノ破産ヲ唯商人ニ限ルト云フ法律ノ下ニ於キマシテモ、斯様ナ有様デゴザイマス、改正案ノ如ク廣ク商人タルト將タ商人タラザルト拘ラズ、一般ノ國民ニ之ヲ適用スルト云フコトニ相成リマシタナラバ、蓋シ事件ノ輻輳停滯ハ一層甚シキモノアルニ至ラント云フコトヲ懸念ニ堪ヘナイ次第デアリマス、尤モ管轄區裁判所ヲ、現在ノ地方裁判所カラ本案ハ總テ區裁判所ノ方ニ移シマシタカラ、取扱ノ裁判

所ノ數ガ殖エマシタ結果、多少其點ヲ緩和スルコトハ出來マセウケレドモ、司法當局ハ其事件ノ審理ト解決ヲ鄭重ニシテ、而モ之ヲ迅速ニ致シマスルニハ、精神上ニ於テ將又施設ノ上ニ於テ、今日ヨリ多大ノ準備ト用意ト加フルコトヲ必要ト存ズル次第デアリマス、第二點ハ破産債權ハ破産前ニ生ジマシタル財産上ノ請求權ト、單ニ明記シテアリマスルニ止マリマス、彼ノ貸金又ハ手形ノ如キ原因、數額ノ單純ナルモノノ限リマセヌ、損害賠償ノ債權ノヤウナ複雑ニシテ爭ヒノ多イモノニデモ破産ヲ申立テルコトガ出來得ルヤウニナテ居ルノデアリマス、尤モ此點ト現行ノ商法ト違フ所ハアリマセヌヤウデゴザイマス、併ナガラ現在ニ於キマシテモ、地方裁判所ノ會議、三人ノ判事デサレハ此破産事件ノ債權ノ審理ト云フコトハ非常ニ惱マサレテ居ルノデアリマス、本員等ノ考ト致シマシテハ、金額一萬圓以下ノ所謂小破産事件位デモ、セメテ區裁判所ノ管轄ニ移シ其他ハ現在ノ如ク矢張地方裁判所ノ管轄ニ止メテ置ク方ガ適當デアラウト思ヒマス、既ニ改正案ノ如ク全部ノ管轄ヲ區裁判所ノ單獨ノ判事ニ移シマシタ以上、事件ノ大小、金額ノ多寡、其他債權ノ性質如何ニ拘ラズ、今迄ハ三人ノ合議判事ガ地方裁判所デ取扱ヒ居リマシタモノヲ、改正案施行後ニ於キマシテハ、區裁判所ニ於テ一人ノ判事ガ總テ是等ノ捌キヲ致サナケレバナラヌコトニ相成リマス、其取扱ハ一層困難ノ多キヲ加ヘルモノガアルデアラウト思ハレマス、此點ニ付キマシテハ特ニ明敏練達ノ専門家の判事ヲ十分優遇セラレテ、其擔當ニ當ラシメテ、而シテ債權ノ性質ニ依リテ其破産ノ申立ヲ受理スルト受理セザルト明決ニ御判斷ガ付クヤウニ、努力セラレ、コトヲ必要ト存ジマス、第三點ハ、是ハ大ナル問題デゴザイマセウケレドモ、而モ實用上重要ナル問題ノ一ツデアリマス、ソレハ破産ノ申立ヲ致シマスル際ニハ、御承知ノ通り破産豫納金ト稱シテ破産ノ手續費用ヲ前以テ裁判所ニ、破産申立債權者カラ前納ヲ致シ置クコトヲ必要トスルノデアリマス、其豫納金ノ金額ト云フモノニ付キマシテハ、實際ニ於テ裁判所ノ方ニ於テハ成ベク多ク積マシテ置キタイシ、又債權者ノ方デハ成ベク少クシテ置キタイト云フ關係カラ、爭ヒアル場合ガアルノデゴザイマス、本案ノ施行ノ後ニ於キマシテモ、從來ノ通り此破産手續ノ前納金ヲ唯漫然ト其金額ヲ定ムルコトナクシテ、能ク債權者側ノ迷惑ト苦痛トヲ察セラレテ、必要ナル最小ノ限度ニ止メラレテ置カル、ヤウニ、十分ノ斟酌ヲ必要ト存ジマス、之ニ付テハ當テ今日ヨリ數十年前——十數年前名古屋ニ小票銀行ト云フ銀行ガアリマシタ際ニ、其銀行ガ支拂ノ停止ヲ致シマシタガ爲ニ、債權者カラ破産ノ申立ヲ致シマシタ所ガ、裁判所ニ於テハ其中立者

官ノ資格ニ關シマシテ朝鮮、關東州、臺灣等ノ點ニ關スル僅ナル修正、此點ガ此裁判所構成法ノ改正ノ點デアリマシテ、是亦全會一致ヲ以テ可決致シタ次第デアリマス、最後ニ司法事務共助法ニ付テ御報告致シマス、此法案ハ司法官廳内地務部臺灣、關東州、朝鮮トノ間ニ於テ事務ヲ共助スルコト云フコトノ規則ニナテ居リマスガ、今回歸諸君モ御承知ノ如クニ、南洋羣島ガ我國ノ統治ノ下ニ歸スルコトニ相成リマシタニ付キ、此南洋羣島ニ對シマシテ南洋廳ヲ設クルコトニ相成リマシタ、故ニ此南洋廳ヲ臺灣、朝鮮、關東州ノ中ニ之ヲ加ヘマシテ、而シテ此共助法ヲ完成セントスル案デアリマス、是亦全會一致ヲ以テ可決シタノデアリマス、以上御報告ノ如クニ、此本委員會ニ付託セラレマシタ所ノ政府案四案共、全會一致可決致シタ次第デアリマス、諸君ニ於テモ宜シク御賛成アラント望ミマス(拍手)

○議長(奧繁三郎君) 日程第八、破産法案ニ付テ賛成ノ討論通告ガアリマス、作問排逸君

(作問排逸君登壇)

○作問排逸君 只今上程致サレマシタ四個ノ法案ノ中デ、破産法案ハ彼ノ刑事訴訟法案並ニ陪審法案等ト共ニ政府ガ今期議會ニ提出ヲ致シマシタ所謂司法改革案ノ中ノ一ノ重大ナル法案デアリマス、茲ニ愈々最後ノ審議ヲ終ルニ臨ミマシテ、特ニ私共ノ持テ居リマス意見ヲ明ニ致シテ賛成ノ意ヲ表示シテ置ク次第デアリマス、成程本案ハ近來ニ於キマス司法當局ノ努力ノ結果程アリマシテ、現行法タル舊商法破産編ニ較ベテ見マセバ、確ニ一段ノ進歩ト一拘ノ新味ヲ持テ居ルコトダケハ之ヲ認メマスアレドモ、具サニ其内容ヲ點檢致シテ參リマセバ、未ダ本員等ノ俄ニ満足ヲ表シ難イ點ガ少カラズ存スルノデアリマス、併ナガラ之ニ本員等ノ思フ様ナル修正ヲ加ヘマスレバ、殆ド案ノ生命ヲモ損アルニ至ルノ虞モゴザイマス、暫ク司法當局ノ努力ニ免ジマシテ、此際一切斧鉞ヲ加ヘズニ唯運用上最モ重大ナリト認メマシタ數點ニ付キマシテ、茲ニ司法當局ノ注意ヲ促シテ置キタイノデアリマス、其第一點ハ、破産事件ハ今日ニ於キマシテモ隨分輻輳シ、停滯ヲ致シテ居ルノデアリマス、破産宣告以後短キモ數箇月、長キハ數箇年ニ及ンデ、尙ホ其結末ノ若カザルモノモ多クアルノデアリマス、此現在ノ破産ヲ唯商人ニ限ルト云フ法律ノ下ニ於キマシテモ、斯様ナ有様デゴザイマス、改正案ノ如ク廣ク商人タルト將タ商人タラザルト拘ラズ、一般ノ國民ニ之ヲ適用スルト云フコトニ相成リマシタナラバ、蓋シ事件ノ輻輳停滯ハ一層甚シキモノアルニ至ラント云フコトヲ懸念ニ堪ヘナイ次第デアリマス、尤モ管轄區裁判所ヲ、現在ノ地方裁判所カラ本案ハ總テ區裁判所ノ方ニ移シマシタカラ、取扱ノ裁判

所ノ數ガ殖エマシタ結果、多少其點ヲ緩和スルコトハ出來マセウケレドモ、司法當局ハ其事件ノ審理ト解決ヲ鄭重ニシテ、而モ之ヲ迅速ニ致シマスルニハ、精神上ニ於テ將又施設ノ上ニ於テ、今日ヨリ多大ノ準備ト用意ト加フルコトヲ必要ト存ズル次第デアリマス、第二點ハ破産債權ハ破産前ニ生ジマシタル財産上ノ請求權ト、單ニ明記シテアリマスルニ止マリマス、彼ノ貸金又ハ手形ノ如キ原因、數額ノ單純ナルモノノ限リマセヌ、損害賠償ノ債權ノヤウナ複雑ニシテ爭ヒノ多イモノニデモ破産ヲ申立テルコトガ出來得ルヤウニナテ居ルノデアリマス、尤モ此點ト現行ノ商法ト違フ所ハアリマセヌヤウデゴザイマス、併ナガラ現在ニ於キマシテモ、地方裁判所ノ會議、三人ノ判事デサレハ此破産事件ノ債權ノ審理ト云フコトハ非常ニ惱マサレテ居ルノデアリマス、本員等ノ考ト致シマシテハ、金額一萬圓以下ノ所謂小破産事件位デモ、セメテ區裁判所ノ管轄ニ移シ其他ハ現在ノ如ク矢張地方裁判所ノ管轄ニ止メテ置ク方ガ適當デアラウト思ヒマス、既ニ改正案ノ如ク全部ノ管轄ヲ區裁判所ノ單獨ノ判事ニ移シマシタ以上、事件ノ大小、金額ノ多寡、其他債權ノ性質如何ニ拘ラズ、今迄ハ三人ノ合議判事ガ地方裁判所デ取扱ヒ居リマシタモノヲ、改正案施行後ニ於キマシテハ、區裁判所ニ於テ一人ノ判事ガ總テ是等ノ捌キヲ致サナケレバナラヌコトニ相成リマス、其取扱ハ一層困難ノ多キヲ加ヘルモノガアルデアラウト思ハレマス、此點ニ付キマシテハ特ニ明敏練達ノ専門家の判事ヲ十分優遇セラレテ、其擔當ニ當ラシメテ、而シテ債權ノ性質ニ依リテ其破産ノ申立ヲ受理スルト受理セザルト明決ニ御判斷ガ付クヤウニ、努力セラレ、コトヲ必要ト存ジマス、第三點ハ、是ハ大ナル問題デゴザイマセウケレドモ、而モ實用上重要ナル問題ノ一ツデアリマス、ソレハ破産ノ申立ヲ致シマスル際ニハ、御承知ノ通り破産豫納金ト稱シテ破産ノ手續費用ヲ前以テ裁判所ニ、破産申立債權者カラ前納ヲ致シ置クコトヲ必要トスルノデアリマス、其豫納金ノ金額ト云フモノニ付キマシテハ、實際ニ於テ裁判所ノ方ニ於テハ成ベク多ク積マシテ置キタイシ、又債權者ノ方デハ成ベク少クシテ置キタイト云フ關係カラ、爭ヒアル場合ガアルノデゴザイマス、本案ノ施行ノ後ニ於キマシテモ、從來ノ通り此破産手續ノ前納金ヲ唯漫然ト其金額ヲ定ムルコトナクシテ、能ク債權者側ノ迷惑ト苦痛トヲ察セラレテ、必要ナル最小ノ限度ニ止メラレテ置カル、ヤウニ、十分ノ斟酌ヲ必要ト存ジマス、之ニ付テハ當テ今日ヨリ數十年前——十數年前名古屋ニ小票銀行ト云フ銀行ガアリマシタ際ニ、其銀行ガ支拂ノ停止ヲ致シマシタガ爲ニ、債權者カラ破産ノ申立ヲ致シマシタ所ガ、裁判所ニ於テハ其中立者

ニ對シマシテ、金五万圓ノ豫納金ヲ裁判所ヘ納メ、ソレヲ納メナイ限リハ申立ノ手續ヲ受付ケナイト云フ決定ヲ受ケマシタガ爲ニ、債權者ノ方デハ非常ニ困難ヲ感ジマシテ、遂ニ確カ破産ノ申立ガ出来ナカッタコトノアタヤウニ記憶致シテ居ル次第デアリマス、斯ウ云フ事ハ其後ニモ再三其實例ガアリマシテ、裁判所ガ斯ウ云フ金額ヲ成ベク多ク取ラルト云フコトノ方針デアリマス以上、債權者即チ破産者ノ側ニ於キマシテハ、矢張裁判所ニ對シテ多額ノ豫納金額ヲ必要トスルヤウニ申立ヲ致シマシテ、債權者ヲシテ此點デ惱マシムルコトニ相成リマス場合モアリマスノデ、私共ハ債權者ガ既ニ債權ノ取立回收ガ出来ナイト云フ上ニ於テ、非常ニ迷惑ヲ感ジテ居リマス所ヘ、又更ニ多額ノ破産豫納金ヲ供託ヲ致サナケレバナラヌト云フコトハ、債權者ヲシテ二重ノ苦痛ヲ感ゼシムル結果ニナルノデゴザイマスルカラ、此點ニ於キマシテ特ニ注意事項ノ中ニ加ヘタ次第デアリマス、第四點ハ破産者ガ支拂不能ニ瀕シマスルヤ、從來多クハ合資會社、株式會社等ノ會社ヲ形式上ニ設立ヲ致シマシタヤウナ手續ヲ履ミマシテ、サウシテ自己ノ營業、又ハ財産ヲ出資スルノ手續ヲ執リマシテ、甚シキハ財産モ消極的財産、即チ負債ヲ出資トシテ、會社ノ設立ノ方式タケテ執ル場合ガ多イノデアリマス、此場合ニ現在ノ法律並ニ改正案ニ依リマシレバ、唯破産財團ヲ保全致シマスル爲ノ否認權ト云フ權利ノ行使ニ依ッテ、サウ云フ權利ノ行使タケテ出来ルコトニナッテ居ルノデアリマスルケレドモ、其否認權ノ行使タケテハ、此様ナ所謂不拂會社ト云フヤウナ一種ノ財産隱匿ノ爲ニ設立セラレマシタ形式上ノ會社ヲ、根柢ヨリ否定ヲ致ス、否認ヲ致ス、而シテ會社ノ設立ヲ取消サセルト云フヤウナコトハ出来ナイ場合ガ多イノデゴザイマスルカラ、私ハ此場合ニ對シマシテハ改正案タケテハ洵ニ心細キヲ感ゼザルヲ得ナイノデアリマス、即チ政府當局ニ於カレマシテハ、斯様ナ問題ガ往々起リマスル實際ノ世態ニ考ヘテ見ラレマシテ、之ニ相應スル所ノ相當ノ法律上ノ制定ガ必要デアアルヤイカト考ヘマスカラ、政府當局ニ於キマシテモ、此點ニ付テ又相當ノ御考慮ヲ御願ヲシテ置カウト思フノデアリマス、モウ後二點タケテデアリマスルガ、其中ノ第一點ハ、本案ハ破産當事者即チ債權者、債務者、又ハ其他ノ利害關係人ニ對シマシテ、送達ヲ致シマスル總テノ場合ニ、裁判所ハ公告ヲ以テ何時デモ送達ニ代ユルコトノ出来ルヤウナ主義ヲ執ッテ居ルノデアリマス、然ルニ裁判所ノ公告ト云フモノハ諸君モ御承知ノ通り、官報、新聞等ニ公告ヲ致シマスルシ、又市町村役場ノ前ニ掲示ヲ致スコトニナッテ居ルノデアリマシテ、改正案モ矢張同ジヤウナ手續ヲ執ルコトニナッテ居リマスルガ、官報ノ公告モ、新聞ノ公告モ、廣告料ヲ餘リニ節約致シマスル結

果ト見エマシテ、甚ダ貧弱ナル小サイ公告ヲ出スノデアリマスルカラ、多クハ讀者ノ目ニ入ラナイ場合ガ多イノデアリマス、又町村役場前ノ掲示板ノ公告ハ、唯公告ヲシテアルト云フタケテ、其公告ノ書イテアリマスル紙ハ、風雨ニ曝サレテ御稍荷サシ、御幣ヲ見タヤウナコトニナッテ、何處ノ何ノ公告ガシテアルカ連モ分ラナイ場合ガ多イノデアリマス、サウ云フヤウナホシノ形式一片ノ公告ヲ以テマシテ、是デ利害關係人ヘノ送達ヲ終ヘタ、即チ送達ノ手續ヲ完全ニシタノデアルト云フコトデアリマシテハ、恐ラクハ利害關係人ハ知ラズ識ラズノ間ニ測ラザル多大ノ損害ヲ蒙ルニ至ル虞ガアルノデゴザイマスルカラ、此點ハ手數ノ上ヨリ申シマシテモ、將又費用ノ上カラ申シマシテモ、公告モ送達モ同ジヤウナ計算ニ相成ルノデゴザイマスルカラ、裁判所ニ於キマシテハ成ベク公告主義ヲ避ケテ、利害關係人ニ對シテ直接ノ通知送達主義ヲ履行ヲシテ裁クヤウニ、是亦御注意ヲ促シテ置ク次第デアリマス(拍手)最後ニ罰則ニ付キマシテ、本案ハ誠ニ重要ナル制裁規定ノ中ニ、漠然タル文字ヲ用キラレテ居ル場合ガアリマスルガ爲ニ、其見解ガ多岐ニ互ルノ虞ガ少クナイノデアリマス、其結果若シ本案ヲ規定ノ表面カラ廣義ニ解釋ヲ致シマスルトキハ、債務者ガ破産宣告ノ前、而モ制限ナク前ニ、適デ自己ノ利益ヲ圖ッテ、單ニ自己ノ財産ヲ不利益ニ處分シタト云フヤウナ點デモ、矢張之ガ財産隱匿、財産毀棄ト云フヤウナ不正惡辣ノ手段ヲ弄シタ場合ト同様ニ、詐欺破産ノ罪トナッテ、十年以下ノ懲役ニ處セラルト、コトニナッテ居ルノデアリマス、サウ致シマスル、債務者ガ他ニ債務アルコトヲ知ッテ、債權者カラ責メラレマシタ場合ニ、其債務者ガ自分ノ財産ヲ安ク賣リマシテ、其賣價タ金デ自分ガ生活ヲ繼續シタリ、或ハ又借金ノ支拂ニ充テマシタ場合ニハ、此規定ヲ廣ク解釋シマスレバ、ドウシテモ表面上ハ詐欺破産ノ罪ヲ以テ罰セラレヤウナコトニモ見エルノデアリマス、又債務者ガ多ク借金ガアリマシタ場合、或ル債權者カラ支拂ヲ責メラレマシタガ爲ニ、其責メラレタ債權者ニ自分ノ財産ヲ擔保ニ入レマシタ場合、抵當ニ入レマシテ、サウシテ擔保ヲ願フヤウナ場合ニモ、矢張之ヲ著シク過失怠慢ノ所爲ガアタモト同様ニ、五年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處スルヤウナ規定ノ表面ニ相成ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ凡シ債務者ガ多クノ債務ヲ帶ビテ居リマスル場合ニ、而シテ自分ノ生活ヤ或ハ借金ノ支拂ガ困難デアリマシタ場合ニ、其自分ノ財産ヲ少シ安クデモ賣ッテ、之ヲ以テ生活ヲ續ケテ行タリ、借金ヲ支拂タリシタ場合ニ、或ハ詐欺破産トナリ、又債權者カラ責メラレマシタ結果、仕様事ナシニ自分ノ財産ヲ其債權者ニ擔保ニ入レマシタ場合ニ、或ハ過急破産同様ノ罪トナリマシテ、只今申シマスルヤウナ十

年以下ノ懲役、五年以下ノ懲役、又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處セラレヤウナコトニモ相成リマシタナラバ、凡ソ破産者ニシテ詐欺破産若クハ過急破産ニ當ラザル者ナキニ至ルベシト申シテモ、過言デハナイ位ニ信ゼラレルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、司法當局ハサウ云フヤウナ場合ハ此制裁規定ニ依ッテ處罰スル精神デハナイノデアルト云フコトヲ明確ニ御開明ニ相成リハ致シマシタケレドモ、如何セン法律ノ表面規定ガ其様ナル解釋モ出来ルヤウナコトニ相成ッテ居マス、裁判所ニ於キマシテ判事ガ法律ヲ適用致シマス際ニハ、自己ノ獨立シタル見解ニ依リノデアリマスカラ、往々私ガ只今申上ゲマシタヤウナ不安ナ場合ガ生ジテ參ラナイトモ限ラナイノデアリマスルカラ、此點ニ付テハ特ニ國民黨ノ渡邊君カラモ其見解ヲ統一スルヤウニ、政府ハ十分ナル且ツ相當ナル處置ヲ全國ノ各裁判所ニ對シテ、執ラレテ而シテ成ベク此罰則ハ狹義ニ解釋ヲスルヤウニ御取計ヒテラシコトヲ望ムト言ハレマシタ通り、私モ同一ノ見解ヲ以テマシテ、茲ニ同ジヤウナ意見ヲ申添ヘテ置ク次第デアリマス、以上ノ諸點ヲ司法當局ニ警告ヲ致シマシテ、而シテ茲ニ本案最後ノ討議ヲ終ルニ臨ミマシテ、本案ノ穩健ナル前途ノ施行ヲ期待致シマシテ、而シテ貴族院ノ一部修正ノアリマシタル本案ニ賛成ノ意ヲ表シテ置ク次第デアリマス、私ノ意見ハ、前田委員長ハ希望ト申サレマシタケレドモ、單純ナ希望デアリマセヌ、是ハ警告デアルト云フコトヲ特ニ明ニ申添ヘテ置キマシテ、此壇ヲ降ル次第デアリマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 日程第八、第九、第十ノ三案ハ、關聯セル議案デアリマスカラ、先ヅ右三案ヲ一括シテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤ御諮リ致シマス

〔第二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 日程第八、第九、第十ノ三案ヲ一括シテ直ニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定アラシコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ三案ヲ一括シテ第二讀會ヲ開キマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

第二讀會(確定議)

破産法案

第二讀會(確定議)

和議法案

第二讀會(確定議)

裁判所構成法中改正法律案

第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ異議ナシト認メマス、仍テ此三案ハ委員長報告通り可決確定致シマシタ、次

二日程第十一、司法事務共助法中改正法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヲ御諮リ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クコトニ致シマス

○岩崎勲君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決確定アラシコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ勸議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

司法事務共助法中改正法律案

第二讀會(確定讀)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告通リ可決確定致シマス、日程第十二、第十三ハ同一委員ニ付託セラレタル案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議ハアリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ明治三十五年法律第四十九號中改正法律案、統計資料實地調査ニ關スル法律案ヲ一括シテ、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長春日俊文君

第十二 明治三十五年法律第四十九號中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一明治三十五年法律第四十九號中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月十七日

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案委員長 春日 俊文

衆議院議長與繁三郎殿

第十三 統計資料實地調査ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一統計資料實地調査ニ關スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月十七日

統計資料實地調査ニ關スル法律案委員長 春日 俊文

衆議院議長與繁三郎殿

〔春日俊文君登壇〕

○春日俊文君 只今上程サレマシタ法案ハ、極テ簡單ノモノデアリマス、即チ明治三十五年法律第四十九號中改正法律案ハ所謂簡易國勢調査デアリマス、次ハ統計資料實地調査ニ關スル法律案デアリマス、是ハ唯單ニ政府ハ勞働ニ關スル統計資料蒐集ノ爲メ必要アルトキハ特ニ期日ヲ定メ一定ノ期間區域ヲ劃シテ實地ノ調査ヲ行フ、斯ウ云フニツデアリマスカラ、案ハ極テ簡單デアリマス、併ナガラ其簡單ナルコトヨリ影響シマスコトハ中々少クナイノデアリマス、故ニ此經過ノ御報告ニ兼ネマシテ、一ノ委員會ニ於ケル主ナル所謂希望の質問ヲ御紹介致シテ置キタイト思ヒマス、委員會ニ於キマシテハ兩案共ニ全會一致テ可決セラレマシタガ、其希望の質問ノ主ナルモノ、一ハ憲政會ノ中馬君カラアタモノデアリマシテ、即チ國勢院ニ於テノ調査ハ主トシテ戸口ノ調査ニ在ルノデアリマス、其調査ノ結果ハ在來內務省ノ爲シマシタル統計ニ較ベテハ正確デアッタト云フコトハ、昨年ノ結果ニ現レテ居リマスケレドモ、此國勢調査ハ更ニ一歩ヲ進メテ單リ戸口調査ノミナラズ、或ハ鑛業即チ地中ノ埋藏量若クハ其他ノ工業ニ對スル生産、消費、或ハ國民ノ保健狀態ニマデモ及ボシテ調査ヲシタイ、就中食糧ノ生産配給ニ關シテハ、其統計ガ各省ニ於テ異テ居リテ、舊ニ信憑ガ出來ナイノミナラズ、甚ダ不統一デアリマス、又其種類モ僅ニ米穀ニ關シテノミデアッテ、一般ノ食糧品ニハ及ンデ居ラヌノミナラズ、其食糧品ノ營養分量、即チ「カロリー」等ニ對シテノ調査ハ全ク出來テ居ラヌト云フ宜イ位デアアル、此故ニ國民ノ保健上カラ見マシテモ、又食糧品ノ調節等ヨリ見マシテモ、殆ド策ノ立ツベキモノガナイト云フ狀態デアリマス、所謂此營養品ノ完全ナル調査ガ居キマスレバ、食糧ノ調節ト云フコトハ極テ十分ニ行ハレルノデアリマス、隨テ此問題ノ解決ハ、之ヲ前提トシテ國策ノ樹立ニモ影響スルモノデアアル、即チ此日本ノ食糧ノ調査ガ出來テナイ場合ニ於キマシテハ、帝國主義モ實行シナケレバナラス、又或ハ所謂新「マルサス」主義ノ絶叫モシナケレバナラス、云フヤウナコトノ前提トモナルモノデアアルガ故ニ先以テ此等ノ點ニマデ及ボシテ十分ノ調査ヲシテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトガ中馬君ノ希望の質問モアツクノデアリマス、殊ニ此調査ニ於キマシテモ、今現在農商務省ニ國立營養研究所ト云フモノガアリマシテ、其處デ小規模デ研究シテ居リマスケレドモ、殆ドシナイヨリ優テ居リコトデアアル、更ニ進ンデ關

係各省ト大ニ協同シテヤル考ハナイカドウカト云フ質問ガア、タノデアリマス、此事柄ハ非常ニ重イ關係ヲ持テ居ルト思フノデアリマス、是ハ私ガ思フノミナラズ、全會一致ノ考デアリマス、更ニ他ニ今一ツ御紹介シタ後ニ、此二ツノ希望の質問ニ共通シテ居ル所ノ根本ヲ申上ゲタイト思ヒマス、其二ハ政友會ノ根本正君ヨリ第二ノ統計資料實地調査ニ關スルコトデアリマスガ、是ハ政府ノ説明ニ依リマスレバ、第一條ノ所謂勞働ニ關スル局限サレテ居リマス、其勞働ト云フ範圍ハ鑛業及工業ニ關スルモノ、ミデアッテ、而モ是ハ唯人員ノ調査ノミデアリマスガ、此勞働者ノ調査ヲスルニ付キマシテ、勞働ノ範圍ヲ二ツノモノニ限局セラレテ、一般勞働者ニ及ボスニ御考ハナイカドウカ、一般勞働者ノ調査ヲ十分ニ致シマスレバ、此爲ニハ御承知ノ如ク其分布ガ明ニナリマス、其分布ガ明ニナッテ來マスレバ、各地方ニ於キマシテ特別ノ時ニ於テ使用サレル所ノ此供給ヲ、十分ニ圓滑ニスルコトガ出來ル譯ニナルノデアリマスカラ、極テ必要ナ事デアアル隨テ生産力モ増大サレ、生産費モ減少スルコトガ出來ル之ガ唯一ノ方法デアアル、各國モ皆此點ニ腐心シテ居ル次第デアアルカラ、當局ニ於テモ速ニ勞働者ノ輸送、即チ配給ニ最モ關係深イ所ノ鐵道省ト協力シテ、サウシテ一定ノ期間ノ運賃割引等ヲナサシメ、勞働政策ノ根本解決ヲシテ貰ヒタイト云フコトガ、根本正氏ノ希望の質問デアリマシタ、此二ツノ質問ノ根本ニ横ハデテ居ル所ノ觀念ハ、要スルニ國勢院ノ現任ノ仕事デハ餘リニ範圍ガ狭イ、更ニ一歩進メテ大ニ國勢調査ヲシテ貰ヒタイト云フコトガ、此二ツノ質問ニ横ハデテ居ル所ノ觀念デアアラウト思フノデアリマス、是ハ舊ニ委員會ニ於ケル希望ノミナラズ、先達テ既ニ此會ニ於キマシテ豫算ノ本會ノ節、國民黨ノ大口氏ヨリ行政上ノ事務ノ刷新、整理統一ト云フコトハ、ドウシテモ各省ニ涉ラレバ系統の又組織の二仕事ヲスルコトハ出來ナイト云フ御演說ガアリマシテ、議員諸君ノ中ニモ既ニ之ニ共鳴サレタ方ガ澤山アル、國勢院ノ此仕事ハ簡單ニ調査ノ一部ヲ擴張スルト云フコトノミデアハナイ、大ニ擴張スルニ至リマシテ、初テ行政事務ガ整理サレ刷新サレ、統一サレ、而シテ行政ノ費用ハ大ニ減ズルコトガ出來ラウト私共ハ確信シテ居ル譯デアリマスガ、之ガ委員會ニ於ケル所謂希望の質問デアリマス、勿論希望條件トシテ可決サレタデハナイノデアリマスガ、併ナガラ希望トシテ茲ニ述ベマシタト云フコトハ、極テ重大ナ事デアルト考ヘマスガ故ニ、諸君ニ御參考マデニ此點ヲ御紹介致シテ置キマス、即チ委員會ニ於キマシテハ、兩案共ニ全會一致ヲ以テ可決セラレテ居リマス、討論等ハナカッタノデアリマス、此二ツノモノヲ重大ナルモノトシテ御參

考下サレテ、御協賛ヲ願ヒマス(拍手)

○議長(與繁三郎君) 第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮致シマス

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 日程第十二、及第十三、兩案ヲ一括シテ直リ可決確定アラシコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

明治三十五年法律第四十九號中改正法律案

第二讀會(確定議)

統計資料實地調査ニ關スル法律案

第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 兩案ハ委員長報告ノ通り可決確定致シマス

○岩崎勳君 再ビ議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ政府提出、大正九年法律第五十二號中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラシコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ日程變更ノ緊急動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ、大正九年法律第五十二號中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長今泉嘉一郎君

大正九年法律第五十二號中改正法律案

(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一大正九年法律第五十二號中改正法律案

(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月十八日

大正九年法律第五十二號中改正法律案委員長 今泉嘉一郎

衆議院議長與繁三郎殿

〔今泉嘉一郎君登壇〕

○今泉嘉一郎君 委員會ノ經過ヲ報告致シマス、此法律

案ハ他ノ法律制度ノ當然ノ結果トシテ必要ノ生ジタルモノデアリマス、即チ委任統治ノ南洋群島ニ對シテ、本國トノ間ニ關稅ノ障礙ヲ撤廢シ、同時ニ南洋群島ヲ於テ出港稅ノ制度ヲ定メルト、斯ウ云フ事ニナリマシタ場合ニ於テハ、此出港稅ヲ通稅シテ内地或ハ樺太ニ來タ物ニ對シテ相當ノ制裁ヲ加ヘルコトガ、恰モ從來朝鮮或ハ臺灣ニ對シテ爲シタル如クシナレバナラス、斯ウ云フ關係ニ於キマシテ明治九年法律第五十二號中ニアル朝鮮、臺灣ノ次ニ南洋群島ヲ加ヘタノデアリマス、極テ簡單明瞭デアリマス、審議ノ上委員會ニ於テハ滿場一致致シマシタ、此段御報告致シマス(拍手)

○議長(與繁三郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮致シマス

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 二讀會ヲ開クニ御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 直ニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シ、委員長報告ノ通り可決確定セラシコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

大正九年法律第五十二號中改正法律案

第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ、日程第十四、第十五ヲ一括議題ト爲スコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ社寺現境内地無償下付ニ關スル法律案、國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長長峰與一君

第十四 社寺現境内地無償下付ニ關スル法律案(鵜澤總明君外二名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一社寺現境内地無償下付ニ關スル法律案(鵜澤總明君外二名提出) 右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月十四日

社寺現境内地無償下付ニ關スル法律案委員長 長峰 與一

衆議院議長與繁三郎殿 (小字及ハ委員會修正)

第一條 社寺現境内地ニシテ社寺上土地處分ニ依リ現ニ國有ニ屬スル現境内地ハ之ヲ其ノ社寺ニ下付スヘシ

第二條 本法ニ依リ下付ノ申請ハ大正十四年七月三十一日迄ニ之ヲ主務大臣ニ差出スヘシ

第三條 此ノ申請ニ對スル處分ニ付不服アル者ハ其ノ指令ヲ受ケタル日ヨリ三箇月内ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第四條 第一條ニ依リ下付ヲ受ケタル者ハ其ノ境内地及立木ノ所有權ヲ取得ス

前項ニ依リ所有權ヲ取得シタル者ハ其ノ土地及立木ノ二付第三者ノ現ニ有スル權利ヲ害スルコトヲ得ス

第五條 本法ニ依リ下付ヲ受ケタル境内地及立木ハ主務大臣ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ地上權、抵當權若ハ質權ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第六條 本法施行前行政處分又ハ裁判所ノ判決ヲ受ケタル者ト雖本法ニ依リ下付ノ申請ヲ爲スコトヲ妨ケス

附則 本法ハ大正十一年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十五 國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案(阿部武智雄君外三十三名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案(阿部武智雄君外三十三名提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月十四日

國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案委員長 長峰 與一

衆議院議長與繁三郎殿

〔長峰與一君登壇〕

○長峰與一君 社寺現境内地無償下付ニ關スル法律案ハ社寺上土地處分ニ依リマシテ、國有ニナリマシタル境内地ヲ社寺ノ所有ニ移スト云フ趣旨ノ立法ノ法案デアリマス、御承知ノ通り本案提出ノ理由ニ付テハ、既ニ述ベテア

リマスル故ニ、簡單ニ此法案ノ委員會ノ經過ヲ述ベマスレバ、此法案ニ付テハ此現行法案ニ付テ聊カ修正スベキ點ガアルノデアリマス、ソレハ「社寺土地ノ處分ニ依リ」ト云フコトガアリマス、ケレドモ、國有ニナリマス、單ニ社寺土地處分ノミデ國有ニナリマス、ハナハナト云フコトヲ見出シタノデアリマス、又此法案ニ付キマス、社寺ノ所有地ノ監督上ニ於キマシテ、單ニ地上權ノ抵當權ノ質權ノ目的ニ付テハ監督ノ事ガ實ニテアリマス、ケレドモ、所有權ノ移轉ニ付キマシテハ、監督ノ事ガナカッタノデアリマス、故ニ、是ニ於テ幾分ノ修正ヲ致シタノデアリマス、即チ第一條ニ於キマシテ「社寺土地處分ニ依リ」ト云フ此文字ヲ削リタノデアリマス、次ニ第四條ニ「立木」ト云フ文字ノ下ニ「竹」ト云フ字ヲ入レマシテ、立木竹ト云フ事ニシタノデアリマス、第五條ニ至リマシテ、即チ只今ノ申上ゲタル通りノ所有權ノ移轉ニ監督ヲ要シマス、故ニ、茲ニ第五條ニ於キマシテ「之ヲ讓渡シ」ト云フ文字ヲ入レタノデアリマス、斯ノ如ク修正ヲ致シマシタ、本案ハ可決致シタノデアリマス、此法案ニ對スル當局ノ御意見ハ、政府ハ現在ノ制度ニ於テ満足ヲシテ居ル次第デアリト雖モ、其土地ヲ社寺ノ所有トシテ、社寺自ラ之ヲ變換擁護致シテ、而シテ此神靈ノ發揚ヲ期スルト云フ事ニ於テハ、趣旨ニ於テ政府モ賛成スル所デアリ、併ナガラ此案ハ内務、文部、大藏、各省ニモ關係ガアル故ニ、是等ト折衝ノ必要モアルシ、殊ニ又國有ノ財產調査會等モアル、故ニ是ト又折衝ヲ重ネタル上ニ於テ決定スベキモノデアラウト云フ趣旨デアリノデアリマス、即チ全然賛成ヲ得タト云フ次第デハゴザイマセヌガ、多大ノ同情ヲ得テ居ル案デアリマス、ノミナラズ此法案ハ現在ノ狀況ノ國民思想ノ上ニ於ケル重大ナル時ニ於キマシテハ、最も必要ナ法案ト致シマシテ、委員會ニ於テハ一人ノ異議者ナク、滿場一致可決致シタ次第デゴザイマス、次ニ國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案、是ハ部落、個人、又ハ社寺ノ所有ニ係リマス土地、森林、原野、若クハ立木竹デアリマシテ、地租改正、又ハ社寺土地處分ノ際ニ官有ニ這入ッタモノ、之ヲ民有ニ下戻スルト云フ法案デアリマス、御承知ノ通り明治三十二年ニ一タビ森林原野下戻法案ナルモノガ出來テアッタノデアリマス、ケレドモ、其當時ニ於キマシテハ、未ダ其法案ニ付テ救済ノ途ガ人民ニ徹底セザル爲ニ、政府ノ趣旨ノ通りノ救済ガ行ハレナカッタノデアリマス、故ニ之ヲ再ビ救済スルノ途ヲ以テ、此法案ヲ立法シタル次第デアリマス、委員會ニ於テハ全部原案通り可決確定ニナッタノデアリマス、ノミナラズ四十四議會ニ於テモ、本案ハ本院ヲ通過シタノデアリマス、故ニ、何卒諸君ノ御賛成ヲ願フ次第デアリマス（拍手）

○議長（與繁三郎君） 日程第十四、社寺現境内無償下付ニ關スル法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（與繁三郎君） 第二讀會ヲ開クニ御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマス

○岩崎勳君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り、即チ委員會ニ於テ修正議決ノ通り、可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（與繁三郎君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

社寺現境内地無償下付ニ關スル法律案
第二讀會（確定議）

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（與繁三郎君） 本案ハ御異議ナシト認メマス、仍テ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ——次ニ日程第十五、國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス

〔第二讀會ヲ開クニ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（與繁三郎君） 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長（與繁三郎君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ、本案ニ付テ討論ノ通告ガアリマス、阿部武智雄君——阿部君ハ修正案ヲ提出セラレマシタ

國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案
第二讀會

〔阿部武智雄君登壇〕

○阿部武智雄君 私ハ本案ノ賛成演說ヲ簡單ニ申上ゲタイノデアリマス、大分問題モ澤山アル場合、斯ウ云フ古イ事ヲ申上ゲルト云フ事ハ甚ダ恐縮ニ堪ヘマセヌケレドモ、此問題ハ山下村民幾百万ノ休戚ニ係ル問題デアリマス、カエ、過日本案提出ノ場合モ、時間ノ關係上思フヤウニ申上ゲル機會ヲ得ナカッタ、ソレガ爲ニ今日此時問題ニ極ク摘擧ンデ一應申上ゲテ見タイ積リデアリマス、此問題ハ御承知ノ通り明治八年、而モ一新當時ノ問題デ、今日ニ至デハ甚ダ古イ問題デアリマス、カ、斯ウ云フ古イ問題ヲ幾度モ出スト

云フ事ハ、皆様ニ對シテモ濟ミマセヌケレドモ、斯ノ如キ古イ問題ガ今日迄殘リテ居ルト云フコトハ、如何ニモ遺憾ニ堪ヘナイ次第デアリマス、カ、爾ガ故ニ、此問題ヲ申上ゲナクチャナラス、已ムヲ得ナイ事ニナルノデアリマス、一體此問題ハ明治八年ノ地租改正ノ折ニ、民有ヲ官有ニ組替ニナッタト云フノガ抑、ノ起リデアリマス、過日委員會ノ當時モ、私共カラ政府ニ向ヒマシテ質問致シマスニハ、其當時人民ガ間違テ官有ニ入レタノデアリカ、官ガ民ノ物ヲ無理ニ取上ゲタルデアリカ、其點ハ孰レデアリカト云フコトガ、其當時問題ニモナッタヤウナ譯デアリマス、私共ノ考ヘマスニハ明治八年、而モ維新ノ初メノ頃デアッタカラ、全ク當時ハ官即チ時ノ政府ノ爲スガ儘ニ委シテ、山下村民ガ即チ屈服シタノデアリカ、屈服シタノデアッテ、官デ無理ニ取上ゲタル云フ程ノ狀況ガ處ニデアリマス、サウ云フヤウナ譯デアリマス、私ハ此當時ノ狀況ヲ一寸御參考ニ申上ゲテ見タイノデアリマス、本議場ニ於キマシテモ明治八年地租改正ヲ御承知ノ方ト云フノハ、海ニ少イ事ト思フテ居リマス、甚シキハ明治八年後生レタ諸君モアルデアリマセウ、諸君ノ生レナリ前ノ問題デアリマス、極ク近イ例ヲ申上ゲマス、明治八年ノ場合ニ私ノ青森縣ニ而モ當時ハ弘前藩——弘前藩ニ地租改正ノ御役人ガ參リマシタ時分ニ何ヲ言フモノヤラ弘前ノ當時ノ役人ガ、地租改正ノ役人ノ言フ事ガ一向通ラナイ、其通ラナイ爲ニ、到頭互ニ諍曲ヲ以テ應對シタト云フ奇談デアリマス、果シテ其頃ハサウダラウト思ヒマス、諸君ノ御承知ノ如ク明治二十三年ニ私ノ地方カラ地方代表シテ來タ工藤行幹先生ガアリマシタ、當時行幹先生ヲ評シテ「チンキユ」先生、「チンキユ」先生ト言フテ居リマシタ、其當時工藤行幹先生許リデナク、吾々ノ言フコトモ諸君ガ御聽キニナリマシタナラバ、其通りグラウト思ヒマス、或ハ靚觀將軍ト云フヤウナ評ヲ受ケマス、工藤行幹先生ナドハ古イ時代カラ諸國ヲ漫遊シ、自由黨時代カラ天下ヲ漫遊シタ人デアッテモ、尙ホ此ノ通りデアリマス、況ヤ明治八年ノ當時ナラ、サウ云フ事ハ有リ勝テ、事ト思ヒマス、サウ云フ事情ノ通ジナイ場合デアリカ、地租改正ノ當時ノ御役人ノ言フ事ハ一モ二モナクソレニ屈服シタト云フ事實ガ明ニ分ッテ居マフ、中ニモ此東北ノ方ニハサウ云フノハ澤山アリマス、併シ當時ノ政府ノ地租改正ニ對スル方針ト云フモノヲ見マス、決シテサウ云フ殘酷ナ無理ナ事ヲシタノデアリナイノデアリマス、唯其當時此縣今、其當時其地方ニ來テ居ル所ノ縣令、或ハ地租改正ノ御役人、其方方ノ此取扱ニ依ッテ、斯ノ如クナリテ居ルト云フコトハ、明ニ此私が古カラ色々ナ書類ヲ調査シマシテ、當時ノ狀況ヲ能ク調ベテ居リマシタガ、今諸君ニ御參考ノ爲ニ其當時ノ政府ノ方針ト云フコトヲ申上ゲテ見タイ、之ガ明治八年十二月

二日福島縣廳カラ伺テアリマス、福島縣カラ伺ヒマシテ、其當時ノ此内務省ノ指令ヲ得タリマスガ、其當時ノ此伺書ヲ見マスレバ、當時縣廳アタリデハ如何ニ此土地ニ對シテ考テ居ルカ、又當時ノ政府ガドウ云フ方針デアルカト云フコトハ能ク見エテ居リマス、其通り東北地方デ行ハレタカ、行ハレヌカト云フコトガ明ニ見エルノデアリマス、或ハ東北地方ガ今申上デヤウナ、此官民有ノ混同シタモノハ澤山アリマスレドモ、之ヲ以テ全國ニ斯ノ如ク改正ガ行ハレタトハ見エナイノデアリマス、之ヲ以テ見マシモ明治八年十二月二日福島縣伺地所名稱區別ノ義昨七年太政官第百二十號ヲ以テ御定相成爾來調方ニ付同百四十三號、尙本年地租改正局乙第三號等參酌査定可致答然ルニ乙第三號中數村入會、一村持、數人持、積年ノ慣行存在致シ、比隣町村ニ於テ保證致シ候者ハ帳簿ニ記載無之モ民有ニ可視做尙ホ疑似ニ涉ルモノハ詳細可伺出云々畢竟實地之御證議ニ出候儀ニハ可有之候得共情相考ヘ候ニハ官林及人跡モ之無キ深山ヲ除之外ハ是迄御拂下相成候荒蕪地原野ノ類ト雖モ概シテ多少積年慣行無之地ハ有之間數右ハ民有地ト相認候ハ、自今後官地ハ從來ノ官林及人物及人跡モ無之澤山而已ニ歸シ餘ハ悉皆民有ト可相成然ル上ハ百年日進ノ今日ニ當リ勸農、授産、學校、開拓、水理、堤防、道路、橋梁、鐵道、電線、鑛山、牧場等ヲ始メ百年新設ノ事業ハ到ル處多少障害ヲ生ゼザルハ有之間數、此處ガ括弧シマシテ、尙ホ此處縣廳ノ意見ヲ入レテ居ルノ、政府ノ公權ヲ以テ進退スルノ土地僅少ニ相成人民ノ私權ニ屬シ候テハ必ズ一方一村ダケノ僻陋陋習ヲ以テ其地ヲ制縛シ舊幕府ノ頃一畝一字モ開設スベカラズト裁判シ又村々ノ條約ニ原野ニ於テ新田開闢ケベカラズ、樹木ヲ植ユベカラズ、杯ノ醜狀アルガ如クニ至ルベシ、自然ニ地開ケズ、產興ラズ、遂ニハ邦國ノ富強ニモ關スルカ云云ト斯ウナリテ括弧ガ付ケテゴザイマス、依テハ山林ニテ一人持或ハ一村持或ハ數村持等彼レノ林ハ多年勞力相加ヘ且ツ賣買モ仕來候トカノ類ヲ積年慣行ト見做シ、比隣無疑ヲ證シ候ハハ帳簿ニ記載無之モ民有地ニ編入、其他ノ山林原野殊場等ノ類ハ假令採薪、刈秣等仕來候共斷然是レヲ官有地ニ相認メ可然哉、尙ホ括弧ヲ掛ケテ「政府ノ公權ニ屬スルノ地多ク、土ヲ闢キ產ヲ擴シ、其他百般ノ公業自在ニ若手シテ公益ヲ謀ル得ベシ云々ト云フコトヲ附加ヘテ居リマス、其後ハ除キマス、餘リ而倒ナ事ヲ申上デテモ濟ミマセヌカラ除キマス、サウシマシテ其途中ヲ除キマシテ、其後ハ互ニ天然生植ノ薪柴ヲ伐リ、豈テ刈ノ、他ニ生養之功證之レナキノ類ハ一概ニ慣行ヲ以テ民有ニ編入シ難ク故ニ一切ニ之ヲ問ハズ且草錢

等相納來候分ハ當年ノ借地料ト見做シ更ニ云々其後ニ「尙管下之義山岳原野ヲ郡トシテ廣漠ノ地之ナキハナク、村トシテ秣場之ナキハナシ、大抵初メノ公有地ニテ人民希望スレバ代價ヲ徵シテ拂下ゲタルモノニ候、

「與議長議長席ヲ退キ粕谷副議長代リ著席」

是等ハ總テ慣行ニヨリ處分候ヘハ將來百事御施行ニ障害可有之歟、先以テ一例ヲ示シ伺「斯ウナリテ居リマス、之ニ政府デ指令シマスニハ、ドウ指令ヲシマシタカト云フト、斯ウ指令シテ居リマス、伺之趣乙第三號ノ趣旨タル地券法施行隨テ官民有地ヲ決定スルノ際ニ當テハ七年太政官第百四十三號布達ノ如ク從前公有地ト稱スル内ニハ舊領主及地頭ヨリ其村又ハ其者ニ進退セシメ或ハ積年賣買等ノ慣行又ハ多少ノ勞費ヲ費シ樹木栽培ノ類モ不少、然ルニ歲月ノ久シキ一ノ證狀ナキヲ以テ積年私有進退ノ實蹟アルモ直チニ之ヲ官地トスルハ事實懸諒ノミナラズ妥當ノ措置ニ無之依テ右等ノ如キハ假令現證ナシトイヘドモ比隣郡村是ヲ瞭知シ、遺證ニ代テ保證スルモノハ政府之ヲ純平タル證狀ト認視シ假令刈秣、採薪場ト雖モ同然證狀ト認視スルモノハ同様ノ儀ニ有之云々斯ウ云フ指令ニナリテ居リマス、斯ノ如クシマスルト、殆ド此深山幽谷タルベキ即チ御本山ト稱スルモノヲ除クノ外ハ、總テ民有地トシテ開クベキガ當然ノ政府ノ御趣旨デアリヤウニ見エマス、然ルニ此伺ハ單ニ福島縣デ伺テ、福島縣デケル指令シタモノデナシテ、此伺ハ青森縣ニモ、秋田縣ニモ、總テノ方面ニ東北ニ之ヲ出シテ迴テ來タノデアリマス、私ハ之ヲ持テ來タノハ青森縣デ寫シテ持テ來タノデアリマス、サウ云フ譯デアリマス、當時政府ノ御趣旨ハサウ云フ無理ナ事ヲスルト云フ譯デアリマシタカト云フコトハ明ニ見エマス、故ニ他府縣デハ此政府ノ御趣旨ニ依テ相當民有林モ得民有原野モ民有地ニナタノゴト思ハレノデアリマス、モウ一ツ申上デテ見タイノハ、斯ウ云フ問題ガ殘テ居リマス、明治八年ノ地租改正ノ場合ニ、村ノ御收納高ヲ定メマシタ場合ニハ、從前藩ノ場合ニ納メマシタ其御收納高ヲ押ヘテ、其押ヘタモノニ種子、肥料一割五歩ヲ引イテ、其額ハ明治八年カラ溯テ五箇年ノ平均相場ヲ掛ケテ地價ヲ定メ、地租モ定メタト云フコトニナリテ居リマス、是ニ至テ何等ノ不當ハナイノデス、然ルニ茲ニ諸君ノ御同情ニ訴ヘナケレバナラヌノハ、此福島縣ノ此頃請願書ガ出テ來タノニモ能ク書イテアリマス、又秋田縣ヤ巖手縣ニモ此例ガアリマス、アルト云フノハ舊藩ノ場合ニ村ノ御收納ヲ定メマシタ場合ハ、村ニハ上中下アリマス、又田ニモ上中下アリマス、其上中下ノ田ノ位ヲ定メ、村ノ上中下ノ位ヲ定メ、然後山林ノアル所ハ村ノ位ヲ一等進メ、ノデアリマス、若シ甲ノ村ガ中村ニナリテ居ルモ

ノガアル所ニ持テ來テ、山林ガアリマスルトソレニ一等ヲ加ヘテ上村ニ上ボセテ往ク、又下ノ村ガアル、下ノ村ノアル所ヲ收穫其他ノ點カラ見ルト中ニ位シタ所ガアル、下ニ位シタ所ガアル、ソレモ山林ノアル爲ニ上ノ村ニ上ボセテ、上ノ村ニ相當スルノ御收納ヲ納メタト云フコトニナリテ居リマス、然ルニ昔ノ舊藩ノ場合ノヤウニ、山林ノ恩澤ハ官山トナリテ官山ニ書入レラレテシマシマシ、御收納ダケガ從來ノモノヲ脊負、タト云フ無理ノ形ニナリテ居リマス、之ガ私ハ地租改正ノ場合ニ御收納ノ制度、地租ノ制度ヲ定メマシタコトハ、大藏省ニモ私ハ今申シマシヤウナ算盤カラ出タト云フコトハ明カデアリマス、又舊藩ノ場合ノ地租ノ盛リ方ト云フモノハ山ノアルガ爲ニ、村ノ位ヲ一等進メタト云フコトハ明カニ分テ居リマス、斯ウ云フヤウナコトハ如何ニモ其山林、山下村ト非常ニ長イ間重イ負擔ヲ脊負テ來タト云フコトハ明カニナリタノ、此意味カラシテモ相當ナ山林ヲ其村ニ下ゲテ、尙又官山ニ對シテモ相當其村ニ收益ノ分配等モ遺テ貴ハナケレバ、今申上デマスヤウナ地租改正ノ場合ノ重イ負擔ガ今ニ殘テ居ルノデアリマス、今日斯ノ如キ事ヲ諸君ニ訴ヘテ見テモ、何故其時ハソナナ詰ラヌ法ヲ背負タカト云フコトデアリマス、其當時ハ今申シヤウナ背負タカト云フコトヲ生命財產ハ勿論、生殺與奪ノ權ヲ其藩主ガ持テ居タ明治八年ノ頃デゴザイマス、其當時ハ殆ド議論ヲシテ相當ノ權利ヲ主張スルト云フコトハ今カラ考ヘテ見レバ有リ得ベカラザルコトデアリマス、サウ云フ事情デアリマス、カラ、今日マデ斯ノ如キ無理ナ事ガ未ダ殘テ居ルト云フコトハ、諸君ニ御含テ願フコトデアリマス、ソレカラ尙ホ舊藩ノ林政ト云フコトニ付テ私ガ各處ヲ調べテ見エマシタガ、ドウモ何分ニモ東北ノ方ニハ稍、似寄タ制度が見エマシケレドモ、中國、關東、九州等ニ至リマシテモ、其制度ノ一定シタ方法が見出シ難ネマスガ、要スルニ今申シマシヤウナ官山ト雖モ相當ノ收益ヲ分配スルト云フコトハ明カニ分テ居リマス、中ニモ九州ノ方ニ行キマス、宮崎縣ハ地租改正ノ場合ニ何カ改正ニ對スル不服デモアッテ、藩旗、竹槍掛、タト云フ譯デ、最後ニ非常ナ殘酷ナ調ベヲ受ケテ、九州デモ宮崎縣ガ一番官林ガ多イト云フコトヲ聞イテ來マシタ、ソレカラ其他九州デモ鹿兒島、福岡縣等ニモアリマシタガ、大概何カシラ西國九州等ニ至リマス、特別ニ事情ノアタモノト云フコトハ分テ居リマス、儲テ東北ニナリマス、此山林ニ付テハ津輕藩ニ於テハ皇室御料局ニ居リマシタ御陵墓——皇室ノ歴史ヲ調ベル側ニアリマス、外崎覺氏ト云フ方ノ持ヘマシタ津輕藩ノ信政公ト云フ本ガアリマス、此水ニ津輕藩ノ林政ト云フコトハ委シク書イテアリマス、又盛岡藩ニナリマス、前ノ總理大臣原敬先生

ノガアル所ニ持テ來テ、山林ガアリマスルトソレニ一等ヲ加ヘテ上村ニ上ボセテ往ク、又下ノ村ガアル、下ノ村ノアル所ヲ收穫其他ノ點カラ見ルト中ニ位シタ所ガアル、下ニ位シタ所ガアル、ソレモ山林ノアル爲ニ上ノ村ニ上ボセテ、上ノ村ニ相當スルノ御收納ヲ納メタト云フコトニナリテ居リマス、然ルニ昔ノ舊藩ノ場合ノヤウニ、山林ノ恩澤ハ官山トナリテ官山ニ書入レラレテシマシマシ、御收納ダケガ從來ノモノヲ脊負、タト云フ無理ノ形ニナリテ居リマス、之ガ私ハ地租改正ノ場合ニ御收納ノ制度、地租ノ制度ヲ定メマシタコトハ、大藏省ニモ私ハ今申シマシヤウナ算盤カラ出タト云フコトハ明カデアリマス、又舊藩ノ場合ノ地租ノ盛リ方ト云フモノハ山ノアルガ爲ニ、村ノ位ヲ一等進メタト云フコトハ明カニ分テ居リマス、斯ウ云フヤウナコトハ如何ニモ其山林、山下村ト非常ニ長イ間重イ負擔ヲ脊負テ來タト云フコトハ明カニナリタノ、此意味カラシテモ相當ナ山林ヲ其村ニ下ゲテ、尙又官山ニ對シテモ相當其村ニ收益ノ分配等モ遺テ貴ハナケレバ、今申上デマスヤウナ地租改正ノ場合ノ重イ負擔ガ今ニ殘テ居ルノデアリマス、今日斯ノ如キ事ヲ諸君ニ訴ヘテ見テモ、何故其時ハソナナ詰ラヌ法ヲ背負タカト云フコトデアリマス、其當時ハ今申シヤウナ背負タカト云フコトヲ生命財產ハ勿論、生殺與奪ノ權ヲ其藩主ガ持テ居タ明治八年ノ頃デゴザイマス、其當時ハ殆ド議論ヲシテ相當ノ權利ヲ主張スルト云フコトハ今カラ考ヘテ見レバ有リ得ベカラザルコトデアリマス、サウ云フ事情デアリマス、カラ、今日マデ斯ノ如キ無理ナ事ガ未ダ殘テ居ルト云フコトハ、諸君ニ御含テ願フコトデアリマス、ソレカラ尙ホ舊藩ノ林政ト云フコトニ付テ私ガ各處ヲ調べテ見エマシタガ、ドウモ何分ニモ東北ノ方ニハ稍、似寄タ制度が見エマシケレドモ、中國、關東、九州等ニ至リマシテモ、其制度ノ一定シタ方法が見出シ難ネマスガ、要スルニ今申シマシヤウナ官山ト雖モ相當ノ收益ヲ分配スルト云フコトハ明カニ分テ居リマス、中ニモ九州ノ方ニ行キマス、宮崎縣ハ地租改正ノ場合ニ何カ改正ニ對スル不服デモアッテ、藩旗、竹槍掛、タト云フ譯デ、最後ニ非常ナ殘酷ナ調ベヲ受ケテ、九州デモ宮崎縣ガ一番官林ガ多イト云フコトヲ聞イテ來マシタ、ソレカラ其他九州デモ鹿兒島、福岡縣等ニモアリマシタガ、大概何カシラ西國九州等ニ至リマス、特別ニ事情ノアタモノト云フコトハ分テ居リマス、儲テ東北ニナリマス、此山林ニ付テハ津輕藩ニ於テハ皇室御料局ニ居リマシタ御陵墓——皇室ノ歴史ヲ調ベル側ニアリマス、外崎覺氏ト云フ方ノ持ヘマシタ津輕藩ノ信政公ト云フ本ガアリマス、此水ニ津輕藩ノ林政ト云フコトハ委シク書イテアリマス、又盛岡藩ニナリマス、前ノ總理大臣原敬先生

ノ指ヘラレマシタ南部誌ト云フモノニ委シク書イテアリマス、秋田ニハ秋田ノ大久保鐵作氏ト云フ人ノ著シタル秋田誌ト云フモノニモ尙ホ此林政ニ付テハ詳シク出テ居リマス、簡單簡單又「謹聽」ト呼フ者アリ又上杉鷹山公ノ書キマシタ林政ニ對シテ詳シイモノモ私ガ調ベテ居リマス、斯ノ如キ事ハ詳シク申上ゲルコトハ、時間ノ關係且恐縮ダカラ止メマスガ、要スルニソレ相當ノ官山ニ對シテノ收益ト云フコトハ、今申上ゲタヤウニアルノデス、今假ニ例ヲ津輕藩ニ取ッテ申上ゲテ見マス、津輕ノ林政カラ考ヘテ見マス、御本山ト云フモノト御本山以外ノ雜木林ト云フモノト二種ニナテ居リマス、俗テ此雜木林ト云フ方ニナリマス、薪炭材、其他林場、肥料等ヲ買フノデアリマス此雜木林ニナリマシテハ、薪炭材ヲ採リマシテモ、士族ノ焚ク薪炭材、又藩主ノ焚ク薪炭等ニアデモ、總テ御買上ニナタモノデアル、雜木林ハ純然タル民有林ノ形ヲシテ居リマス、俗テ御本山ト稱スル津輕ノ檜ハ日本ノ三大美林ノ一ニナテ居ル、檜ニ對シテハ根元カラ二切、根元カラ十三尺、二切、二ツ切タ根元ダケハ官ニ納メル、ソレカラ上ハ三番末木ト稱シテ、根元四間六寸ヲ取ッテ殘リハ全部村ニ下ゲタモノデ、之ヲ稱シテ二公八民ノ形ト稱シテ居リマス、ソレヲ考ヘテ見ルト算盤ヲ取ッテ見ルト、二公八民、此形ハ津輕藩ノ全部デアリマス、俗テ此二公八民即チ二公ナル所ノ木ハ如何ニ之ヲ使マタクト云フ、之ヲ以テ藩主ノ御城ノ普請、士族サンナドノ家ヲ建テ、塀ヲ建テ、其他樋管、水門、道路、橋梁等ニ眞木ヲ無代デ拂下ゲタノデアリマス、拂下ゲテ吳レタノデアル、或ハ波除其他ニ使タモノデ、考ヘテ見ルト殆ド民山同様ノ形ニナテ居ル、タノデアリマス、ソレガ爲ニ此制度ガ單リ津輕藩許リデナイ、盛岡藩モ、秋田藩モ、仙臺藩モ、上杉モ、殆ド東北ガ同ジ形ナリト私ガ調査シタモノニ明ニ見エテ居リマス、サウナリマス、今ノ東北ノ官山ト稱スルモノガ殆ド二公八民ノ部分林ニナルベキモノニ相違ナイノデアリマス、加フルニ青森縣ノ管轄ノ中ニ盛岡藩ノ支配ニナテ居ル場所ニ二公八民、或ハ三三七民ナド、云フ山ガ、未ダニ縣廳ニ部分木臺帳、試植林臺帳ト云フモノニ殘デ居ル、明ニ縣廳ニ其帳面ガアリマシテ、未ニ農商務デハ一年ニ一ツ計可シニツ計可シト云フヤウニ、二三箇所ボツ、取調ヲシテ、今日尙ホ其取調ヲシテ下渡シテ居ルト云フ形ニナテ居リマス、斯ノ如キ狀況デアリマシテ、私共ノ此案ヲ唱ヘル所以ノモノハ、國家トシテモ相當ナニ對スル方法ヲ講究スルガ當然ナリト考ヘルノデアリマス、又次ニ三十二年ノ年二色ニナ地租改正其他ノ關係カラ官民有地ノ間違アル事ヲ知リマシテ、三十二年ノ法律九十九號ヲ以テ下戻法案ガ出來マシタ、尙テ此下戻法案ノ結果ガ果シテ如何デアツタカト斯ウ申

シマス、之ガ甚ダ遺憾ナガラ全部ノ解決ガ付カヌト云フコトガ、今日尙ホ此議論ノ出テ來ル所以デアリマス、此ニ於テ私共ハ先年以來東北ノ者ガ申合セマシテ、全國ニ此拂下ノ即チ官民有ノ殘タモノ、下戻法案ノ恩惠カラ外レタモノガ、如何程アルカト云フ事ヲ全國ニ向テ照會ヲシ、調査ヲシテ貰タモノガアリマス、此調ガ私共ノ今申上ゲル此下戻法案ニ殘タ數ト云フモノハ、決シテ確實ナモノトハ申合セマシ、私共ノ東北會カラ各縣ノ内務部長ニ向テ社寺林民有林等ノ下戻ニナラヌモノハ如何程アルカト云フ事ヲ、色々箇條ヲ書イテ照會シタ其結果デアリマス、其結果ニ依リマス、京都ハ四百三十六町步、大阪ハ六十七町步、長崎ガ千八百六十一町步、埼玉六千九百七十三町步、群馬九千四百三十三町步、滋賀千二百一十一町步、長野一萬八千八百八十二町步、青森五萬六千六百六十二町步、巖手九萬二千四百三十三町步、愛媛八千五百七十七町步、大分八千九百九十九町步、熊本六百一十町步、宮崎千三百三十町步、ト云フ數デアリマシテ、總計ハ六十一萬九千五百五十五町步ニナテ居リマス、而シテ此中ニサウ云フ書類ニ依テ取調ヘルト云フ事ハ出來マセヌ、有ルニハ有リマス、ソレモ取調ノ法ガ付キマセヌト云テ來マシタノモアリマス、ソレハ東京、神奈川、兵庫、千葉、山梨、鳥取、岡山、廣島、福岡、愛知、佐賀、鹿兒島、沖繩、岐阜、ソレカラ下戻スベキ山ガ無イト云ウテ來マシタモノハ、奈良、三重、靜岡、福井、富山、山口、和歌山、德島、斯ウ云フノデアリマス、併シ是モ矢張私共ノ照會ニ對シテ或ハ諒解ヲ得兼セタ處モアルカモ知レマセヌ、斯ノ如ク各縣ニ互ニ「澤山ノ反別ハアルノデアリマス、此關係ト云フモノハ、主ニ大字持、所謂部落有林、或ハ村民共有ノ地面ガ多イノデアリマス、其關係ノ廣イコトハ前申上ゲタヤウニ、幾百萬人ト云フ數ニ私ハナテ居ルコト、思フノデアリマス、而シテ之ニ對スル政府ノ意見ヲ聽イテ見マス、昨年モ本議會ニ政府ノ答辯ナルモノモ見エマシタ、現レテ居リマス、又此頃モ政府ノ聽イテ見マシタ、政府ノ言明スル所ニ依リマス、政府ハ數字ハ分ラヌケレドモ、下戻ノ未ダ殘デ居ルト云フコトハ認メテ居ル、斯ウ云フノデアリマス、併ナガラ之ヲ下ルトスルト、未ダ幾十人ノ案件ニ互ルノデ、ソレガ爲ニ政府ノ經營シテ居ル山林ノ計畫ガ狂フ、計畫ガ狂フカラ困ル、ソレカラ今一ツハ計畫ニ對シテ相當ノ植付手入等ノ方法ガ付カナクナッテ來ル、即チ其地面ニ對シテ、手ノ入レ方ガナクナッテ來ル、ソレガ爲ニ政府ノ方デハ同意申合セタルト云フコトヲ答ヘラレマシタガ、私共ノ考カラ行クト三十二年ノ法律第九十九號ナルモノ

ハ、元々其改正ノ場合ニ民官林ノ間違ヒカラ、地方ノ山下村民ニ特別ノ恩惠ヲ以テスルガ爲ニ、此法律九十九號ヲ以テ救済シヤウト云フノガ目的デアツタノデアリマセウケレドモ、其結果ガ寧ロ下戻ヲ出願スベキ途ヲ開カレタノデアルノニ、其出願スベキ道ヲ阻止サレタコトニナテ居ルノデ、前申上ゲタヤウニ部分林ト云フモノハ、未ダ年々現レテ、相當ノ解決ヲ得ルニモ拘ラズ、下戻ト云フ方ガ法律九十九號ヲ以テ絶對ニ其後願等ガ出來ナイト云フ此處ニ一段落ヲ告ゲタモノニナテ來タノデ、ソレガ爲ニ今日斯ノ如キ不幸ニ陥ッテ居ルト云フ結果ニナテ居リマス、私共此間ノ委員會デモ、民地ガ地租改正ノ場合ニ官地ニ間違ッテ這入ッテ居タトナルト、政府ハ不當利得ヲ得テ居ルノデヤナイカ、國有財産ノ中ニ不當利得ヲ得タ官地ガアルト言ハナケレバナラヌ、ドウモ政府力國有財産ヲ造ルニ當ッテ、民有ノ不當利得マデ加ヘテマデモ、尙且ツ財産ヲ造ラナケレバナラヌト云フコトハアルマイ、ソレカラ又吾々ノ間カラ言フニハ政府デ民林タル立派ナ證據アルニモ拘ラズ、之ヲ期間過ギタリトシテ之ヲ官林ニ編入シテ置クト云フコトニナルト、先ツ個人カラ云ヘバ法律上ハ適當デアラウケレドモ、德義上カラ言フテモ一ノ橫領ナルデヤナイカト云フヤウナ極端ナ議論ヲサレテモ、辯解ノ言葉ガナイデヤナイカト云フコトマデ言ハレテ居リマス、斯ノ如キ問題デアリマス、前ニ私ノ申上ゲタ如ク、深山幽谷ニマデ入ルト云フヤウナ、即チ國有林トシテ存置スベキ大キナ官林ニ決シテ手ノ及ブコトデハナイト思フノデアル、前申上ゲタヤウニ山下ノ者ハ草ヲ刈リ、柴ヲ取リ、或ハ甚シキニ至ッテハ、深山ニ便所ヲ建テ、井戸ヲ造ルト云フ形ニマデナテ居ルノダカラ、サウ云フヤウナ山下ノ者ノ今日生活安定ノ爲ニ下ゲテ貰ヒタイト云フコトデアルカラ、決シテ是ハ無理ナイトコト、思ハレルノデアル、吾々ガ今尙ホ此問題ヲ唱ヘテ政府ノ同情ヲ得兼セテ居ルト云フコトハ、即チ吾々ノ熱心ガ足ラヌ、吾々衆議院議員カ政府ノ腹ノ底マデ、即チ腦裡デ通ルヤウニ聲ガ未ダ達シナイモノト私ハ思ヒマス（拍手）今年此目ノ達シナケバ來年、來年達シナケバ再來年、幾年ノ間デモ此議論ヲ唱ヘテ、而シテ政府ノ迷夢ヲ覺シテ、只今ノ政府許リヲ云フノデハアリマセヌ、永イ間ノ政府ガ執リ來タ事ガ不法ナリト云フコトヲ唱フテ、以テ私ハ此目ノ達シタイト思フノデアリマス、私ハ嘗テ川ノ問題デ大キニ唱ヘタコトガアリマシタガ、其時分ニ田中正造先生ガ私ニ教ヘルニハ、熱心ト云フモノハ度ヲ越エナクテハ熱心デハナイ、尋常ニ饒舌デ居ルノハ熱心デハナイノデアル、熱心ナルモノハ常軌ヲ逸シテ掛ルノガ本當ノ熱心ダト言ハレマシタ（拍手）私モ此常識ヲ逸シテマデモ此議論ヲ唱ヘ、目的ヲ達シタイト思ヒマ

スカラ、只今申上ゲタヤウニ、各縣斯ノ如キ關係ニナシテ居ルノデアリマス。其縣々カラ一人ノ、常軌ヲ逸スルマデノ熱心家ガ出テ、其問題ノ解決スルコトヲ御願ヒ申上ゲタイノデアリマス（拍手）修正ハドウシタノデス修正「修正」ト呼フ者アリ。常軌ヲ逸シタマデノ熱心ノ結果デアリマス、修正意見ヲ提出シマス、此修正意見ハ國有林野下戻法案ノ第一條ニ於テ但書ヲ加ヘマシテ「社寺ノ現境内地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス」ソレカラ第三條ノ末文ニ、尙ホ但書ヲ加ヘマシテ「社寺ノ現境内地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス」斯ウ付ケルノデアリマス、其理由ハ社寺現境内地無償下付ニ關スル法律案ガ先刻可決ニナリマシタカラ、今後社寺ニ對シテ更ニ下戻請求ヲ總テ主張ヲ爲スト云フ意味カラ、此案ヲ提出スルノデアリマス、委員會ノ場合ニ此ノ前ノ決議ガ先キニ決定スレバ、此訂正ヲシタノデアリマス。此下戻法案ヲ先キニ決シマシタカラ、此場合此修正ヲ出スノデアリマス、ドウゾ御同意ヲ願ヒマス（拍手）

○副議長（粕谷義三君） 中野寅吉君

（中野寅吉君登壇）

○中野寅吉君 昨ハ阿部武智雄君ノ修正意見ニ賛成ヲ致シマス、此問題ハ簡單ニヤラナケレバ反對スルト云フ言論ノ脅威ガゴザイマシタカラ、私ハ簡單ニシマス、自分ノ娘ニ面倒ヲ見テ貰ヒタイト思ヘバ、其親爺ハ婿ニ對シテ言ヒタイ事モ言ヒ得ナイト同ジデアル、此案サヘ通シテ貰ヘバ私ハソレデ宜シト思フノデアリマス、簡單ニヤラスト反對スル、是ハ此案ニ對スル最も重大ナル脅威デアルカラ、私ハ至極簡單ニ二三此修正意見ニ賛成ヲ述ベテ置キタイト思フ、此後ニ治安警察法ノ改正案ト云フ大事ナ問題ガアツテ、而モ今日ハ參政權ヲ大ニ主張サレル所ノ婦人諸君モ多イシ、又政治ニ御熱心ナ傍聴ノ方モ多イデアリマス。私ハ此後ノ治安警察法案ノ邪魔ニナラヌヤウニ致シマス、況ヤ又木下成太郎君ハ委員長トシテ大ニ此委員會ノ結果ヲ此處デ鮮カニ御報告ニナラントシテ手具歸引イテ待テ居ラル、次第デアリマス。カラ、私ハ簡單ニ致シマス、ソレデ是ハ今阿部君ノ言ハレタ如ク、此問題ニ對シマシテハ何モ解決ガ面倒デヤナイ、單刀直入ニ申上ゲレバ、阿部君ノ言ウタ通り、政府ノ迷夢ヲ覺シテヤレバソレデ宜イノデアル、政府ノ迷夢ヲ覺マスコトガ出來レバ、吾々ノ此初一念ヲ貫徹スルコトガ出來ル、此初一念ヲ貫徹スルコトガ出來ナケレバ、全ク此山ニ依ッテ生活シテ居ル地方ハ、寔ニ難儀ヲスルノデアル、又最も極端ニ言ヘバ、此山ニ依ッテ生活シテ居ル者ガ其處ニ依ッテ生活不能ニナルト、即チ選舉權モ無クナル、其處ニ選舉權ヲスル人モ無クナシマスカラ、其處ヲ土臺トシテ居ル吾々山議員ト云フ者ハ、遂ニ議員ニナルコトガ出來ナクナルヤウナ心配モ

アルノデアル（拍手笑聲）ソレデ政府ハ之ニ依ッテ何ボ得シテ居ルカ、マア申ス迄モナイガ、木竹拂下代及雜收入マデノ間ヲ讀ムト大變デスカラ、簡單ニヤラナケレバ反對スルト云フカラモウ讀マナイ、即チ森林收入ト云フモノハ三千九百二十二萬一千四百三十五圓ト云フ森林收入ガアル、政府ノ收入ガ是デケアルト云フコトガ、即チ山ニ依ッテ生活シナケレバナラヌ國民ガ、是デケノ迷夢ヲシテ居ルト云フコトハ分ルデヤナイカ、政府サヘ收入ガアレバ山ニ依ッテ生活シテ居ル人民ハ疲セテモ、枯レテモ、餓死シテモ宜シト云フヤウナ政策デアタナラバ、是ハ鼓ヲ鳴ラシテ政府ノヤリ方ヲ攻メナケレバナラヌト私ハ思フノデアル、ソレデ此問題ハ昨年モ通過シタ、阿部君ノ言葉ヲ藉リテ言ヘバ、何故此政府ニ對シテモウ少シ突込マナイ、即チ阿部君ノ屬シテ居ル所ノ政友會ノ黨員ニ依ッテ、政府ガ成立テ居ルデハナイカ、即チ國民ノ利害休戚ニ關スル問題デアタナラバ、何故ニ阿部君ハ脱黨ヲ賭シマス。此問題ヲ力爭シナイノデアルガ、其位デナケレバ初一念ノ貫徹ハ不能デアル、政府者曰ク、趣旨ニハ賛成デアルガ違ニ出來ナイ、趣旨ニハ賛成スルナラバ何故早クヤラス、言葉ハ立派デモ實行シナケレバ屁デモナイ、駄デ居デモ實行スレバ宜シ、趣旨ニハ賛成デアルケレドモ實行ハ出來ヌ、ソナ賛成ガ何處ニアル、人民ヲ馬鹿ニスルノ程ガアル、ソレカラマウ一ツ言、テ見タイノハ、澤來太郎君ノ調査シタモノヲ私ノ方ニ送テ呉レタガ、其調査ニ依ルト云フト、帝都ノ眞中ニ山林ガアル、帝都ノ眞中ニ山林ヲ持ッテ居ルト云フヤウナ者共ノ目カラ見タナラバ、山ニ依ッテ生活シテ居ル此貧民ニ對シテハ、涙ヲ流スヤウナ同情ハ起キマイケレドモ、ソナヤウナ階級ノ方ニ重キヲ置カズシテ、宜シク政治ト云フモノハ平等ニ幸福ヲ得ラル、ヤウニヤッテ貰ハナケレバナラヌト、私ハ思フノデアリマス（拍手）其他申上ゲタイ事ハ問題ガ山ダケニ山々アリマスガ、アルケレドモ此位ニシテ私ハオシマヒニシテ置キタイト思フ、修正意見ノ賛成ハ先刻阿部君ノ述べタ意見ノ通りデアル

○副議長（粕谷義三君） 討論ハ終結致シマシタ、採決致シマス、阿部君ノ修正案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ乞ヒマス

〔賛成者 起立〕

○副議長（粕谷義三君） 多數デアリマス、修正案ハ可決サレマシタ

〔拍手起立〕

○副議長（粕谷義三君） 他ハ委員長報告ノ通り御異議アリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（粕谷義三君） 御異議ナシト認メマス、仍テ委員長ノ報告ノ通り決シマシタ、第二讀會ハ是ニテ終了致シマシタ

マシタ

○岩崎勳君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開キ、第二讀會ニ於テ修正議決ノ通り可決確定アラシコトヲ望ミマス

〔贊成「ト呼フ者アリ」〕

○副議長（粕谷義三君） 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス仍テ直ニ第三讀會ヲ開キマス

國有土地森林原野下戻ニ關スル法律案 第三讀會

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（粕谷義三君） 御異議ナシト認メマス、第二讀會議決ノ通り全部確定致シマシタコトヲ宣告致シマス、次ニハ日程第十六乃至第十九ハ同一委員ニ付託シタ議案デアリマスカラ、一括議題ニ爲スニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（粕谷義三君） 御異議ナシト認メマス、日程第十六、治安警察法中改正法律案、日程第十七、第十八、第十九、執レモ同ジ名稱デアリマス、此四案ヲ一括シテ其第一讀會ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長木下成太郎君

第十六 治安警察法中改正法律案（一宮房治郎君外一名提出）

房治郎君外一名提出

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一治安警察法中改正法律案（一宮房治郎君外一名提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月十四日

治安警察法中改正法律案委員長 木下成太郎

衆議院議長與繁三郎殿

第十七 治安警察法中改正法律案（清瀨一郎君外一名提出）

一郎君外一名提出

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一治安警察法中改正法律案（清瀨一郎君外一名提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

現在ノ狀態ヲ認メマスルコト云フ、斯ウ云フ御聲明デアリマス、此治安警察法ハ、選舉法ト何等ノ關係ハアリマセヌ、若シ内務大臣ノ聲明ノ如ク、今日ノ場合府縣制ニ於キマシテモ、衆議院議員選舉法ニ於キマシテモ、市制、町村制ニ於キマシテモ、神官、僧侶、神職、其他諸宗ノ教師ニ被選舉權ヲ與ヘテ宜イト云フコトヲ御言明ナサルナラバ、是等ノモノヲ政黨結社ニ入ル、事ヲ禁止シテ置クト云フ理由ノ存在スルコトヲ發見スルコトハ出來ナイデアリマス、ソレガ故ニ之ニ對シテ政友會並政友會諸君ノ反對セラル、理由ヲ發見スルニ苦ムデアリマス、更ニ私共ノ改正ヲ企テ、居ルノハ、官公私立學校ノ教師及生徒ニ對シテ、政黨結社ニ入ルコトヲ許スト云フ所ノ規定ニ致シタイト云フ改正デアリマス、之ニ付キマシテ委員會ニ於キマシテ、政府當局ト致シテ松田君カラ現在ノ場合ニ於テ小學校ハ別ト致シ、ソレ以上ノ學校ニ取テ官公私立學校ノ教師ニ被選舉權ヲ與フルコトモ、或ハ此結社ニ入ルコトモ差支ナカラウト云フヤウナ御言明ガアツデアリマス、然ラバ此項ニ對シマシテモ、反對スルト云フ理由ヲ發見スルコトハ出來ナイデアリマス、ソレ故ニ私共ハ此原案ヲ維持シナケレバナラナイデアリマス、次ニ私共ノ改正ヲ致シマスルノハ、現行法ニ依リマスレバ、屋外ノ集會若クハ多數ノ民衆ガ運動ヲ致ス場合ニ於キマシテ、其群衆ガ安寧秩序ヲ紊亂スル虞アリ、虞アル場合ニハ之ヲ直チ解散スルコトモ出來ルシ、運動ヲ禁止スルコトノ出來ル現行ノ規定ガアルデアリマス、私ガ此所ニ申サナデモ諸君ノ御承知ノ通り、現在ノ警察官ガ果シテ此政治運動ガ——此政治ノ集會ガ社會ノ安寧秩序ヲ害スルモノデアルカ、ドウカト云フ如キコトヲ推定獨斷スルコトノ見識ヲ有セザルモノデアルト云フコトハ、何レモ異議ガナカラウト思ヒマス、斯様ナモノニ對シテ私共ガ立憲政治ノ發達ヲ希望スル言論集會ノ自由ヲ、私共ガ希望スルコト云フ下ニ於テ、斯様ナル規定ノ存在スルコトハ矛盾極マルモノデアルト信ズルデアリマス、ソレ故ニ私共ノ修正致サントスル所ハ、安寧秩序ヲ紊亂スル場合ニノミ限リテ此集會ヲ解散シ、或ハ運動ヲ制限スルコトノ出來ル規定デアリマス、斯様ニ致シタイト云フデアリマス、次ニ私共ノ改正トシテ主張スルノハ、第十條ノ規定デアリマス、此規定ニ付キマシテハ、政府當局ト致シマシテ松田君ヨリ私ニ對シテ質問ガアリマス、集會ニ於ケル講談論議ニ對シテ安寧秩序ヲ紊シ、若クハ風俗ヲ害スル虞アリト認ムルコトニハ、之ヲ處理スル所ノ規定ガ定メタルデアリマス、私共ハ此虞アリ、違反シ其他ノ秩序ヲ紊シ、若クハ風俗ヲ害スル虞アリト認ムルヲ違背シタルト云フコトニ修正致シタイ、之ガ爲ニ松田君ハ斯様ニ私ニ對

シテ御質問ガアリマシタ、安寧秩序ヲ紊シ、若クハ風俗ヲ害スル虞アル場合ニ於テ、此集會ヲ解散スルヤウナコトガ出來ナイ場合ニ於テハ、社會ノ安寧秩序ヲ紊シタル場合ニハ如何ニ致スカト、斯ウ云フ御質問デアタツ記憶致シマス、是ハ政府當局トシテ松田君御承知ノ事デアラウト私ハ思ヒマス、現在ノ刑法ナルモノハ、生命財產ニ關スル規定ヲ除キマスレバ、全部社會ノ安寧秩序ヲ維持スル爲ノ規定デアリマス、勿論治安警察法ニ於ケル此十條ノ私共ノ削除シヤウトスルト同一ノ規定ガ存在スルデアリマセヌケレドモ、現在ノ刑法ヲ以テ致シマスレバ、若シ集會ニ於テ、又ハ政治ヲ論議スル場合ニ於テ、社會ノ安寧秩序ヲ紊サヤウナ場合ニ於テハ、如何ナル取締法デモ出來ルデアリマス、ソレ故ニ私共ハ此規定ヲ改正シテモ、更ニ社會ノ安寧秩序ニ不安ヲ生ズルガ如キコトハ、斷ジテ之無シト信ズルモノデアリマス（簡單）ト呼フ者アリ）次ニ私共ノ改正ニ付キマシテ最モ重要ナル點ト考慮致ス點ハ、多年問題ニナツテ居リマスル所ノ治安警察法第十七條ノ削除デアリマス、之ニ付キマシテハ、政友會諸君カラモ若シ此第十七條ヲ削除シタル場合ニハ、將來労働者バカリアナク、資本家ガ團結シテ「ロックアウト」シタル、労働者ヲ脅威シタルスルヤウナ場合ニハドウ致スカ、治安警察法第十七條ノ規定ハ單リ労働者ガ團結ヲ合致シテ、其主張ヲ資本家ニ向テ強制シヤウトスル爲ニ運動シタル、煽動シタル時ニ用ユルモノノ規定ニアラズシテ、資本家ガ合同團結シテ労働者ヲ「ロックアウト」シ、若クハ労働者ヲ壓迫スルガ如キ事アレバ、其場合ニ之ヲ取締ルコトガ出來ル、決シテ労働者ヲシテ虐メル所ノ偏重ノ法律デナイト斯様ナコトデアリマシタガ、之ニ對シテ私ハ政府當局ニ御尋フ致シマシタ、治安警察法第十七條ニ依リマシテ、是迄最近五六年ノ間ニ於テ同盟罷業ノ起ルコトハ頻繁デアアル、ミナラズ屢、労働者ガ同盟罷業ヲシタル場合ニハ、資本家ハ合同シ團結致シテ、労働者ノ權利ヲ動モスレバ侵害スルガ如キコトガアル、又事實上労働者ヲ「ロックアウト」シタル所ノ實例モ多々アルガ、内務省ニ於テハ是迄治安警察法ニ依リマシテ、労働者ヲ取締ルコト云フ實例ハ枚舉ニ遑マラスデアラウト信ズルガ、資本家ヲ取締ル實例ガアルカ如何ト御尋致シマシタ所ガ、此法律ニ依テ資本家ヲ取締ルコトハ一回モ無シト云フ御答辯デアリマシタ、サウシテ見レバ此治安警察法第十七條ハ、労働者ト資本家ト同ジク團結致シマシテ、他ノ權利ヲ侵害シ、他ノ正當ナル要求ヲ抑壓スルヤウナ場合ニ於テ、處分スル所ノ規定デアルト云フ所ノ事實ヲ全部裏切ラレタモノデ、此十七條ノ規定ハ明ニ勞資協調ヲ唱フル政府ガ自ラ資本家ニ偏シ、労働者ヲ抑壓威壓スル

爲ノ武器トシテ存續セシメヤウトスル主張ニ外ナラナイト信ズルヨリ途ノナイモノデアリマス、ソレ故ニ私共ハ此削除ヲ必要トシ之ヲ主張スル所以デアリマス、最後ニ政友會ノ諸君カラ御尋ニナツタ一項ガアリマスカラシテ、之ニ對シテモ此場合私共ノ主張ノ正シイコトヲ申上ゲテ、私共ノ修正ノ相當ナルコトヲ申上ゲテ置カケレバナラナイト思ヒマス、是ハ政友會ノ志賀君ノ御質問ダト思ヒマス、治安警察法ニ依レバ行政裁判所ニ出訴スルコトノ出來ル場合ニ於テハ、其權利ヲ侵害サレタルヲ前提ト致スコトガ現行ノ規定デアアル、然ルニ私共ノ第三十二條ノ改正ニ付テハ、其原則ヲ裏切タト云フ、斯ウ云フヤウナ御質問ガアリマシタガ、之ニ對シテ私ハ斯様ニ御答シタルバ、明瞭ニナルト思フ「本法ニ依リ行政官廳ノ命令若ハ處分ニ對シテ」トアルコトハ自分ガ權利ヲ侵害サレタト云フ前提ガナケレバ、告訴スルコトノアルベキ筈ハアリマセヌ、ソレノミナラズ、其他ノ法律ニ依リマシテハ、行政官廳ノ命令、若クハ處分ニ對シテ訴願スルコトガ、今日ハ國ノ法律ノ原則トナツテ居リマス、ソレ故ニ此治安警察法ニ於キマシテモ、此原則ヲ徹底セシムル爲ニ改正ヲ試ミタ次第デアリマス、斯様ニ申上ゲテ見マスレバ、政府當局ト致シマシテハ、私共ノ改正ニ對シテ反對スル正當ナル所ノ理由ヲ、委員會ニ於テモ發見スルコトガ出來ナカッタデアリマス、ソレ故ニ私共ノ改正案、即チ委員長ノ報告ニ依リマシテ賛成ヲ表シマシタ以外ニ、其他ノ私共ノ提出ノ原案ニ付キマシテモ原案維持ヲ唱フル所以デアリマス（拍手）

○副議長（粕谷義三君） 武田德三郎君

（武田德三郎君登壇）

○武田德三郎君 諸君、本員ハ只今委員長ノ報告セラレマシタ通りニ賛成ヲ致ス者デアリマシテ、植原君ノ少數意見ニ反對スル者デアリマス、本案ハ昨年モ同一ノ四案ガ提出セラレ、又同一ノ結果ニナツタデアリマス、而シテ其當時ニ既ニ今植原君ヨリ述べラレマシ修正意見ニ對シテハ、相當ナ論議ヲ盡サレタデアリマス、隨テ簡單ト云フ御催促ヲ受ケナクトモ餘リ多ク私ハ議論ヲ費ヤスノ必要ヲ認メナイデアリマス、唯併シ此十七條ノ點ニ取リマシテハ、今日ニ始ツタ議論ナクシテ、是ハ世間ノ學者、論客ニ依リマシテモ多年ノ間議論サレタ重大ノ問題デアルト考ヘマスカラ、其點ニ付キマシテハ一通リダケ私見ノアル所ヲ申述ベテ御聽取リテ願ヒタイト思ヒマス、一宮君ノ提出サレマシタ修正案、即チ治安警察法ノ第五條ノ「女子及」ト云フ三字ヲ削ルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ此改正案ノ四案ガ共ニ同一ノ條項ヲ持ツテ居ルモノデアリマスカラ、此事ニ付キマシテ

ハ改テ申上ゲルノ必要ハナイト思ヒマス、其他國民黨カラ提出サレマシタ此改正案ノ要旨ハ、大體ニ於テ三箇條ニ分レルト考ヘマス、即チ政治集會ノ自由ノ範圍ヲ成ベク廣クスルト云フコトガ、第一デアリマス、而シテ又此政治ノ運動ヲスル者ノ資格ヲ擴メルト云フコトガ第二デアリ、第三ハ勞働運動ノ範圍ヲ成ベク自由ニスルト云フコト、即チ治安警察法ノ第十七條ヲ撤廢スルト云フコトハ第三デアリマス、而シテ此第一ノ問題ニ至リマシテハ、植原君ハ非常ニ御論議ニナリマシタガ、其大體ノ主義ニ於テハ吾々モ敢テ異論ハナインデアリマス、又第二ノ問題ニ取リマシテモ、成ルベク解放ヲ致シテ政治運動ノ範圍ヲ擴メル、其資格ヲ擴張スルト云フコトニ至リマシテハ、是亦餘リ多ク私ハ反對ヲシナイノデアリマス、唯併ナガラ實際上ノ政治カラ見マスナラバ、大體ニ於テ政治上ノ運動ヲ自由ニスルト云フコトニ賛成ヲ致シマシテモ、自ラ其事情ニ適スルヤウニ徐々トシテ其範圍ヲ擴メルト云フコトハ、勿論是ハ必要ノ事デアルト信ジマス、私ハ此普選問題、其他人民ノ自由ノ範圍ヲ擴メ、若クハ國民ノ權利ヲ擴張スルト云フ法案ニ取リマシテハ、常ニ今年ノ議會ニ於テハ憲政會ノ諸君ト國民黨ノ諸君ト常ニ協調致サレマシテ、同一ノ態度ヲ御執リニナタニモ拘ラズ、此治安警察法ニ取テ、反對ノ態度ヲ御執リニナデ、寧ロ吾々ノ主張ニ御賛成ニナタト云フコトハ、奇異ノ感ニ堪ヘナイノデアリマス、併ナガラ是ハ私ハ思フニ、憲政會ノ諸君ハ比較的責任ヲ御感ジニナル上ニ於テ、日本ノ現狀ヲ御觀察ニナデ、未ダ國民黨ノ諸君ノ言ハレルガ如クニ、改正ヲスルト云フコトハ面白クナイト云フ所カラ出タモノト思ヒマシテ、此憲政會ノ諸君ノ態度ニ敬意ヲ表スルノデアリマス

○副議長(粕谷義三君) 定刻ニ近ヅキマシタカラ時間ヲ延長シマス

○武田徳三郎君(續) ソレデ私ハ國民黨ノ諸君ノ御意見ニ對シテ、今申シマシタ通りニ大體ニ於テ異論ハナイノデアリマス、今申シマシタ通りニ至リマシテ、届出ヲスルダケニ止メルト云フダケデハ、今日ノ現狀ニ於テハ十分ニ之ヲ取締ルト云フコトハ困難デハアルマイカト思ヒマス、若シ取締ルコトガ無用デアルトスレバ、全部此條項ヲ削除シテ宜シイノデアリ、又適當ノ時機ニナタナラバ、此條項ヲ總テ削除スル時機モ來ルデアリマセウ、併ナガラ既ニ相當ノ取締ヲ要スルト認メタ以上ハ、實際ニ於テ取締リ得ル程度ニ取締ノ條項ヲ規定スルト云フコトハ、是亦已ムヲ得ナイモノデアラウカト存ジマス、即チ此二條ノ修正ノ如キニ至リマシテモ、唯届出放シト云フコトデハ、ドウシテモ今日ノ實情ト

シテ取締ヲ十分ニスルト云フコトハ困難デハアルマイカト存ジマス、更ニ又第八條ノ改正ノ如キニ至リ、此運動ガ安寧秩序ヲ紊シタル場合——現行法ノ虞アルト云フ字ヲ取ツテ、紊シタル場合ト云フヤウナ改正デアリマス、既ニ紊シシマシテカラ之ニ制裁ヲ加ヘルト云フコトハ、決シテ取締ト云フ意味ニハ相違ハヌコトデアリマイカト私ハ思フノデアリマス、更ニ又政治運動ヲ致シマスル者ノ資格ノ點デアリマス、僧侶若クハ諸宗教ノ教師、或ハ學校教員、是等ハ植原君ノ言ハレル如ク政府ニ於テモ、又吾々ニ於テモ必シモ是ハ反對デハナイノデアリマス、唯併ナガラ今日ノ實情ニ於テ他ノ法律上ノ關係モアリマス、又學校ノ教員、若クハ僧侶ノヤウナ人々ハ徒ニ政治ノ結社ニ加ハテ、サウシテ此感情ノ激スルガ儘ニ、自分ノ目的トスル事柄ヲ放任スルト云フヤウナ傾向アリマシテハ、洵ニソレ等僧侶並ニ教員自身ノ爲ニ不利益デアアルノミナラズ、併セテ國家ノ爲ニモ甚ダ面白カラズ結果ヲ來スデアラウカラ、暫ク此社會ノ進歩ノ程度ヲ見テ、適當ノ時機ニ此改正ニ同意スルト云フコトニハ、何等異存ガナイノデアリマス(拍手)而シテ私ハ第十七條ノ點ニ付テ、此點ダケヲ少シク申述ベテ見タイト思ヒマス、植原君ハ此十七條ノ削除ノ事ニ付キマシテ、此條項ハ時代錯誤ノモノデアリ、是ハ保安條例ニ代ル所ノ法律デアデ、洵ニ時代錯誤ノ法律デアルト云フヤウニ御論議ジニナリマシタ、併ナガラ私共ノ見ル所ヲ以テスルト、明治三十三年ニ發布サレマシタ此治安警察法、而シテ又植原君ノ言ハル、ガ如クニ、山縣内閣ノ當時ニ於テ發布サレマシタ此治安警察法トシマシテハ、比較的進シタ所ノ法律デアルト私ハ考ヘマス(拍手)其當時ノ立法ノ趣旨ヲ、當時ノ立法者タル——立案者タル有松政府委員ガ、其當時委員會ニ於テ説明シタモノヲ見マス、此十七條ノ點ニ於テ斯ウ云フ説明ヲシテ居ルノデアリマス、近時歐羅巴ニ於テ勞働者ト資本家ノ間ニ軋轢ガ盛ニナデ、勞働者ハ自分ノ利害ヲ擁護スルガ爲ニ、同盟罷業ヲスルヤウナコトヲ頻々トシテ起テ、而シテ今日ノ狀態ニ於テ、勞働者ノ利益ヲ保護スル上ニ於テハ、此同盟罷業即チ「ストライキ」ト云フモノヲ、一種ノ權利ト見ルト云フヤウナ狀態ニナデ來タノデアリ、而シテ政府モ亦同盟罷業ヲ一種ノ權求ト認メル考ヲ持テ居ルノデアルト云フ説明ガ其一節ニ在ルノデアリマス、即チ其當時ノ政府ハ既ニ「ストライキ」ト云フモノヲ、勞働者ノ一種ノ權利ト認メル程ニマデ進シタ思想ノ下ニ、是ガ立案サレタモノデアリマス、此立法ノ趣意カラ考ヘマシテモ、此十七條ト云フモノハ植原君ノ御考ニナルガ如クニ、今日ノ「デモクラシー」ノ思想ト相反シタ、時代錯誤ノ立法デアルトハ私ハ考ヘヌノデアリマス、

更ニ又植原君ハ此十七條ト云フモノハ、勞働者ノ働キ、或ハ此勞働組合法ヲ組織スル上ニ於テ、非常ナル障礙ニナルノデアルト云フ御論議ガアリマシタケレドモ、私ハ之ヲ其點ニ付キマシテハ、若シ此十七條ヲ仔細ニ御覽ニナルナラバ、其誤解ハ直ニ解ケルデアラウト思ヒマス、第十七條ノ第一號ニ於キマシテ斯ウ云フ事ガアリマス、「勞務ノ條件又ハ報酬ニ關シ協同行動ヲ爲スヘキ團體ニ加入セシメ又其ノ加入ヲ妨クルコト」ト云フ事ガ書イテアル、其外第二號ニ於キマシテ「同盟解雇若クハ同盟罷業ヲ」云々ト云テ、其制限ニ關スル規定ガアルノデアリマス、此第一號ノ「協同行動ヲ爲スヘキ團體」ニ加入セシメ又ハ其ノ加入ヲ妨クルコトト云フ條項ハ、即チ勞働組合ト云フモノヲ豫定シテ、勞働組合ノ存在ト云フモノヲ認メテアルガ故ニ、斯ル條項ガ規定サレタモノト私ハ信ズルノデアリマス、既ニ此治安警察法ノ立法ノ趣意ニ於テ、其本旨ガ決シテ「デモクラシー」ノ思潮ト相反スルモノデナク、而シテ此勞働組合ト云フモノ、存在ヲ豫定シテ居ルモノデアラナラバ、植原君ノ希望ニ決シテ反スル條項デナイト私ハ信ズルノデアリマス、加之一方ニ於テ治安警察法ノ第十七條ハ、大ニ勞働者ヲ保護シテ居ル所ノ條項ガアルノデアリマス、即チ「同盟解雇若クハ同盟罷業ヲ遂行スルガ爲ニ使用者ヲシテ勞務者ヲ解雇セシメ若クハ勞務ニ從事スルノ申込ヲ拒絕セシメ」ト云フコトガアル、即チ資本家ノ方ニ於テ「ロックアウト」スルヤウナ事ヲ致シ、若クハ「ブラックリスト」ヲ造テ、勞働者ノ從業ヲ妨ゲルヤウナ事ヲスル場合ニハ、之ニ向テ資本家ニ相當ナ制裁ヲ加ヘル所ノ條項ガアルノデアリマス、即チ資本家ニ此制裁ト云フモノハ一面ニ於テハ即チ勞働者ヲ助ケ、勞働者ノ行動ニ自由ノ範圍ヲ與フルモノデアリマス、故ニ此十七條ハ一面カラ觀レバ勞働者ニ、相當ナ制裁ヲ加ヘルト同時ニ、資本家ニモ相當ナ制裁ヲ加ヘテ、而シテ此勞働者ノ自由ヲ保護スル意味ガ、十分ニ此間ニ現レテ居ルノデアリマス、然ルニ此點ニ關シテ植原君ハ委員會ニ於キマシテモ、亦只今ノ少數意見ノ説明ニ於キマシテモ、政府ハ——成程其條項ハアル、併ナガラ政府ハ未ダ會テ資本家ヲ此條項ニ依テ取締ラタ例ハ一度モ無イ、一度モ無イカラ此條項ハ不必要デアルト云フ、斯ウ云フ御論斷ノヤウデアリマス、是ハ此法律ガ必要デアるか否カト云フ事ト、此法律ヲ適用スル途ガ誤テ居タカ居ナイカト云フ事ト、全く別種ノ論デアルト私ハ考ヘマス、政府ノ説明セラル、所ニ依レバ、決シテ此條項ハ無用デアルトハ言ハナイ、此條項ヲ資本家ニ適用スルヤウナ場合ガ今日マデ無カッタ適用シナカッタト云フ事實上ノ説明デアデ(拍手)決シテ是ガ無用デアルトハ言ハナイノデアリマス、

更ニ又植原君ハ此十七條ト云フモノハ、勞働者ノ働キ、或ハ此勞働組合法ヲ組織スル上ニ於テ、非常ナル障礙ニナルノデアルト云フ御論議ガアリマシタケレドモ、私ハ之ヲ其點ニ付キマシテハ、若シ此十七條ヲ仔細ニ御覽ニナルナラバ、其誤解ハ直ニ解ケルデアラウト思ヒマス、第十七條ノ第一號ニ於キマシテ斯ウ云フ事ガアリマス、「勞務ノ條件又ハ報酬ニ關シ協同行動ヲ爲スヘキ團體ニ加入セシメ又其ノ加入ヲ妨クルコト」ト云フ事ガ書イテアル、其外第二號ニ於キマシテ「同盟解雇若クハ同盟罷業ヲ」云々ト云テ、其制限ニ關スル規定ガアルノデアリマス、此第一號ノ「協同行動ヲ爲スヘキ團體」ニ加入セシメ又ハ其ノ加入ヲ妨クルコトト云フ條項ハ、即チ勞働組合ト云フモノヲ豫定シテ、勞働組合ノ存在ト云フモノヲ認メテアルガ故ニ、斯ル條項ガ規定サレタモノト私ハ信ズルノデアリマス、既ニ此治安警察法ノ立法ノ趣意ニ於テ、其本旨ガ決シテ「デモクラシー」ノ思潮ト相反スルモノデナク、而シテ此勞働組合ト云フモノ、存在ヲ豫定シテ居ルモノデアラナラバ、植原君ノ希望ニ決シテ反スル條項デナイト私ハ信ズルノデアリマス、加之一方ニ於テ治安警察法ノ第十七條ハ、大ニ勞働者ヲ保護シテ居ル所ノ條項ガアルノデアリマス、即チ「同盟解雇若クハ同盟罷業ヲ遂行スルガ爲ニ使用者ヲシテ勞務者ヲ解雇セシメ若クハ勞務ニ從事スルノ申込ヲ拒絕セシメ」ト云フコトガアル、即チ資本家ノ方ニ於テ「ロックアウト」スルヤウナ事ヲ致シ、若クハ「ブラックリスト」ヲ造テ、勞働者ノ從業ヲ妨ゲルヤウナ事ヲスル場合ニハ、之ニ向テ資本家ニ相當ナ制裁ヲ加ヘル所ノ條項ガアルノデアリマス、即チ資本家ニ此制裁ト云フモノハ一面ニ於テハ即チ勞働者ヲ助ケ、勞働者ノ行動ニ自由ノ範圍ヲ與フルモノデアリマス、故ニ此十七條ハ一面カラ觀レバ勞働者ニ、相當ナ制裁ヲ加ヘルト同時ニ、資本家ニモ相當ナ制裁ヲ加ヘテ、而シテ此勞働者ノ自由ヲ保護スル意味ガ、十分ニ此間ニ現レテ居ルノデアリマス、然ルニ此點ニ關シテ植原君ハ委員會ニ於キマシテモ、亦只今ノ少數意見ノ説明ニ於キマシテモ、政府ハ——成程其條項ハアル、併ナガラ政府ハ未ダ會テ資本家ヲ此條項ニ依テ取締ラタ例ハ一度モ無イ、一度モ無イカラ此條項ハ不必要デアルト云フ、斯ウ云フ御論斷ノヤウデアリマス、是ハ此法律ガ必要デアるか否カト云フ事ト、此法律ヲ適用スル途ガ誤テ居タカ居ナイカト云フ事ト、全く別種ノ論デアルト私ハ考ヘマス、政府ノ説明セラル、所ニ依レバ、決シテ此條項ハ無用デアルトハ言ハナイ、此條項ヲ資本家ニ適用スルヤウナ場合ガ今日マデ無カッタ適用シナカッタト云フ事實上ノ説明デアデ(拍手)決シテ是ガ無用デアルトハ言ハナイノデアリマス、

ス、若シ植原君——國民黨ニシテ之ヲ適用スベキ機會ガアルニモ拘ラズ、政府ガ之ヲ適用シナカト云フコトナラバ、其適用シナカト云フ事實ヲ取テ、政府ヲ彈劾ナサルガ宜イケレトモ、此法律自體ヲ廢スルコト云フコトハ、到底論理ノ一貫シタモノデナイト思フノデアリマス(拍手)更ニ又斯ウ云フ御論旨ガアリマス、此法律ノ目的ガ私ノ説明シタ如クニ、前提トシテ勞働組合ヲ見テ居ル、又「ストライキ」ヲ以テ勞働者ノ權利ト認メテ居ルト云フコトデアリナラバ其目的ハ宜シイ、其宜シイ所ノ目的ヲ遂行スルニ當テ、若シ其手段ガ不法デアラナラバヤ知ラズ、不法デナイ限リニ於テハ、之ニ向テ何等ノ制裁ヲ加ヘル必要ハナイデハナイカ、苟モ勞働者ガ或種ノ團結ヲ致シ、或種ノ相談ヲ致スト云フコトニ向テハ、期セズシテ一致スルコト云フコトハ必シモ有リ得ルモノデナイ、何人カ首唱ヲ致シテ、何人カ之ヲ人ニ説明致シ、勸誘致スト云フコトガ當然ナ事デアリ、然ラバ誘惑煽動ト云フヤウナ事柄ハ、是ハドウシテモ有リ得ベキ事デアラハ決シテ是ハ不法ノ事デハナイ、斯ウ云フ御議論デアリマス、此點ハ一應一寸九ノヤウニ考ヘマスガ、更ニ議テ考ヘテ見マスノ、是ハサウ輕々ニ論斷スベキ問題デハナイト考ヘル成程或ハ國民黨ノ諸君ハ、此點ニ於テハ憲政會ノ諸君モ、サウ云フ御懸念ガアタヤウデアリマス、誘惑若クハ煽動ト云フヤウナ、此誤リ易キ言葉ヲ此法律ニ用キテ居ラレト云フコトハ免角政府ヲシテ勞働者ヲ壓迫セシメル傾向ガアルト云フヤウナ御議論ガアルノデアリマス、併ナガラ誘惑煽動ト云フヤウナ文字ハ、諸君ノ考ヘラレルガ如ク、爾ク不明白ナ言葉デハナイノデアリマス、吾々ノ從來ノ觀念カラ申シマシテモ、誘惑煽動ト云フ文字ハ、決シテ普通ノ勸誘ト云フヤウナ言葉トハ同一ノモノデハナイノデアリマス、煽動ト云フ文字ノ如キハ、洵ニ不穩當ノ文字デアリマス、誘惑若クハ煽動ト云フ字句ハ、吾々ノ從來ノ觀念カラシテ、不穩當ノ意味合ニ使ハレテ居ルノミナラズ、司法官憲ノ間、若クハ法律家ノ間ニ於テハ、既ニ一定ノ意味ガ確定シテ居ルノデアリマス、昨年ノ本案ノ委員會ニ於キマシテ、時ノ司法省ノ政府委員ハ既ニ説明サレタ如クニ、此誘惑ト云フ意味ニハ詐術ヲ用キルト云フコトガ本體デアリ、斯ウ云フ説明ガアルノデアリマス、是ハ敢テ私共深ク説明ヲ申ス迄モナク、既ニ司法部内ニ於テハ確定サレタル所ノ解釋ガ一定シテ居ルモノデアリマス、既ニ是ガ詐術ヲ用キテ人ヲ迷ハスト云フコトガ此字句ノ本體デ、其解釋ガ一定シタルモノデアラナラバ、之ヲ取テ場合ニ、此同盟罷工ヲ企テル所ノ人ミガ同盟罷工ニ加ハラズシテ、

勞働ヲ繼續シタイト希望スル所ノ善良ナル勞働者ヲ、如何ニシテ之ヲ保護ナサル積リデアルカト云フコトヲ私ハ反問致シタイノデアリマス、此點ニ付テハ私ハ委員會ニ於テモ、國民黨ノ諸君ニ反問ヲ致シテ御説明ヲ乞ヒマシタ、遂ニ適切ナル御答ノ無カタノ遺憾トシテ居ルノデアリマス、ノミナラズ、一體國民黨ノ諸君ハ、同盟罷工ト云フヤウナ事ヲ敢テ御獎勵ニナルコトハ無論アリマスマイガ、此事ニ向テ成ベ便宜ヲ與ヘル方ガ宜シイト云フヤウナ、勿論御考カラシテ此本條ノ撤回ヲ御主張ナサルノデハナイカト私ハ思フ點ガアルノデアリマス、併ナガラ私モ此勞働者ニ同情致シ、勞働者ノ行動ヲ自由ニ致シサウシテ彼等ノ生活ノ安定ヲ與ヘルト云フコトニ向テハ、私モ植原君ト同感デアリマス、併ナガラ勞働者ニ同盟罷工ト云フ事ヲスルコトヲ成ベク便宜ヲ與ヘ、之ヲ助長スルヤウナ態度ヲ執リマシタ結果、偶、以テ勞働者ガ自ラ陷ル所ノ弊ヲ自ラ造ルモノデナイカト私ハ思フノデアリマス、成程同盟罷工ヲスルコトハ、サウシテ其目的ガ達セラレカト云ヒマスナラバ、一時ハ勞働者ハ其賃銀ノ値上ヲ得テ、或ハ一時満足スルカモ知レマセヌ、併ナガラ同盟罷工ハ頻發シテ、而シテ資本家ガ其資本ヲ用井ル所ナクシテ、或ハ何レカノ一或ハ之ヲ外國ニ投下セシメルト云フヤウナ場合ガアタナラバ、如何ナル狀態ガ我が産業界ニ行ハレマスカ、既ニ國民黨ノ諸君ニシテ、此現在ノ我國ノ經濟組織ヲ根本カラ御否認ナサルト云フノナライザ知ラズ、今日ノ資本制度ヲ御承認ニナルト云フ上ニ於テハ、甚シキ壓迫ヲ資本家ニ加ヘテ、サウシテ其適當ナル資本ノ働ヲ要求スルト云フコトハ、是ハ無理ナル要求デアリマス、勞働者ニ便宜ヲ與ヘ、其生活ニ安定ヲ與ヘル途ヲ講ズルト同時ニ、資本家ニ對シテモ其資本ヲ安全ニ利用スルノ途ヲ與ヘ、相當ノ保護ヲ與ヘナケレバ、資本家ト云フモノハ其資本ヲ活動サセルコトハ出來ナイノデアリマス、故ニ此同盟罷工ト云フモノヲ獎勵スルガ如キ態度ヲ政治家ガ執ッテ、而シテ資本家ニ甚シキ壓迫ヲ加ヘタ場合ニハ、資本家ガ其資本ヲ適當ニ利用シナ場合ハ、即チ産業ハ段々ト萎靡衰頹スルト云フヤウナ狀態ニナタナラバ、即チ國家ノ不利益ノミナラズ、資本家ノ不利益ノミナラズ、即チ勞働者ハ其職ヲ失フト云フコトハ當然デアリマス、近時歐米ノ勞働問題ニ對スル趨勢ハ、此失業ト云フ事ニ向テ頗ル思フ致シテ居ルコト云フコトハ、植原君モ御承知ノ通りデアリマス、斯ル場合ニ於テ、私ハ此同盟罷工ト云フコトヲ否認スル者デハアリマセヌ、已ムヲ得ナイ一種ノ出來事トシテ、又勞働者ガ已ムヲ得ナイ場合ニ、自分ノ主張ヲ貫徹スル所ノ一ツノ武器トシテ、已ムヲ得ナイモノトハ認メマス、併ナガラ出來得ルナラバ同盟罷工ト云フモ

ノ、無カラントヲ希望スル者デアリマス、此同盟罷工ヲ頻發セシメルヤウナ事ヲ致シ、ソレヲ救済スルノ手段ヲ執ラズ、之ニ向テ相當ナ取締ヲスルコトヲシナカトナラバ、先程申サユウニ資本家ハ其資本ヲ埋藏致シ、隨テ産業ハ萎靡不振ニ陥ッテ、失業者ガ簇出スルト云フコトハ當然ノ事態デアリマス、斯ル場合ニ於テ此十七條ヲ全然御削除ナサルト云フコトニ至テハ、私ハ甚ダ其結果ヲ憂ヘザルヲ得ナイノデアリマス、加之今一箇條申添エタイ事ハ、此同盟罷工ニ向テ全然何等ノ取締ヲシナイト云フコトハ、是ハ資本家ヲ苦メルノデアリマス、即チ其事柄ニ依リマシテハ、水道ノ如キ、瓦斯ノ如キ、電車ノ如キ、鐵道ノ如キ、最も社會公衆ト密接ノ關係ノアル事業ニ於テ、同盟罷工ニ向テ何等ノ制裁ヲ加ヘナイト云フコトデアリマシタナラバ、其結果ハ社會ニ不安ヲ與ヘ、公衆ニ不利益ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ明白ナ事デアリマス、故ニ歐羅巴ニ於キマシテモ——勞働問題ノ最モ進シタル歐羅巴ニ於キマシテモ、斯ル事柄ニ取ッテハ、隨分強イ制裁ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、私ハ今一々サウ云フ實例ヲ舉ゲマセヌガ、御承知ノ如クニ亞米利加ニ於キマシテモ、交通妨害禁止法ト云フヤウナモノガアリマシテ、若シ此交通運輸ノ事ニ妨害スルヤウナ同盟罷工ヲ爲スナラバ、ソレニ向テ隨分強イ制裁ヲ加ヘラレデアリマス、即チ十一萬弗ノ罰金、若クハ十年以下ノ禁錮ト云フヤウナ制裁ヲ加ヘル所ノ法律ガ出來テ居ルノデアリマス、而シテ獨リ是ハ亞米利加ニ於テノミデハアリマセヌ、英吉利ニ於キマシテモ、獨逸ニ於キマシテモ、是等一般公衆ニ關係ノアル事柄ニ向テ同盟罷工ヲシタ場合ニハ、相當ナ制裁ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、是ハ洵ニ已ムヲ得ナイ事デアラウト思ヒマス、若シ此治安警察法ノ十七條ヲ全然撤廢致シテ、之ニ代ルベキ何等ノ制裁法ガ無イト致シマスナラバ、今歐米各國ニ於テ行ハレル鐵道交通ノ如キ事柄ニ對シテモ、尙ホ同盟罷業ニ向テ制裁ヲ加ヘナクテ宜イト御論斷ニナルヤウナ結果ニ至ルデアリマセヌ、是ハ洵ニ歐米ノ勞働問題ノ趨勢ニモ相反シタ御議論ニナリハシナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、斯ノ如クニ何レノ點カラ見マシテモ、此治安警察法ノ第十七條ヲ存置シテ置クト云フコトハ、最も必要ナ事デアリマシテ、他ノ先程申シタ二箇條ノ趣意ニ付キマシテハ、大體其主義ニハ賛成デアリマス、先程申シマシタガ、第三ノ十七條ノ撤廢ニ付テハ、私ハ根本的ニ國民黨ノ提案ニ反對ヲ致スノデアリマス、併ナガラ私ハ此十七條ノ點ニ付テ根本的ノ反對ヲ聲明致シマシテモ、永久ニ此法律ノ存在ヲ必要トスル者デアリマセヌ、此點ニ向テ私ハ寧ろ政府ニ向テ、一ノ希望ヲ申述べテ置キ

タイと思ヒマス、即チ政府ニ於テモ、遠カラズ労働組合法若クハ労働仲裁法ノ制定ニ向テ、折角御詮議中デアルト信ジテ居リマス、是等ノ點ニ向テ即チ労働者ト資本家ノ關係、又同盟罷業ヲ適當ナル範圍ニ於テ制限ヲ致スト云フヤウナコトニ付キマシテハ、更ニ慎重ニ研究ヲ加ヘテ、歐米ノ趨勢ハ勿論、殊ニ我國ノ現時ノ狀態ニ對シテ、適切ナル立法ヲ速ニ御制定ニナル時期ガ、一日モ早カラシコトヲ希望スルモノデアリマシテ、斯ル適當ナル法制ガ出来マシタ後ニ於テハ、勿論私モ此十七條ノ撤廢ニ決シテ異論ヲ申スモノデハナイノデアリマス、故ニ私ハ最後ニ於テ希望ヲ政府當局ニ致シテ、此演壇ヲ降ルコトニ致シマス(拍手)

○副議長(粕谷義三君) 是デ討論ハ終結致シマシタ、採決致シマス、右四案ノ中一ノ宮案ニ付テ採擇致シマス、一ノ宮案ノ第二讀會ヲ開クコトニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔賛成者 起立〕

○副議長(粕谷義三君) 多數デアリマス、第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定アラシコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ勸議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

治安警察法中改正法律案

第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 別ニ御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)他ノ三案ノ中一ノ宮案ト同一ノ點ガアリマス、此點ハ既ニ議決ニナリマシタカラ、之ヲ除キタル他ノ部分ニ付テ三案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス

〔反對ト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 右三案ノ第二讀會ヲ開クニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者 起立〕

○副議長(粕谷義三君) 少數デアリマス、三案共第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマシタ

○尾崎行雄君 此際皇居ノ正門ニ起タル出來事ニ付テ、内務大臣ノ報告ヲ求ムル爲ニ日程ノ變更ヲ求メマス

〔賛成ノ聲起ル〕

○副議長(粕谷義三君) 尾崎君ヨリ緊急質問ノ申出ガアリマシタ、是ハ御成規ノ賛成ガアリマス、仍テ議事日程ヲ變更スルヤ否ヤヲ御諮リ致シマス

○岩崎勳君 日程ノ變更ニ同意ヲ表シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 日程變更ニ御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更サレマシタ

〔尾崎行雄君登壇〕

○尾崎行雄君 吾々臣民トシテ實ニ慄然トシテ恐懼シナケレバナラズ驚クベキ出來事ガ、皇居ノ正門ニ起タル承テ居リマス、恐多クモ 陛下ノ御住居ニナテ居ル皇居ノ正門ニ、肉ト血ヲ澀イデ上奏文ヲ奉タト云フガ如キハ、吾々未ダ承テコトノナイ聖代ノ一大不祥事件ト存ジマス、斯ノ如キ前例無キ非常ナル事件ガ起タ時ニハ、臣子タル者ノ本分トシテ、其上奏文ナルモノハ、朝廷ニ向テ如何ナル事ガ書イテアルカ、又國家ノ現狀ニ對シテドウ云フ心ヲ持テ居タルデアルカ、其人ノ如何ニ拘ラズ、一身ヲ抛テ上奏スルト云フコトハ人生ノ最大事件デアタル、而モソレガ皇居ノ正門ニ起リ、紅血ヲ正門ニ澀グト云フニ至テハ、實ニ驚クベキ事デアタル、凡ソ斯ノ如キ事態ガ我が帝國ニ於テ起タ場合ニ於テ、當局ノ大臣タル者ハ一刻モ早ク議院ニ報告ヲ致シ、朝廷ノ爲ニ憂ヒ、國家ノ爲ニ憂フル所ノ臣子ヲシテ其實情ヲ知ラシメ、安ンズル所アラシムベキ筈デアルノニ、是マデ待テ居テモ一切報告ヲセズ、恬然トシテ相關セザルガ如キ體面ヲ致シテ居ルト云フニ至テハ、實ニ驚クベキ人ト申サナケレバナラズ、是ニ於テ木員ハ已ムヲ得ズ日程ノ變更ヲ求メ、當局大臣ノ細カナル報告ヲ求ムルノ必要ニ迫ラレタノデアリマス、吾々各質問セズトモ自ら進ンデ十分ナル説明ヲ爲サルノガ、當局者タルモノ、朝廷ニ對シ國民ニ對スルノ一大責任ト謂ハナケレバナラズ(拍手)併シソレハ當局者ガ其責ヲ感ゼストアレバ致方ガナイ、故ニ私ハ已ムヲ得ズ問ヒマス

ガ、第一エ其事件ノ顛末ノ真相ヲ有ノ儘ニ報告ヲ願ヒタイ、第二ニハ自殺者ノ爲人、性格等ガ分テ居ルナラバ、其分テ居ル程度マデ残り包マズ御報告ヲ願ヒタイ、何故ナラバ世間ニ傳フル所、殊ニ一部ノ人ハ直ニ之ヲ狂人ト言ヒ、或ハ無賴漢ト傳フルガ如キ、不思議ナル勸ヲ致シテ居ル者ガ確ニ此世ノ中ニ在ル、如何ナル人デアラテモ上奏文ヲ捧ゲテ、爆彈ヲ持テ已ノ身體ヲ爆發セシムルト云フコトハ、非常ナル事件デアリマス、死ハ總テノ罪ヲ滅ボスト承テ居ルガ、斯ノ如キ場合ニ於テ其素性ノ正確ナルヤ否ヤハ分リマセヌガ、直ニ狂人、或ハ無賴漢ナド云フコトヲ傳フル如キ浮薄漢、君國ノ何者タルヲ解セザル者ガ我帝國ニ多々有ルト云フニ至テハ、實ニ驚カザルヲ得ナイ(拍手)故ニ分ル

ナラバ其性格ヲ分テ居ルガデ宜シイ、或ハ偵察詳カナラズシテ未ダ何事モ存ジナイカモ知レヌ、ナケレバ止ムヲ得ヌカヲ知テ居ルガデ包マズ御話ヲ願ヒタイ、第三ニハ其捧ゲントシタル所ノ上奏文、一命ヲ範メテ血ヲ以テ捧ゲタル所ノ上奏文、如何ナル事ガ書イテアルカ(笑聲)何ヲ笑フカト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 靜ニ

○尾崎行雄君(續) 朝廷ニ對シテハ如何ナル思想ヲ持テ居ルノデアルカ、今日ノ國狀ニ對シテハ何等ノ考ヲ持テ居ラデアルカト云フコトハ、是ハ餘程ノ重大事件デアリマス、一人ノ死ハ輕イ、併ナガラ今日ノ時勢ヲ見マスルト、容易ナラヌ事ガ頻々トシテ起ル、疑ニハ東京驛頭ノ凶變アリ、今ハ皇居ノ正門ニ向テ血ヲ澀グ者ガ有ル、之ヲ唯、一人一個ノ所業デアルト見テ冷淡ニ扱フ者ハ、亦時代民心ノ變化ヲ察スルコトヲ知ラナイ者共デアル(拍手)斯ノ如キ人ノ出ル其裏ニハ、一世ノ空氣ガサウ云フ人ヲ激成シテ此舉ヲ爲サシメザルヲ得ナイヤウナ空氣ガ、何レノ方面ニカ隨分濃厚ニ横ハテ居ルト云フ事位ハ知ラナケレバナラズ(拍手)是等ハ皆梅花開イテ一輪ノ梅花ト雖モ開ケバ春ハ隨テ來ルノデアアル、霜ヲ履メバ堅氷ハ到ルノデアリマス、此一人一個ノ非常ナル事件ニ對シテ其裏ニ何ガアリ、續イテ何ガ來ルト云フコトヲ考ヘナイ、時勢民心ノ趨ク所ヲ解セザルニ至テハ、連モ政治ヲ談ズルニ足ラザル人ミデアリマス(拍手)故ニ願クハ彼ガ捧ゲタル所ノ上奏文其儘ヲ、此議場ニ御報告アラシコトヲ希望致シマス(拍手)

〔國務大臣床次竹二郎君登壇〕

○副議長(粕谷義三君) 靜ニ

○國務大臣(床次竹二郎君) 昨日二重橋正門前ニ於キマシテ自殺者ガアリマシタ、國民ノ最モ尊敬スベキ場所ヲ瀆スニ至リマシタ事、洵ニ當局トシテハ恐懼ニ堪ヘナイ次第デゴザリマス、茲ニ今日マデ調査ノ結果知リ得マシタ事實ノ真相其他本人ノ身分ニ關スル事等ヲ御報告致シマス、昨日ノ午後一時過宮城二重橋際ニ於テ、折柄附近ニ拜觀者モ多數ゴザリマシタ、其中ヨリ突如トシテ一壯漢ガ躍リ出デマシテ、二重橋ヲ渡テ正門ニ向テ驅ケ入ラント致シマシタ、當時同所附近ノ取締ニ當テ居リマシタノハ、日比谷警察署勤務巡查渡邊一治ト申ス者デアリマス、之ヲ認メテ直ニ追跡致シマシタ、同人ハ橋ノ半程ヨリ「直訴」ト連呼致シツ、遂ニ御承知ノ正門前ニ歩哨ガアリマスガ、歩哨前ヲ驅ケ拔ケマシテ、通用門ヨリ宮城内ニ闖入セントスル有様デアリマシタ、正門ノ方ハ平素締切ラレテ居リマス、其時勤務中ノ歩哨ガ之ヲ阻止致シマシタ、同人ハ豫テ懷中ニ用意致シ

マラタ縣二點火シテ居、タノデアリマシテ、火藥ノ臭氣甚シク、且同人自ラ「爆彈々々ブナイ」ト絶叫ヲ致シマシタノデ、歩哨等ハ之ヲ遠巻ト致シタノデアリマス、時ニ同人ガ俯伏シタリマシテ、其同時ニ轟然タル音響ヲ發シテ白煙ガ立昇リ、瞬間ニ於テ五臟露出シテ、茲ニ自殺ヲ遂ゲマシタル慘狀ヲ呈シタノデアリマス、二重橋ノ警戒ハ二重橋内正門ノ外ニハ近衛兵ヨリ歩哨ガ出テ配置サレタアリマス、二重橋ノ前ハ行幸啓又ハ貴賓參内等、警衛警戒其他多數人ノ集合ニ對スル、特別ノ警戒ヲ要スルヲ認メラレ場合ニ於キマシテハ、臨時適當ナル正服私服ノ警察官ヲ配置シテ警戒ヲ致スノデアリマス、平素ニ於キマシテハ、馬場先門内ニ巡查派出所ガゴザイマス、此派出所ニ勤務致シテ居ル者ヲ、交互ニ二重橋前ニ出張テ取締ニ當ラシテ居ルノデアリマス、此取締ハ二重橋前拜觀者ニ於テ、不敬ナリ不謹慎ノ行動ノナイヤウニ、又同廣場ニ猥リニ車馬ヲ乗入ル、事ナイヤウニト云フコトヲ主眼トシテ、警察ノ任ニ當テ居ルノデアリマス、即チ昨日ハ別段異タル事モゴザリマセ、單ニ多數ノ二重橋外ニ拜觀者ガ居リマシテ、前申上デマシタ渡邊巡查ガ勤務シテ居リマス、一臺ノ自轉車ガ二重橋前廣場ノ方向ニ進デ參ルノガデアリマス、ソレヲ制止致シテ居ルニ居テ、際デアリマシタ、多數拜觀者ノ中ヨリ二重橋橋上ニ向テ驅ケ出シテ參タ者ガアルノヲ認メテ、直ニ追跡致シテ正門前ニ參リマシタ、歩哨ト共ニ門内ニ闖入セントスルノヲ制止致シタノデアリマス、所ガ丁度通用門ト歩哨ノ位置トノ間位ニ石垣ノ脇ニ於テ、前申シタヤウナ次第ニ自殺ヲ遂ケルニ至リタノデアリマス、此人ハ藤田留次郎ト云フ者デアリマシテ、前後ノ事情ヨリ察シマス、豫メ覺悟ヲ致シテ居タノト認メマス、前申ス如ク他ニ危害ヲ加フルノ意思ナドハ毫モ無カタモノト思ハレマス、爆彈ノ危險ナル事ヲ叫ンデ怪我人ノ無イヤウニ注意致シタモノト思ハレマス、事情ハ斯ノ如クデゴザイマス、尙ホ今日迄取調ベ得マシタ所ニ依リマス、此藤田留次郎ナル人ハ、本籍ハ滋賀縣伊香郡ノ人デアデ、現住所ハ神田區東紺屋町火ノ番小屋ノ中ニ住テ居、當年三十八、本人ハ明治四十年三月三滿洲ニ參リマシテ、大連ニ於テ土木工事ニ從事シテ、爾後土工ニ引續イテ從事シテ居リマシテ、大正三年ノ十一月ニ青島ニ渡リマシテ、此所ニ於テ諸種ノ事業ニ手出シテ致シタウデアリマス、何レモ失敗ニ終リ、其結果妻トモ離別スルニ至リ、大正五年ノ三月朝鮮ニ轉ジ、同ジク六年更ニ内地ニ戻リマシテ、ソレカラハ大阪、名古屋、東京、北海道、樺太等ヲ浮浪シテ居、タ様子デアリマス、大正九年ノ八、九月頃ヨリ十年五月上旬迄ハ、神田三河町——槍ト申シマス「トヨ」ト云フ人ノ家ニ同居致シタ、其時分ニハ度々青年會

館其他ニ於ケル政談演說ノ傍聴ニ出掛ケ、或ハ普選其他ノ民衆運動ニ亦豫メ掛ケテ參加シタ事實アリマス、昨年ノ二月十九日、本院ニ内閣不信任案上程ノ當日ニ於キマシテハ、院外ニ於ケル民衆運動ニ參加シテ、檢束セラレタ事實ガゴザイマス、大正十年五月頃カラハ、北海道ニ居リマシテ、同年九月中ニ歸京ヲ致シテ、當時本人ハ非常ニ健康ヲ害シテ居リマシテ、友達共ニ對シテ、俺ハ梅毒デ困ル此先ニ少年位シカ生命ハ持タヌカモ知レヌナドト云フコトヲ零シテ少カラ悲觀致シテ居、タト云フコトデアリマス、歸京後北海道ニ出稼ヲ致シテ蓄ヘタ百二十三圓ノ金ヲ元手ニシテ、小間物ノ行商ヲ始メタノデアリマス、間モナク元金マデ無クシテシマヒマシタ様子デアリマス、大正十年ノ十一月ヨリ本月十一二日頃マデハ、神田ノ東紺屋町二十六ノ火ノ番小屋ニ居住ヲ致シテ、同町ノ火ノ番ヲ勤メテ居リマシタ、最近著シク健康ヲ害シテ益、世ノ中ヲ悲觀シテ、友達ノ新井貞次郎トカヒサ人トニ對シテ、全ク此世ガ厭ニナツ、一層死ニシマヒタイナド、口外ヲシテボンヤリ考ヘ込ンデ居、タコトモ屢、デアルト云フコトデアリマス、而シテ本年二月末頃ヨリ、何事カ熱心ニ背附クヲ致シテ居、タ、初ハ書類ヲ認メ始メマシテ、職務ノ火ノ番ノ方モ免角息リ勝トナリ、本月ニ至、テハ、全ク勤務モシナイ有様デア、タト云フコトデアリマシタ、斯ノ如ク本人ハ健康勝レズ、餘命幾許モナイト云フコトヲ自覺シテ、將來ノ餘程悲觀シタ精神狀態ニ陥、テ居、タモノ、如クニ認メラ、ノデアリマス、本人ノ携帶致シテ居リマシタ上奏文ハ「天ニ奏聞シ奉ル」ト題シテアリマス、要領ヲ申上デマス、内ノ外ノ政策及憲法上ノ大改革ヲ要スル件數々アルガ樞要ノ地位ニ居ル者ノ利害ニ關シ當局容易ニ處決セザルニ依リ直願ノ行動ヲ執、テ自害ヲ致ス」ト斯ウ云フ前置デ、社會ノ組織思想ノ動搖等ヲ述ベテ、吾々ハ過激ノ主義デナイ、慨然「トアリマス、國ヲ憂フル所ノ革新主義デアルト、斯ウ認メデアリマス、此文ハ二十枚許リノ長文デアリマス、其中ノ主ナル事柄ヲ申上デマス、普選ノ斷行……

○國務大臣床次竹二郎君(續) 今後カラ申上デマス、其事ハ後カラ申上デマス、今私ガ申上デテ居ル最中——普選ノ斷行、貴族院及華族制度ノ改革、言論集會結社ノ自由、國政紊亂病ニハ如何ナル醫藥ヲ投ズベキカ、民族ヲ防護シ社ヲ文化ニ活用サレタシ、宗教ヲ改革シ、現代化ノ刷新活用セラレタシ、惡差別ナル資本制度ノ改革、下級社會ノ事トシテ不法極マル一例、是ハ北海道ニ於ケル土木工事場ニ、惡周旋業者等ガ労働者ノ待遇ヲ惡ク致シテ居ルコトヲ非難シテ居、ソレカラ常備兵ヲ縮小シ、軍器軍需品ヲ完備セヨナドト云フヤウナコトヲ論議致シテアリマス、右ハ上奏文ノ大要デゴザイマス、此所ニ上奏文本文ヲ其儘朗讀ヲ致シマス、ト云フコトハ、事件搜查ノ必要上、只今ハ致シ兼キマス、秘密會ノ席ニ於テ全文ヲ申上ゲルコトニ致シタウデアリマス、公開ノ席ニ於テハ、此程度ニ止メテ置キタウデアリマス、而シテ秘密會ニ入ル前ニ、尙ホ此所ニ申上ゲテ置キタイコトハ、此上奏文ヲ讀ミマシタ所デ、皇室ニ對シ本人ニ於テ何等不平不滿ヲ持ツヤウナ意思ノ無イト云フコトハ明デゴザイマス(拍手)ソレカラ他人ニ危害ヲ加フルト云フ考モ有テ居ラヌト云フコトハ、先程申上ゲタコトニ於テ明カデゴザイマス、大要右ノ通りデゴザイマス、此上ハ御要求ガゴザリマス、秘密會ニ於テ本文ヲ全文申上ゲル事ニ致シタウデアリマス(拍手)

○尾崎行雄君 私ハ上奏文全部ヲ承リタイト思ヒマス、秘密會ヲ求ムルト求メヌトハ當局者ノ隨意デアリマス

○三木武吉君 議事ノ進行ニ關シテ發言ヲ求メマス、只今內務大臣ノ御說明ノ中ニ、上奏文全體ヲ朗讀スルニハ、秘密會ノ席上ナラバト云フ御話ガアタヤウデゴザイマス、私共豫算委員會ヲ傍聴致シマシテ、右ハ上奏文ナルモノノ全文ヲ拜聽致シマス、大點ニ於テソレハ國民一般ニテモ、敢テ公安ヲ害スルコト、秩序ヲ破ルコト、善良ノ風俗ニ害ガアルト云フヤウナ虞ガ無イモノト認メマス、右様ノ次第デアリマス、國民ノ間ニ存スル疑惑ヲ一掃スル爲ニモ、寧ロ此際國民全體ヲシテ、其事實ノ真相ヲ知ラシメルコトガ、免ニ角適切ナル處置ヲシテ、其事實ノ真相ヲ知ラシメルコトガ、於テ、上奏文ノ全文ヲ朗讀セラレンコトヲ望ミマス、併シ特ニ或事情ノ爲ニ祕シナケレバナラナイト云フヤウナ事柄ガアルト當局デ御覽ニナルナラバ、特ニ其點々ハ秘密會ニ於テ朗讀スルコトヲ致シテモ、其外ノ事ハ、全部公開ノ席ニ於テ朗讀セラレンコトヲ希望致シマス

○武藤金吉君 只今尾崎君ヨリ上奏文ノ朗讀ハ、秘密會ヲ開イテ聽キタイト云フ御要求ガアリマシタ、ソレカラ又只今三木君ノ御話ノ中ニ在リマシタ、政府當局ニ於キマシテモ、搜查ノ關係上、或時機ニ於テハ公表シテ差支ナイト云フコトヲ、豫算委員會ニ於テモ聲明サレテ居ルノデアリマス、故ニ此場合ハ尾崎君ノ御要求通り、秘密會ヲ開イテ朗讀セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 武藤君ニ御尋ネ致シマス (此時發言スル者多シ)

○副議長(粕谷義三君) 靜ニ——尾崎君ハ別ニ秘密會ハ要求サレタノデアリマセヌ、若シ其內容ヲ朗讀スルト云フコトニ付テ、政府ガ秘密會ヲ要求スルナラバ、ソレハ妨ゲガナイ、自分ハ唯茲ニ其事ヲ政府ガ報告サルコトヲ

望ムト、斯ウ云フ意味デアリマス、又三木君ノ申出ハ、一己ノ御意見ト思ヒマス、政府ガドウシテモ此問題ヲ公開ノ席上ニ於テ述ブルコトハ差支アリトスルナラバ、已ムヲ得ナイト思ヒマス——内務大臣ハ秘密會ヲ要求シテ、只今ノ上奏文ヲ御朗讀ニナリマスカ、内務大臣

〔國務大臣床次竹二郎君登壇〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 折角御希望ノ方モアリマスルノニ、應ゼラレヌコトハ甚ダ遺憾デゴザイマスルガ、大體本人ノ意思ト私ハ餘リ間違テ此所へ御報告シテ居ル積リデアリマス、其内容ニ立入テ今日茲ニ之ヲ公開ノ席デ申上デルコトハ、事件捜査ノ上ニ差支ヘルト認メマスカラ、甚ダ御希望ニ應ジ兼ネルコトハ遺憾デアリマスケレドモ、御斷リヲ致シマス

○尾崎行雄君 公開ノ席上デ讀ムコトハ捜査ニ差支ヘルナラバ、内務大臣ハ秘密會ヲ御求メニナラ宜カラウト思ヒマスルガ何レニ致シマシテモ、既ニ豫算委員會ニ於テ讀シタモノヲ、此本會ニ於テ讀マスト云フ理由ハ無イノデアリマス——(此時發語スル者多ク聴取スル能ハス)——事件ハ斯クノ如ク重大デアアル、委員會ヨリカ、本會ノ方ニ報告スルガ本來デアアル、小サナ豫算委員會ニハ讀シタ、本會議ニハ讀マスト云フコトハ、本末ヲ顛倒シテ居ル、全體ニ對シテハ不信任デアアルガ、豫算委員會デケテ信ズルコト云フガ如キコトハ、如何ナル次第デアアルカ、内務大臣ノ意見ヲ問ヒマス

○副議長(粕谷義三君) 只今政府ヨリ秘密會ノ要求ガアリマシタ、就テハ傍聴人ノ退場ヲ命ジマス——是ヨリ秘密會ヲ開キマス——事件ノ捜査ノ上ニ必要カラ致シマシテ速記ヲモ中止ノ要求ガアリマシタ、是ハ已ムヲ得ナイコト、考ヘマスノゾ、速記モ中止致サセマス

〔午後七時一分秘密會ニ入ル〕
〔午後七時五十六分秘密會ヲ了ル〕
○副議長(粕谷義三君) 是ヨリ會議ヲ公開致シマス
〔議長「議長」ト呼フ者アリ〕
○副議長(粕谷義三君) 一寸御待下サイ——横山勝太郎君

○横山勝太郎君 極テ簡單デアリマスカラ、此席カラ發言ヲ御許シテ願ヒマス、昨日ノ宮閣正門前ニ於ケル慘事ニ對スル質問ノ結果、所謂上奏文ナルモノヲ、秘密會ノ會議トハ云ヘ、吾々國民ノ代表者ノ前ニ全部御朗讀ニナタト云フ當局ノ公明ナル態度ニ對シテハ、私一應ノ感謝ヲ致シマス、從來斯ノ如キ不祥事件ノアタ場合ニハ、一切萬事秘密ニサレタデアリマスガ、今回ハ何ノ感ズル所アリテカ、之ヲ吾々ノ面前ニ朗讀セラレタト云フ事ハ、當局ニ向テ免ニ角私ハ敬言ヲ表シマス、之ニ關シテ極メテ簡單ニ承テ置

キタイト思ヒマスノハ、先刻ノ内務大臣ノ御話ノ中デハ、今後ノ捜査上之ヲ秘密ニスルノ必要ガアルト云フ意味ノ御言葉ガアリマシタガ、然ラバ此事案ニ對シテハ、尙ホ他ニ幾多ノ共謀加擔ヲ致シテ居ル者ガアルト御認ニナタテ居ルノデアリマスルカ、如何デアリマスカ、其點ヲ承リタイ(「無用」無用)ト呼フ者アリ(其次ニ承リタイノハ、只今佐々木君ノ御質問ニ對シテ、機ヲ見テ此上奏文ヲ閣下ニ奉ズルノ考ガアルト云フ御話デアリマシタガ、此上奏文ナルモノハ、國民一般ニ對シテ公表セラレ、ノ機アルコトヲ御考ヘニナタテ居ルカドウカ、之ヲ承リタイ、第三ニ承リタイノハ、只今御朗讀ニナタ上奏文ノ大體ヲ承リマスノニ、是ハ概シテ現内閣ノ諸公ニ對スル彈劾デアアル(「ノウ」)「ヒヤ」(拍手)政府ハ如何ニ考ヘテ居ラルカ、此點ヲ伺ヒマス、或ハ普通選舉ノ問題、或ハ過激思想取締法ニ關スル問題ヲ始トシ、其他二三ノ直接行動ニ出デタル者アル事ヲ例示シテ、幾多ノ犠牲者ガアルト云フコトヲ書イテ居ルノデアリマス、即チ此上奏文ノ内容ハ吾々各人ノ此席ニ於テ指摘スルコトヲ致シマセマカ、併ナガラ概シテ現内閣ノ諸公ニ對スル一大彈劾デアリマス(「ヒヤ」)「ノウ」(拍手)之ニ對シテ如何ニ考ヘテ居ラレマスカ……

○副議長(粕谷義三君) 横山君ニ注意致シマス、質問ノ要旨ヲ御述ベ下サイ

○横山勝太郎君(續) 其ノ次ニ承テ置キタイノハ、近時頻々トシテ我が帝都ニ流血ノ慘事ヲ見ル、例ヘバ東京驛頭ノ一大慘事ノ如キ、又今回ノ事柄ハ内務大臣ガ公開ノ席デ聲明セラレタル通り、人ニ害ヲ及ボスノ意思ヲ持テ居ナカッタコトハ明瞭デアリマスケレドモ、免ニ角宮閣正門ノ前ニ於テ、縱令自殺ニセシ、血ヲ流スノ慘事ヲ見ルコトハ、上帝室ニ對シ、又吾々國民トシテモ、洵ニ遺憾ニ堪ヘナイ事デアリマスルガ、併シ斯ノ如キ慘事ガ頻々トシテ起リマスガ、之ニ對シテ當局ハ如何ナル策ヲ以テ斯ノ如キ事ノ無カラシコトヲ期スルカト云フコトヲ承リタイ、私ノ考フル所ニ依レバ、現内閣ノ存スル限り、斯ノ如キ慘事ハ頻々ト云フ起ルト思フ(煽動スルナ、教唆スルナ)ト呼フ者アリ(第五ニ承リタイノハ、木員ハ過日帝都ノ公安ニ關スル質問ヲ内務大臣ニ對シテ提出ヲ致シマシタ、其際ニ内務當局ハ帝都ノ公安ノ維持ニ關シテ終始努力ヲ致シテ居ルト云フコトヲ言ハレマシタガ、昨日復此事ヲ見ルニ至テハ、我内務當局ハ、帝都ノ公安維持ニ關シテハ、何等ノ手段方法ヲ執テ居ラナイモノデアルト言ハナケレバナラヌ、此等ノ事項ニ關シテ、叮嚀ナル御辯明ヲ得タイト考ヘマス(辯明スル必要ナシ)「相手ニナリ必要ナシ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ)

〔國務大臣床次竹二郎君登壇〕

○國務大臣(床次竹二郎君) 御答シマスガ、第一ノ點ハ捜査上必要ガアルト申シマシタガ、何カ共犯者デモアル見込デアアルカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ御答致スベキ筋デアアリマス(拍手)其次ニハ公表スル時ガアルカ、斯ウ云フ御尋ノヤウデシタ、是ハ只今捜査上ノ爲ニ秘密ニ致シテ置キマスカラ、其事件ガ止ミマスレバ、公表致シテ些トモ差支ゴザイマセヌ、ソレカラ其次ニ上奏文ノ内容ハ内閣彈劾ト心得ルガ、如何デアアルカ、是ハ私ヨリ御答スベキコトデアアリマセヌ、銘々ノ考ヘル所ニ依リヨリ外ハナイ(「ヒヤ」)「其通り」ト呼フ者アリ(其次ハ斯クノ如キ事件ヲ如何ニシテ當局ハ止ムルカ斯ウ仰シヤウデアリマスガサウデアリマスカ

○横山勝太郎君 斯ウ云フ事ガ頻々起ルガ、ソレヲ起ラナイヤウニスル方法ニ付テ、何カ御考ガアルカト云フノデス

○國務大臣(床次竹二郎君) 成程、ソレヲ御答致シマス、斯様ナ事ガ起ラヌヤウニスルノハ、御質問ノ御趣意デアルト内閣ガ罷メデモシタラ良イノデハナイカト、斯ウ云フヤウニ一寸承リマスガ、ソレハ御意見トシテ御答ハ致シマセヌ、ソレカラ帝都ノ公安維持ニ如何ナル手段ヲ執テ居ルカト云フコトハ、今日相當ニ注意ヲ致シテ居リマス、ソレカラ此事件ニ付テハ、警察ガ如何ニ行動ヲシテ居ルカト云フコトハ、先程申上ゲタ所ニ依テ御了解下サルダラウト思ヒマス(拍手)

○岩崎勳君 日程第二十ヨリ第五十二ニ至ル建議案ハ全部延期シ、直ニ日程第五十三以下ノ委員長ノ報告ヲ審議セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成「贊成」ト呼フ者アリ〕
○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、即チ日程第五十三第二期治水計畫確立ニ關スル建議案ヲ議題ト致シ、委員長ノ報告ヲ求メマス——川原茂輔君

第五十三 第二期治水計畫確立ニ關スル建議案(川原茂輔君外三名提出) (委員長報告)

報告書
一 第二期治水計畫確立ニ關スル建議案(川原茂輔君外三名提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十一年三月十一日
第二期治水計畫確立ニ關スル建議案委員長
川原 茂輔

衆議院議長奧繁三郎殿

〔川原茂輔君登壇〕

○川原茂輔君 第二期治水計畫確立ニ關スル建議案ノ
委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、委員會ヲ開キマ
シタコトハ二回ニ渉リマシテ、政府ニ對スル質問モ詳細ヲ極
メ、而シテ遂ニ原案ノ通り滿場一致ヲ以テ賛成ヲ致シタノ
デアリマス、而シテ此金額ハ六十二大河南ニ於テ三億八千
五百万圓、二十箇年ニ於テ此計畫ヲ爲ススト云フコトニナル
ノデアリマス、此建議案ニ對シテハ、憲政會ノ野村君、其他
ノ各黨ヲ代表スル人ガ、悉ク賛成ヲ表セラレタノデアリマス、
仍テ滿場一致ヲ以テ此建議案ヲ可決致シマシタ、ドウカ御
賛成ヲ願ヒマス

○岩崎勳君 本案ハ委員長報告ノ通り可決確定アラント
ト望ミマス

〔賛成「賛成」下呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト
認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第五十四、農務
省新設ニ關スル建議案ヲ議題ニ致シマス、中倉万次郎君

第五十四 農務省新設ニ關スル建議案
(中倉万次郎君外八名提出)
(委員長報告)

報告書
一農務省新設ニ關スル建議案(中倉万次郎君外八名
提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

大正十一年三月十六日

農務省新設ニ關スル建議案委員長

中倉万次郎

衆議院議長奥繁三郎殿

〔中倉万次郎君登壇〕

○中倉万次郎君 報告致シマス、本案ハ農務省新設ニ關
スル建議案デアリマス、此提出ノ理由ニ付キマシテハ、提出
ノ際ニ提出者天春君ヨリ詳シク述べテアリマスカラ之ヲ略
シマス、此建議案ハ重大ナル國策ヲ立ツル案デアリマス、カ
ラ、委員會モ極ク深切ニ調査ヲ致シマシテ、總理大臣ノ出
席ヲ求メマシテ、其意見モ質シタノデアリマス、其結果委員
會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、未ダ御手許ニ速記
ガ廻リテ居ラナイト思ヒマス、其應答ノ大要ヲ摘シテ、茲
ニ一言申上ゲテ置カウト思ヒマス、此案ニ付キマシテ總理
大臣ノ出席ヲ求メマシテ、天春君ヨリ此建議案ノ趣旨、又

農務省新設ノ急務ナルコトヲ述ベテ意見ヲ問ヒマシタル所、
總理大臣ハ趣旨ニ於テハ自分モ同感デアアル、又刻下ノ機宜
ニ適シタ問題デアアルノデアアル、併ナガラ此案ハ十分調査ヲ要
スル案デアアルカラ、今此處デ何時之ヲ實行スルト云フコトノ
御約束ハ出來ナイト云フヤウナ答ガアリマシタ、ソレヨリ段
段委員會中ヨリ是非臨時會モ開カレト云フコトデアアルカラ、
成ベク臨時會ニ於テ之ガ解決ヲ爲サユニ施設シテ貰ヒタ
イト云フヤウナ要求質問モアリマシタ、所ガソレニ對シマシテ
ハ、臨時會ハ今日開否未定デアアル、假ニ臨時會ヲ開クトシテ
モ、臨時會ノ性質ハ海軍整理其他ニ付テデアラ、或ハ斯様ナ
問題ヲ解決スルコトハ到底出來ナイト云フコトニナルカモ
知レナイ、ソレデ臨時會ニ此案ヲ提出スルト云フコトヲ御約
束スルト云フコトハ出來ナイト云フ答辯デアリマシタ、ソレカ
ラ憲政會ノ齋藤君ヨリ、非常ニ此案ノ急務ヲ希望シテ居ル
ノデアアルガ、此前豫算委員會ニ於テ國民黨ノ大口君ヨリノ
質問ニ對シテ首相ガ答辯セラレタノデ、非常ニ此案ニ付テ
モ希望ヲ屬シテ喜ンデ居ラノデアアルガ、今ノ答辯ハ少シ後
ニ戻ラユウナ感シガスル、是非共國民ノ全體ガ希望スル案デ
アルカラ、臨時會ノ際マデハ是非此案ノ解決ヲ希望スル
ト云フヤウナ押問答ヲ致シマシタ、ソレニ對シマシテモ先刻
述べマシタ通り、總理大臣モ此趣旨ニ於テハ全然賛成デア
アル、又實際實行ヲシナケレバナラヌト云フ考ハ持ッテ居ルノデ
アル、原前首相トモ生存中ニ此事ニ付テハ協議ヲ遂ゲタク
トモアルノデアアル、併ナガラ其計畫ニ付テハ閣議決定
シテ居ル問題デモナイノデアアル、併シ自分一個ノ意見トシテ
ハ、十二年度ノ豫算マデニハ成ベク此案ヲ實現セシムルヤウ
ニシタイト云フ考ハ持ッテ居ルノデアアル、併ナガラ之ヲ實行ス
ルニ付テハ、例ヘバ山林ヲ農務省ニ併セルコトニスレバ、
山林ハ治水關係ヨリ内務ニ屬スルヤウナ問題モアルノデア
アル、各省ニ關係ガアルノデアアル、二ツノモノヲ一ツツ、分ケル
ト云フヤウニ容易ク分ケラレルモノデナイ、ソレデドウシテモ
臨時會ニ提出スルト云フ御約束ハ出來ナイト云フ答辯デア
リマシタ、先ヅ大體カラ申シマシレバ、十二年度ノ豫算マデニ
ハ成ベク是ガ實現ヲスルヤウニシテ見タイト云フ希望ヲ持ッ
テ居ルト云フヤウナ總理大臣ノ答辯ガアリマシタノデ、委員
會デハ皆安心ヲシテ、ソレデ質問ヲ終ラレテ討論ニ移リマシ
タ所、政友會ノ田田君ガ原案賛成ノ演說ヲサレ、憲政會ノ
齋藤君ハ、首相ノ言明ハ洵ニ喜バシ、自分ハ田田君ノ贊
成演說ニ同意ヲスル、他ニ意見モナイト云フノデ、滿場一致
ヲ以テ本案ハ可決スルコトニナリマシタノデアリマス、此段
御報告致シマス

○岩崎勳君 本案ハ委員長報告ノ通り可決アラントヲ
望ミマス

〔賛成「賛成」下呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト
認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第五十五乃至
第八十四ハ諸願特別報告デアリマスカラ、例ニ依テ一括議
題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メマス

第五十五 (特別報告第二百六十一號) 賀
名生ノ宮創建ノ請願

第五十六 (特別報告第二百六十四號) 癩
兵及戰死者遺族ニ對スル生活
保全ノ請願外二件 (委員長報告)

第五十七 (特別報告第二百六十五號) 漢
方醫藥研究保存ノ請願 (委員長報告)

第五十八 (特別報告第二百六十六號) 日
光山ヲ國立公園ト爲スノ請願 (委員長報告)

第五十九 (特別報告第二百六十七號) 上
高地國立公園設置ノ請願 (委員長報告)

第六十 (特別報告第二百六十八號) 漁
港修築費國庫補助法制定ノ請
願 (委員長報告)

第六十一 (特別報告第二百六十九號) 聲
問川河口修築ノ請願 (委員長報告)

第六十二 (特別報告第二百七十號) 苦前
漁港並避難港修築ノ請願 (委員長報告)

第六十三 (特別報告第二百七十一號) 濱
田港修築ノ請願 (委員長報告)

第六十四 (特別報告第二百七十二號) 諸
寄港漁港修築ノ請願 (委員長報告)

第六十五 (特別報告第二百七十三號) 羽

幌漁港修築ノ請願

第六十六 (特別報告第二百七十四號) 湧

別川治水ノ請願 (委員長報告)

第六十七 (特別報告第二百七十五號) 根

室斜里間拓殖鐵道敷設速成ノ請願 (委員長報告)

第六十八 (特別報告第二百七十六號) 國

有林野ニ關スル請願外四十三件 (委員長報告)

第六十九 (特別報告第二百七十七號) 遠

洋漁業獎勵法及附屬命令中改正ノ請願 (委員長報告)

第七十 (特別報告第二百七十八號) 魚

市場法制定ニ關スル請願 (委員長報告)

第七十一 (特別報告第二百七十九號) 福

岡市ニ國立工業試驗場増設ノ請願 (委員長報告)

第七十二 (特別報告第二百八十三號) 口

總郵便局ニ集配事務開始ノ請願 (委員長報告)

第七十三 (特別報告第二百八十四號) 王

子郵便局管轄區内ニ無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第七十四 (特別報告第二百八十五號) 三

山木村三山木無集配郵便局ニ電信電話架設ノ請願 (委員長報告)

第七十五 (特別報告第二百八十六號) 溫

泉村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第七十六 (特別報告第二百八十八號) 八

代郵便局ニ集配事務開始ノ請願 (委員長報告)

第七十七 (特別報告第二百八十九號) 六

合村ニ郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第七十八 (特別報告第二百九十號) 湯口

郵便局ニ集配事務開始並志戸平ニ無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第七十九 (特別報告第二百九十一號) 大

原村大字市場ニ無集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第八十 (特別報告第二百九十二號) 戸

ヶ崎郵便局ニ電信電話事務開始ノ請願 (委員長報告)

第八十一 (特別報告第二百九十三號) 明

治村ニ集配郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第八十二 (特別報告第二百九十四號) 網

干驛前郵便局ニ特設電話架設ノ請願 (委員長報告)

第八十三 (特別報告第二百九十五號) 田

澤村ニ郵便局ヲ設置シ電信事務開始ノ請願 (委員長報告)

第八十四 (特別報告第二百九十六號) 津

輕海峽ニ自働航送船増加ノ請願 (委員長報告)

特別報告第二百六十一號

意見書

請願文書表第一二一六號 賀名生ノ宮創建ノ請願 奈良縣吉野郡賀名生村和田五十四番地平民青木俊之呈出(紹介議員玉置良直君)

右請願ノ要旨ハ後村ニ後龜山ノ二天皇ノ御成徳ニ對シ其ノ靈ヲ慰メ奉ラムカ爲御舊蹟タル奈良縣吉野郡賀名生宮址ニ奉祠シ奉ルヘキ道ヲ請セラレタク依テ賀名生ノ宮ヲ創建セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百六十四號

意見書

請願文書表第一一七六號 瘞兵及戰死者遺族ニ對スル生活保全ノ請願 仙臺市定禪寺通稱丁四十八番地平民陸軍三等軍醫正山田令助外二十一名呈出(紹介議員伊澤平左衛門君)

同 第一一八七號

同上 東京市麻布區谷町五十九番地平民退役陸軍歩兵少佐中村中郎呈出(紹介議員石川玄三君)

同 第一一八九號

同上 福島縣若松市南町三百九十六番地平民退役陸軍歩兵中尉金子德三郎外三十九名呈出(紹介議員八田宗吉君)

右請願ノ要旨ハ國家ノ犧牲者タル瘞兵及戰死者ノ遺族ニ對シ生活ノ安定ヲ與フルハ國家ノ爲スヘキ當然ノ義務ナルノミナラス

彼等ニ精神ノ慰藉ヲ與フルノ方法トシテ最當ヲ得タルモノト謂フコトヲ得ヘシ依テ(一)瘞兵及戰死者遺族ノ子弟ニ對シ官公立學校ノ月謝ヲ免除スルコト(二)瘞兵及戰死者遺族ニ職業教育ヲ施スコト(三)傷痍記章ヲ固定教科書ニ掲クルコト(四)戰死者遺族ノ記事ヲ制定スルコト等ノ事項ヲ實施セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百六十五號

意見書

請願文書表第一一五六號 漢方醫學研究保存ノ請願 東京市本郷區眞砂町三番地平民新聞記者島田武男呈出(紹介議員志賀和多利君)

右請願ノ要旨ハ當今漢方醫學ハ藝術トシテ存在ヲ失ヒ延ビテ漢方醫藥モ亦衰滅ニ歸セムトス願フニ施藥ノ效果ニ於テハ昔ニ歐米醫藥ニ劣ラサルノミナラス難病持病ニ施シテ適ニ效果ノ偉大ナル點ヨリ觀ルモ其ノ間眞理ノ存スルヲ認メ得ヘシ依テ歐米醫藥ノ研究ノミニ委セシテ速ニ漢方醫藥研究保存ニ關シ適當ノ施設アリタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百六十六號

意見書

請願文書表第一〇八一號 日光山ヲ國立公園ト爲スノ請願 栃木縣上都賀郡日光町長石井信敬外四十六名呈出(紹介議員松岡俊三君)

右請願ノ要旨ハ日光ノ我カ國ニ於ケル一大樂園トシテ適當ナルコトハ今更言ヲ俟サルコトナリ然ルニ維新後ハ幕府瓦解ト共ニ其ノ存在ノ財源ヲ失ヒ宏壯ナル寺院堂宇ハ荒廢ニ傾キ且此ノ一帶ハ鬼怒川ノ水源地ニ屬シ大谷、稻荷兩川ノ間ニ在ルヲ以テ年年水害ノ厄ニ遭シ今ヤ全ク此ノ名勝ヲ將來ヲ憂慮スルニ至

リ依テ日光山ヲ國立公園ト爲スルニ共ニ更ニ開山一千二百年ノ歴史ヲ有スル關東ノ名山足尾庚申ノ奇勝ヲモ此ノ大公園ノ區域ニ抱擁シ以テ世界ノ遊園地トセラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百六十七號

意見書

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

請願文書表第一一二六號 上高地國立公園設置ノ請願 長野縣南安曇郡長手塚十五七呈出(紹介議員塚原嘉藤君)

右請願ノ要旨ハ長野縣南安曇郡上高地ハ信飛山脈ノ中間ニ介在シ梓川ノ上流ニ沿ヒテ延長數里海拔五千尺ノ高原地ニシテ御大典記念保護林一萬餘町歩ノ地籍ヲ占メ其ノ周圍ニハ給ヶ岳、穂高岳等ノ高峯重疊起伏スルヲ以テ實ニ天然ノ美ヲ誇ルニ足レリ依テ之ニ相當ノ設備ヲ加ヘ國民ヲシテ偉大ナル靈異ニ觸レシムル趣旨ニ於テ連ニ上高地ヲ國立公園トセラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百六十八號

意見書

請願文書表第一二二二號
漁港修築費國庫補助法制定ノ請願 岡山市野田尻町二百五十四番地平民水産業高草美代藏外四名呈出(紹介議員成田榮信君外二名)
右請願ノ要旨ハ政府ハ既ニ數箇ノ漁港修築ニ著手セラレタリ然トモ七千四百有餘哩ノ沿海漁民ニ對スル希望ノ達成ニハ前途遙遠ノ感ナキ能ハス於是乎漁港ノ修築ハ勿論漁港漁船曳揚場等ノ築設ニ當リ漁業組合等地方公共團體自ラ之ヲ爲サントシツアリト雖其ノ負擔ノ過重ナル容易ノ業ニアラス依テ該事業獎勵金トシテ國庫ヨリ相當補助セムカ爲河川法ト同様ナル國庫補助法ヲ制定セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百六十九號
意見書
請願文書表第一二二三號
聲問川河口修築ノ請願 北海道宗谷郡稚内町大字聲問村字コエトイ六百三十番地手米忍外百二十一名呈出(紹介議員員東武君)
右請願ノ要旨ハ北海道宗谷郡聲問原野ノ中央ヲ流ルル聲問川ハ流域二十里三十餘町其ノ附近一帶ハ地味肥沃ニシテ無量ノ礦藏美林之ヲ圍繞シ農耕適地二萬五千町歩在リ而シテ沿岸地方ノ生産物ノ激増ニ伴ヒ唯一ノ輸送機關トシテ聲問川ノ利用ノ效果ハ實ニ大ナリ然ルニ該川ハ近時時漂砂ノ爲河水ノ激減ヲ來シ將ニ河底ハ砂礫ヲ以テ埋没セラレトスル狀態ニ在リテ勢ヒ船舶ハ安全ナル碇泊ヲ爲ス能ハサル爲風浪ノ危險ヲ圖シテ外澳ニ碇泊スルノ止ムナキニ至レリ若此ノ儘ニ之ヲ放置セムカ物貨ノ輸出入杜絶シ住民ハ拱手離散ノ運命ニ達スルハ明ナリ依テ速ニ聲問川河口ヲ修築セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百七十號
意見書
請願文書表第一二二一號
古前漁港並避難港修築ノ請願 北海道古前郡古前村大字古
右請願ノ要旨ハ北海道古前郡古前港ハ天鹽國沿岸ニ於ケル唯一ノ良港ニシテ又地形的ニ優秀ナル灣形ヲ爲シ殊ニ魚族無限ノ日本海ニ面スルヲ以テ漁港設備ノ完全ハ此ノ際最緊要ナリ猶冬季船舶ノ避難所トシテ之カ修築ノ上ハ一躍水産界ハ面目ヲ一新スヘク加之天鹽國唯一ノ大農耕地ヲ背後ニ擁シ礦産ニ富ム連客亦採掘セラレムカ此處貨物ノ一大集散地現出スルハ豫測シ難カラス依テ速ニ本港修築設備ノ完成ヲ圖シテ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

前三十九番地長島泰藏外百十四名呈出(紹介議員東武君外一名)
右請願ノ要旨ハ北海道古前郡古前港ハ天鹽國沿岸ニ於ケル唯一ノ良港ニシテ又地形的ニ優秀ナル灣形ヲ爲シ殊ニ魚族無限ノ日本海ニ面スルヲ以テ漁港設備ノ完全ハ此ノ際最緊要ナリ猶冬季船舶ノ避難所トシテ之カ修築ノ上ハ一躍水産界ハ面目ヲ一新スヘク加之天鹽國唯一ノ大農耕地ヲ背後ニ擁シ礦産ニ富ム連客亦採掘セラレムカ此處貨物ノ一大集散地現出スルハ豫測シ難カラス依テ速ニ本港修築設備ノ完成ヲ圖シテ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百七十一號

意見書

請願文書表第一二八五號
濱田港修築ノ請願 島根縣那賀郡濱田町大字淺井七十三番地千葉小佐平外六百十九名呈出(紹介議員島田俊雄君)
右請願ノ要旨ハ島根縣那賀郡濱田港ハ縣下唯一ノ良港ニシテ又唯一ノ輸出港タリ從テ東日本ノ開發上同港ノ改修ハ一日モ之ヲ忽テ二附スヘカラサルモノナリ依テ速ニ濱田港灣ヲ修築セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百七十二號

意見書

請願文書表第一二九六號
諸寄港漁港修築ノ請願 兵庫縣美作郡西濱村長藤田治右衛門外四十三名呈出(紹介議員松山次郎君)
右請願ノ要旨ハ兵庫縣美作郡西濱村諸寄港ハ古來但馬三港ノ一ニシテ港内ハ深ク天然ノ良港タルヲ以テ商船ノ出入頻繁ニシテ遠近ノ物資ヲ集散シ恰モ貿易港ノ狀態ニ在リ然ルニ惜ムヘキハ港口稍廣ク冬季西北ヨリ幾來スル風波ノ爲漁船ノ碇泊困難ナルヲ以テ斯業ノ發展ヲ阻止スルノ虞アリ茲ニ適當ノ設備ヲ見ルニ至ラハ地方水産業ハ一躍進展ハ明ナリ依テ日本海沿岸ノ水産界促進ノ爲速ニ諸寄港ヲ漁港ニ修築セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百七十三號

意見書

請願文書表第一三〇一號
羽幌漁港修築ノ請願 北海道苫前郡羽幌町南大通二丁目十番地平民五十嵐治郎外百九十三名呈出(紹介議員東武君外一名)
右請願ノ要旨ハ北海道苫前郡羽幌町ハ西南ハ苫前村ニ東南ハ山脈ヲ以テ兩龍郡、上川郡名寄、士別ノ兩村ニ界シ西北ハ日本海ニ面シ明治初年以來漁民ノ移住ニ連レ年ト共ニ發展シ來リタリト

雖秋冬ハ西北風烈強ナレトモ避難地ナク是カ爲斯業衰退ノ年疲弊困憊ニ陥リ其ノ窮惜實ニ見ルニ忍ビサルモノアリ是單ニ漁民ノ不利不幸ナルノミナラス國家的見地ヨリシテ遺憾ニ堪ヘス依テ速ニ羽幌漁港ヲ修築セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百七十四號

意見書

請願文書表第一三〇二號
湧別川治水ノ請願 北海道紋別郡遠輕市街地公園通平民農三澤恒助外七十一名呈出(紹介議員木下成太郎君外一名)
右請願ノ要旨ハ北海道紋別郡湧別川ハ流域百三十三方里ニ亘ル大河川ナリト雖毎年洪水ニ因リ絶エス河身流域ヲ變更シ堤防ハ勿論廣大ナル耕地ヲ缺損流失スルコト算ナク其ノ慘狀言語ニ絶シ爲ニ該地方ニ於ケル産業ノ開發ハ得テ望ムヘカラサルモノナリ依テ速ニ前記湧別川ヲ調査シテ根本的治水策ヲ講セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百七十五號

意見書

請願文書表第一二二九號
根室、斜里間拓殖鐵道敷設速成ノ請願 北海道根室郡根室町兼古萬吉外百三十七名呈出(紹介議員木下成太郎君外二名)
右請願ノ要旨ハ北海道根室國ノ原野ハ農耕適地十五萬町歩ヲ存シ專ラ農ヲ業トスル者ハ優ニ一萬戸ヲ收容シ得ヘシト雖交通運輸ノ便未タ備ハラサル爲現在移住者一千三百戸ニ過キス之カ爲此ノ地ノ開發遲延トシテ進マシ徒ラニ豐饒ノ富源ヲ遺棄スルハ洵ニ遺憾ニ堪ヘス依テ拓殖進展上將又鐵道經營上根室ヨリ標津ヲ經テ斜里ニ至ル拓殖鐵道敷設セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百七十六號

意見書

請願文書表第九〇四號
國有林野ニ關スル請願 福島縣東白川郡鮫川村大字赤坂面野字名下八十一番地平民農須藤千代之助外十名呈出(紹介議員金澤安之助君)
同 第九〇五號
同上 福島縣東白川郡竹貫村大字竹貫字竹貫百二番地矢内森之助外九十五名呈出(紹介議員金澤安之助君)
同 第九〇六號
同上 福島縣岩瀬郡牧本村大字牧之内字矢中一番地鈴木勝吉外八十一名呈出(紹介議員金澤安之助君)

同 第九〇七號
同上 福島縣岩瀨郡長沼町大字長沼字豐町三十三番地平民
農和田廣之助外百十九名呈出(紹介議員金澤安之助君)
同 第九四三號
同上 福島縣石川郡蓬田村大字永田字上永田四十二番地平民
農館龜松外六十名呈出(紹介議員河野廣中君)
同 第九四四號
同上 福島縣田村郡都路村大字古道字新町二十八番地平民
農吉田廣吉外二十二名呈出(紹介議員河野廣中君)
同 第九四五號
同上 福島縣田村郡小野新町大字雁股田字麥二十九番地平民
農鈴木久吉外三十六名呈出(紹介議員河野廣中君)
同 第九四六號
同上 福島縣田村郡瀬川村大字大倉字本町百三十番地橋本
宗太外二百五十名呈出(紹介議員河野廣中君)
同 第九四七號
同上 福島縣田村郡及井村大字北田原井字樋口二十番地平民
農根本精外七名呈出(紹介議員河野廣中君)
同 第九四八號
同上 福島縣雙葉郡大堀村大字大堀字漆畑百二十五番地士
族農山田則三外十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九四九號
同上 福島縣雙葉郡野村大字立野百八十九番地平民農上
野菊松外九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九五〇號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九六一號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九六二號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九六三號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九六四號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九六五號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九六六號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九六七號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九六八號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九六九號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九七〇號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九七一號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九七二號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九七三號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九七四號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九七五號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九七六號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九七七號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九七八號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九七九號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九八〇號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九八一號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九八二號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九八三號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九八四號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九八五號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九八六號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九八七號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九八八號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九八九號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九九〇號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九九一號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九九二號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九九三號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九九四號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九九五號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九九六號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九九七號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九九八號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九九九號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第一〇〇〇號
同上 福島縣雙葉郡大野村大字下野上字後山百七十三番地
平民農脇坂綱治郎外八十九名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)

同 第九七三號
同上 福島縣相馬郡大蘆村北原字東原八十二番地平民農早
川周之助外四百三十七名呈出(紹介議員松本孫右衛門君)
同 第九七六號
同上 福島縣河沼郡塔寺村字松原二千八百三十九番地平民
農遠沼忠太郎外二十五名呈出(紹介議員八田宗吉君)
同 第九七七號
同上 福島縣西白河郡川崎村大字太田川字居平九番地小林
清太郎外六十二名呈出(紹介議員八田宗吉君)
同 第九七八號
同上 福島縣耶麻郡與川村大字高陽根字中ノ澤四百九十四
番地平民農矢部多重呈出(紹介議員八田宗吉君)
同 第九七九號
同上 福島縣耶麻郡關柴村字下柴字小松千四百二十九番地
平民農宇田成一外二百二名呈出(紹介議員八田宗吉君)
同 第九八〇號
同上 福島縣石城郡三阪村大字上三阪字中町八番地平民農
田子三太郎外二百一十一名呈出(紹介議員白井博之君)
同 第九八一號
同上 福島縣伊達郡石戸村大字山戸田字中ノ内三十五番地
平民農菅野勇外二百一十名呈出(紹介議員鈴木周三郎君)
同 第九八二號
同上 福島縣伊達郡茂庭村字芹原五十四番地齊藤義一外百
八名呈出(紹介議員鈴木周三郎君)
同 第九八三號
同上 福島縣信夫郡水原村字三島三十五番地平民農加藤理
平次外五十九名呈出(紹介議員鈴木周三郎君)
同 第九八四號
同上 福島縣大沼郡野尻村大字下中津川三千六百一十一番地酒
井榮吉外九十九名呈出(紹介議員中野寅吉君)
同 第九八五號
同上 福島縣北會津郡大戸村字上三寄内五百五十二番地平民
農大竹寅吉外三十三名呈出(紹介議員中野寅吉君)
同 第九八六號
同上 福島縣南會津郡伊北村大字石伏字下居廻二百六番地
平民農目黒平吉外四十二名呈出(紹介議員中野寅吉君)
同 第九八七號
同上 福島縣大沼郡大芦村大字佐倉字水上六百八十八番地
農本名美吉外六十四名呈出(紹介議員中野寅吉君)
同 第九八八號
同上 福島縣南會津郡朝日村大字龜岡字山崎五百九十一番
地平民農齋藤辰三郎外二十五名呈出(紹介議員中野寅吉
君)
同 第九八九號
同上 福島縣大沼郡中ノ川大字砂子原二百五十九番地平民
農金子卯吉外四十九名呈出(紹介議員鈴木周三郎君外三
名)

同 第一〇四號
同上 福島縣南會津郡小栗村大字小林字上前田四百九十八
番地平民官吏山内文六外二十二名呈出(紹介議員中野寅
吉君)
同 第一〇八號
同上 青森縣上北郡大深内村大字八斗澤字家ノ下六十三番
地平民農佐々木勝次郎外二十九名呈出(紹介議員阿部武
智雄君外四名)
同 第一一九號
同上 福島縣安達郡山木屋村字西ノ脇二十六番地平民米倉
又次郎外十四名呈出(紹介議員栗山博君)
同 第一二〇號
同上 福島縣安達郡高川村原田長九郎外十一名呈出(紹介
議員栗山博君)
同 第一二一號
同上 福島縣安達郡月形村大字舟津字舟津七百九十八番地
仲田友太郎外九十九名呈出(紹介議員栗山博君)
同 第一二二號
同上 福島縣安達郡鹽澤村字中里三十五番地齊藤余治外二
百四十二名呈出(紹介議員栗山博君)
同 第一二三號
同上 福島縣安達郡三和村大字富岡字本郷六十二番地中京
廣治外百六名呈出(紹介議員栗山博君)
同 第一二四號
同上 福島縣東白川郡宮木村大字山上字大竹五十一番地平民
農大竹平次外十名呈出(紹介議員八田宗吉君)
同 第一二五號
同上 福島縣南會津郡大川村大字大原二百八十五番地平民
農留吉外五十名呈出(紹介議員八田宗吉君)
同 第一二六號
同上 福島縣耶麻郡熱田村大字熱田八百十四番地遠藤長八
外百五十二名呈出(紹介議員八田宗吉君)
同 第一二七號
同上 福島縣耶麻郡猪苗代町四千八百九十四番地平民農壽
田直喜外七十一名呈出(紹介議員八田宗吉君)
右請願ノ要旨ハ今ヨリ四十餘年前ノ地租改正ニ際シ政府ハ當時
生活ニ困難ナリシ舊藩士ヲ歸農セシムルノ用ニ充テムカ爲メ福島
縣下ニ於ケル官有林野ノ増大ヲ圖リ官權ヲ利用シテ純然タル民
有林野又ハ入會ノ慣行アリシ林野ヲ官有林野ニ編入シタルヲ以
テ爾後諸種ノ民衆ニ對シ不利不便甚シキモノアリ依テ現行林野
制度ヲ私案ノ如ク改正セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決
セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也
特別報告第二百七十七號
意見書
請願文書表第二百三十二號

遠洋漁業獎勵法及附屬命令改正ノ請願 静岡縣磐田郡於保村濱部四番地平民農川島漁船外四名呈出(紹介議員成田榮信君外二名)

右請願ノ要旨ハ近時遠洋漁業ノ發展ニ從ヒ漸次漁場擴張シ船舶上ニ於テハ諸種ノ船舶機關ヲ増大シ通信機關ヲ整備シ時裁發送ノ方法ヲ改良スルノ必要アルハ勿論之ニ從事スヘキ乘組員ノ技術ヲ練磨セシムル爲メ獎勵金ノ制ヲ復活シ又乘組員養成方法ヲ改善スル等遠洋漁業獎勵法及附屬命令中適宜改正ヲ爲シ海軍費節減金ヲ以テ前記獎勵金ヲ增加セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第二百七十八號

意見書

請願文書表第一二二三號

魚市場法制定ニ關スル請願 静岡縣磐田郡於保村濱部四番地平民農川島漁船外四名呈出(紹介議員成田榮信君外二名)

特別報告第二百七十九號

意見書

請願文書表第一二二三號

右請願ノ要旨ハ本邦水産業ノ改善發達ト社會政策上物價ノ調節トニ鑑ミ魚市場法ノ制定急切ナルヲ認メ依テ之ニ順應スヘク魚市場法ヲ制定セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第二百八十三號

意見書

請願文書表第一〇二九號

右請願ノ要旨ハ愛媛縣越智郡岡山村ハ面積一五里餘人口八千有餘ノ大村落ニシテ近來商工業著シク發達セリ然ルニ所轄口總郵便局ハ無集配局ナル爲不便カラス依テ該郵便局ニ集配事務ヲ開始セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第二百八十四號

意見書

請願文書表第一〇七四號

王子郵便局管轄區内ニ無集配郵便局設置ノ請願 東京府北豐島郡王子町大字王子千二十七番地平民高塚八郎兵衛呈出(紹介議員高木正年君外一名)

右請願ノ要旨ハ東京府北豐島郡王子町ハ舊王子、上十條、下十條、豐島、堀ノ内、船方ノ五箇ノ大字ヨリ成リ人口約四萬餘ニシテ住民ノ多クハ工業ニ從事シ通信ノ數頗繁ナリ然ルニ通信機關トシテハ前記舊王子郵便局アルノミニシテ其ノ不便實ニ夥カラス依テ該王子郵便局管轄區内相當ノ地ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第二百八十五號

意見書

請願文書表第一二二一號

三山木村三山木無集配郵便局ニ電信、電話架設ノ請願 京都府綴喜郡三山木村長森島萬藏呈出(紹介議員長田桃藏君)

特別報告第二百八十六號

意見書

請願文書表第一二二七號

右請願ノ要旨ハ京都府綴喜郡三山木村ハ郡内極要ノ地點ニ在リテ産業發達盛ナリ就中米麥、果實、蔬菜等各種ノ物産豐富ニシテ多ク京、阪、神ノ各都市ニ移出セラルルニ通信機關不備ノ爲往往商機ヲ逸シ取引上不利不便夥カラス依テ該三山木村三山木無集配郵便局ニ電信、電話ヲ架設セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第二百八十八號

意見書

請願文書表第一一五五號

八代郵便局ニ集配事務開始ノ請願 山口縣熊毛郡八代村長大野勝熊呈出(紹介議員難波作之進君)

右請願ノ要旨ハ山口縣熊毛郡八代村ハ時運ノ進歩ト共ニ通信事項激増シタルニ拘ラス所管呼坂郵便局ヨリ一日一回ノ集配ヲ受クルニ過キサルヲ以テ村民ノ不便夥カラス依テ速ニ八代郵便局ニ集配事務ヲ開始セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第二百八十九號

意見書

請願文書表第一一六一號

六合村ニ郵便局設置ノ請願 群馬縣吾妻郡六合村長本多佐平呈出(紹介議員武藤金吉君)

特別報告第二百九十號

意見書

請願文書表第一一六九號

湯口郵便局ニ集配事務開始並志戸平ニ無集配郵便局設置ノ請願 巖手縣稗貫郡湯口村大字湯口第九地割宇渡リ三十三番地ノ一農島山市五郎外三十二名呈出(紹介議員大矢馬太郎君)

特別報告第二百九十一號

意見書

請願文書表第一一七〇號

右請願ノ要旨ハ巖手縣稗貫郡湯口村大字湯口宇渡及志戸平ハ溫泉地ニシテ浴客逐年増加シ通信ノ數寔ニ多シ然ルニ所管郵便局ハ鈴鹿郵便局ニシテ郵便物ノ運送等アリ不便ヲ感スルコト甚大ナリ依テ前記湯口郵便局ニハ集配事務ヲ開始シ志戸平ニハ無集配郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第二百九十二號

意見書

請願文書表第一一七〇號

右請願ノ要旨ハ滋賀縣坂田郡大原村ハ産業發達盛ナルノミナラス近來機業ノ發展實ニ著シキモノアリ然ルニ通信機關不備ノ爲其ノ發達ヲ阻害スルコト甚シ依テ前記大原村大字市場ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第二百九十二號

意見書

請願文書表第一一八〇號

戸崎郵便局ニ電信、電話事務開始ノ請願 埼玉縣北葛飾郡戸崎村長内田次郎外六名呈出(紹介議員神谷彌平君外一名)

右請願ノ要旨ハ埼玉縣北葛飾郡戸崎村ハ東京府ニ接續セリ而シテ近來ハ市ノ郊外地トシテ會社諸工場等ノ新設ノ爲人口ノ増加ヲ來シ交通亦頻繁ヲ極メツツアリ然ルニ所轄戸崎郵便局ニハ未タ電信、電話ノ設備ナク不便甚シ依テ速ニ該郵便局ニ電信、電話事務ヲ開始セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百九十三號

意見書

請願文書表第一一九四號

明治村ニ集配郵便局設置ノ請願 新潟縣中頸城郡明治村長北川竹次郎呈出(紹介議員武田德三郎君)

右請願ノ要旨ハ新潟縣中頸城郡明治村ハ鐵道沿線ニ在リテ交通機關發達シ産業又殷盛ニシテ逐年郵便物ノ激増ヲ來セリ然ルニ郵便物ハ管轄局タル末野郵便局ノ配達ヲ受ケツツアリテ通信機關ノ不便甚大ナリ依テ地勢上最利便ナリト思惟サル明治村附近ニ集配郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リ

特別報告第二百九十四號

意見書

請願文書表第一二一五號

綱干驛前郵便局ニ特設電話架設ノ請願 兵庫縣揖保郡石海村福地三百八十二番地岡尾龜代治外四名呈出(紹介議員土井權大君)

右請願ノ要旨ハ兵庫縣揖保郡石海村ハ綱干驛所在地ニシテ該地方物産ノ集散地ナルカ故ニ商業發達ナリ然ルニ現在綱干驛前郵便局ハ特設電話ノ勢キ爲公衆ノ不利不便實ニ甚シク産業ノ發達ヲ阻害スルコト大ナリ依テ該綱干驛前郵便局ニ特設電話ヲ架設セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百九十五號

意見書

請願文書表第一二七七號

田澤村ニ郵便局ヲ設置シ電信事務開始ノ請願 新潟縣中魚沼郡田澤村農樋口哲治外三十一名呈出(紹介議員武田德三郎君外一名)

右請願ノ要旨ハ新潟縣中魚沼郡田澤村ハ國道ニ沿ヒ近時産業者シク發達セリ就中田澤川ヲ挾ムテ對岸各村ニ幾多電化事業施設經營セラレ加フルニ鐵道ハ飯山、十日町間連絡ノ爲田澤村內ニ停車場設置ノ決定ヲ見隨テ是等施設ニ伴フ諸工事務與シ商工業ハ逐日發振ヲ呈シツツアリテ通信機關ノ必要ヲ感スルコト切ナリ依テ前記田澤村ニ郵便局ヲ設置シ電信事務ヲ開始セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

特別報告第二百九十六號

意見書

請願文書表第一二一八號

津輕海峽ニ自働航送船增加ノ請願 岡山市野田尻町二百五十四番地平民水産業高草美代藏外四名呈出(紹介議員成田榮信君外一名)

右請願ノ要旨ハ近時津輕海峽ハ運輸貨物ノ激増ニ伴ヒ物資配給上其ノ設備充分ナラサルハ甚テ遺憾ナリ依テ自働航送船二隻以上ヲ増加シ物資ノ配給ヲ完全ニセラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

〔龍野周一郎君登壇〕

○龍野周一郎君 此機會ニ請願委員長トシテ一言希望ヲ述ベテ置キマス、ソレハ請願ノ權利及請願人ノ意思ヲ尊重致シマシテ、本院ニ提出ニナリマス請願ハ、全部最モ丁寧深切ニ審査ヲ致シタイ考デアリマス、然ルニ今マデノ例ヲ調ベテ見マスルト、閉院ノ當日マデ請願書ハ受理シテ居リマシタクレドモ、請願書ニ依テ文書表ヲ作り、印刷ヲ致シテ請願委員會ヲ開キマス譯デアリマスカラ、餘リ會期切迫ノ時ニ紹介御提出ニナリマシテハ、勢ヒ審査スルコトが出来マセヌ、故ニ願クハ諸君ガ請願書ヲ御紹介御提出下サイマスルノハ、私諸君ニ委員長トシテ希望スルノデアリマスガ、本月二十日中ニ御提出ニナリマシタモノハ、全部丁寧深切ニ審査ヲ致シタイ考デアリマスカラ、請願書ノ紹介ヲ御引受ニナラテ居リマス御方ガ在ラセラレタラバ、御忘レナク二十日中ニ御提出アラシコトヲ切ニ希望スルノデアリマス、次ニ只今一括上程セラレマシタ所ノ此請願案件ハ、紹介議員諸君ノ熱誠ナル説明、政府ノ説明及意見モ徵シマシテ委員會ニ決定致シタモノデアリマス、其理由ハ一々申上ゲマセヌ、例ニ依テ速記録ニ議決シテ省略致シマスカラ、願クハ滿場一致御可決御採擇アラムコトヲ希望致シマス(拍手)

○岩崎勳君 日程第五十五以下ノ請願特別報告ハ全部之ヲ一括シテ、請願委員長ノ報告通り採擇アラシコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナイト認メマス、仍テ委員長報告ノ通り採擇スルコトニ決シマシタ(拍手)諮問ガアリマス、第六部選出豫算委員友田文次郎君、常任委員辭任ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議〕異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナイト認メマス、許可スルコトニ致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ヒ、届出アラシコトヲ希望致シマス、次會ノ日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知申上ゲマス、本日ハ之ニテ散會
午後八時二十二分散會

衆議院議事速記録第二十五號中正誤

頁	段	行	誤	正
五九一	下	七	規定ナル	規定ノアル
五九一	下	八	法案	公安

衆議院議事速記録第二十八號中正誤

頁	段	行	誤	正
六六七	中	一四	一町村	一市町村
六六七	中	三七	懲戒	懲役
六六八	上	七	ソレカラ今ノ	ソレカラ
六六八	上	七	法律ニナリ	本院ヲ通過シ
六六九	中	二三	考慮	効力
六六九	下	二七	第一條	第二條
六六九	下	二七	二刺目タ	二刺目タ
六六九	下	二七	三刺目タ	三刺目タ
六六九	下	二八	云々、民情	云々民情
六六九	上	八	以テ	以テ上ヲ
六七〇	上	九	至ツテ上ヲハ	至ツテハ
六七〇	上	一五	トスル	トス
六七〇	中	二	敵	正義
六七〇	中	一四	公衆	刑事
六七〇	中	二六	思想的	思想的ニ
六七〇	中	二六	自由ト	自由ハ
六七〇	中	二七	於テハ	於テハ
六七〇	中	二七	ナル	ニ
六七〇	中	二八	自由ヲ	自由ハ

〔衆議院議事速記第二十五號國有林野所在ノ府縣町村ニ對シ交付金下付ニ關スル建議案八田宗吉君演說ノ參照〕

農商工大正九年度納稅額比較表

(福島縣農會調查)

職業別	所得額ノ近似セルモノ	國稅	縣稅	市稅	負擔額合計	收益ニ對スル負擔率	備考
農業	五、八八三	五〇九	四〇八	一、〇六二	一、九八〇	〇、三六五	一〇〇
商業	五、五六九	四四六	一六〇	二二九	八三五	〇、一四九	四五
工業	五、五六七	二八二	八〇	二〇九	五七一	〇、一〇二	三一

道府縣市町村稅一覽

(大正九年度豫算ヨリ)

[illegible][illegible]

年 度	縣財政ニ於ケル農家ノ負擔額	農家ノ負擔ト見ルヘキ額	農 家 戸 數	一戸當負擔額
明治二十五年	八〇、五五一	円	二五六、七三一	三一四
同 三十三	七七、二八六		二三〇、八六八	三、〇七八
同 四十	一、〇五二、八六		一一一、〇六一	四九八五
大 正 三	三、六九二、五三二		二〇二、八一八	一八、二六一
同 十	三、五四八、八九二		二〇二、六二一	一七、五一八

明治二十三年	同三十二年	同四十一年	大正九年	同十年
村財政ニ於ケル農家ノ負擔額	村	歲入	農家戸數	村歲入一戸當
一、三〇六	九、八四〇	一、三〇六	七六二	一、七一三
一三、五三七	一、四七七	七六〇	七一九	一、八九九
五、四七七	五、二五一	七二〇	七〇三	一、八五七
				七、四八五
				七、四七〇

地 區	村 所	縣 地	稅 目	要
得	稅	租	田 烟 摘	愛知縣中流農家田畑一反半當租稅公調査報告書(大正十年度) 大野松縣氏調査
費	稅	稅	丙 田 丙 烟	
一・四〇〇	六・七九二	二・〇四〇		
一・七〇〇	六・三八四	一・〇七〇		
四〇〇	一・七〇〇	三・七一〇		
四〇〇	一・七〇〇	二・三五三		
反別割	右ニ同シ	地租割ノ外戸數割ヲ一戸平均持ノ人ノ反別ニ割當テタルモノ		
	二十町歩ノ標準トシテ調査ニヨリ割當タルモノ			

農水	會利	費費	●二〇〇	●二〇〇	右ノ同シ
			●五四三	●二〇〇	木津笈瀬川

地 主 會 費	六〇〇	六〇〇	獎勵米ヲ含ム
尚 武 會 費	一二九	一二九	

備考 一五九
備考 一四
備考 一三
備考 一六

一、本調査農家ノ所有地ハ二十町歩(田十三町歩、畑七町歩)ナリ
二、同農家ノ調査ニヨレハ田畑一反歩ニ對スル明治二十三年ト大正十年ニ於ケル租税其他ノ公課ノ比較左ノ如シ

明治二十三年度	大正十年度
一・五九〇 ^円	一五・九一四 ^円
・八一〇	一二・八三六

畑田

東京市内ニ於ケル商業者ノ租税公課負擔調査(大正十年度)

税目	流通資本金額約二千圓	同上五千圓	同上一万圓
税			

所	同	管	自	荷	家	同
附得	附業	附車	轉車	屋稅	加稅	附稅
一六〇〇〇	三・二〇〇	四〇〇〇〇	三・〇〇〇	九〇〇〇〇	六〇〇〇〇	二・五〇〇
門						
五九〇〇〇	一・八〇〇	八〇〇〇〇	六四〇〇〇	一八〇〇〇	一一〇〇〇	二・二五〇
門						
二〇三〇〇	四〇六〇〇	一六〇〇〇	一二八〇〇	二七〇〇〇	一八〇〇〇	三一五〇〇
丙						

備考
計
一、本調査ハ東京市芝區内白米商業者ニツキ調査シタル實例ナリ
二、流通資木約二千圓ノモノニアリテハ一箇年ノ賣上高約二萬圓ニシテ純益金約千四百圓
三、流通資木約五千圓ノモノニアリテハ一箇年ノ賣上高約四萬圓ニシテ純益金約二千七百圓
四、流通資木約一萬圓ノモノニアリテハ一箇年賣上高約八萬圓ニシテ純益金約五千圓ナリ
徴兵検査ニ於ケル體格等位郡市別比較一覽表

年次		體格等位		受檢人員		百分比	
				郡	市	郡	市
大正六年	第一種	一五七・二八一	一四・五〇	一七一・七九一	三三・八六	二七・一五	三四・九二
丙	第二種	六五・九四六	七・六八二	七三・六二八	一五・〇四	一四・〇九六	一四・九六
丁	第三種	八二・〇九五	一〇・六八八	九二・七九	一八・七二	一九・九九	一八・八六
戊	第四種	一〇四・四六一	一六・八八二	一一一・四三三	二二・三二	二二・〇六	二四・六二
種	第五種	二二・九八	三・二九八	二四・二五	三・八二	三・〇三	二四・六二
	第六種	三八・四一	六・〇七	四四・七	五・六八	六・一七	五・七三
	第七種						
	第八種						
	第九種						
	第十種						
	第十一種						
	第十二種						
	第十三種						
	第十四種						
	第十五種						
	第十六種						
	第十七種						
	第十八種						
	第十九種						
	第二十種						
	第二十一種						
	第二十二種						
	第二十三種						
	第二十四種						
	第二十五種						
	第二十六種						
	第二十七種						
	第二十八種						
	第二十九種						
	第三十種						
	第三十一種						
	第三十二種						
	第三十三種						
	第三十四種						
	第三十五種						
	第三十六種						
	第三十七種						
	第三十八種						
	第三十九種						
	第四十種						
	第四十一種						
	第四十二種						
	第四十三種						
	第四十四種						
	第四十五種						
	第四十六種						
	第四十七種						
	第四十八種						
	第四十九種						
	第五十種						
	第五十一種						
	第五十二種						
	第五十三種						
	第五十四種						
	第五十五種						
	第五十六種						
	第五十七種						
	第五十八種						
	第五十九種						
	第六十種						
	第六十一種						
	第六十二種						
	第六十三種						
	第六十四種						
	第六十五種						
	第六十六種						
	第六十七種						
	第六十八種						
	第六十九種						
	第七十種						
	第七十一種						
	第七十二種						
	第七十三種						
	第七十四種						
	第七十五種						
	第七十六種						
	第七十七種						
	第七十八種						
	第七十九種						
	第八十種						
	第八十一種						
	第八十二種						
	第八十三種						
	第八十四種						
	第八十五種						
	第八十六種						
	第八十七種						
	第八十八種						
	第八十九種						
	第九十種						
	第九十一種						
	第九十二種						
	第九十三種						
	第九十四種						
	第九十五種						
	第九十六種						
	第九十七種						
	第九十八種						
	第九十九種						
	第一百種						

[illegible][illegible]